

令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事



特記仕様書（建築改修工事編）	
I 工事概要	<p>1. 工事場所 高岡郡日高村岩目地40番地及び岩目地164番地 (都市計画区域 内(外))</p> <p>2. 敷地面積 22,045.04 m<sup>2</sup></p> <p>3. 構造・規模 小・中学校：鉄筋コンクリート 3階 小学校：607.09 中学校：527.519 延床面積：148.017 屋内運動場棟：837.02 m<sup>2</sup></p> <p>4. 建築面積 5. 延床面積 小学校：1,982.00 屋内運動場棟：775.77 m<sup>2</sup></p> <p>6. 主要用途 学校</p>
II 建築改修工事仕様	<p>1. 共通仕様</p> <p>(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標準仕様書」という）により、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という）による。</p> <p>(2) 電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備改修工事の仕様書は( )図、機械設備改修工事の仕様書は( )図による。</p> <p>(3) 受注者は完了検査（中間検査を含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な書類等（報告書等）を用意すること。</p> <p>2. 特記仕様</p> <p>(1) 項目は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>(2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ◎印と◎印の付いた場合は、共に適用する。</p> <p>(3) 特記事項に記載の[ ]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>(4) 特記事項に記載の( )内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>(5) [G]印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。判断基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。</p> <p>(6) 標準仕様書又は改修標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守[1.1.13]の規定を優先する。</p>

1 各章共通事項	○適用基準及び区分	<p>※ 建築工事監理指針（上下巻） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）</p> <p>※ 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）</p> <p>※ 鉄骨設計標準図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修</p> <p>・ 鉄骨工事技術指針 工場製作編 工事現場施工編 日本建築学会</p> <p>※ 建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事等編）</p> <p>※ 建設副産物適正処理推進要綱</p> <p>※ 建築材料等評価名簿 国土交通大臣官房官庁営繕部監修</p> <p>※ 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 国土交通大臣官房官庁営繕部監修</p> <p>・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する。 区分等 基準風速 Vo=( )m/s 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) 積雪区分 建設省告示第1455号 別表( )</p>
	○電気保安技術者	<p>○適用する ・適用しない [1.3.3]</p>
	○施工条件	<p>施工時間帯 ※指定なし ○指定有り（学校側と打合せの上決定） [1.3.5]</p> <p>部位別の施工順序 ※指定なし ○指定有り（学校側と打合せの上決定）</p>
	○発生材の処理	<p>・引き渡しを要するもの( ) [1.3.12]</p> <p>・特定管理産業廃棄物（種類： 処理方法： ）</p> <p>・現場において再利用を図るもの( )</p> <p>○再生資源化を図るもの(○)コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ○建設発生木材) ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。</p>
○材料の品質等	<p>[1.4.2]</p> <p>本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1)から6)の事項を満たすものとする</p> <p>1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること</p> <p>2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること</p> <p>3) 安定的な供給が可能であること</p> <p>4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること</p> <p>5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること</p> <p>6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること</p> <p>なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。</p> <p>また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品及び同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受けること。</p> <p>製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ、平成19年3月30日付け18高建管第881号「土木部発注工事で使用する木材の合法性の確認について（通知）」による証明書等を、監督職員に提出する。</p>	
・石綿含有建材の調査	<p>調査 [1.5.1]</p> <p>※ 石綿含有建材の事前調査</p> <p>工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。</p> <p>貸与資料( )</p> <p>・ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイト、クロシドライト、トレモライト</p>	

分析方法		
材 料 名	定性分析 (JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2)	定量分析 (JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4)
	・ 箇所数( )	・ 箇所数( )
	・ 箇所数( )	・ 箇所数( )
	・ 箇所数( )	・ 箇所数( )
	・ 箇所数( )	・ 箇所数( )
サンプル数	1箇所あたり3サンプル	
採取箇所	・ 図示	
調査項目	・ 防水改修 ○外壁改修 ・ ( ) [1.6.2]	
調査範囲	※図示	
調査方法	※テストハンマーによる打診及び目視 ・ 図示	
	外壁調査は、外壁改修フロアに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う。	
	また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する。	
	(必要に応じ写真等を添付する)	
既存部分の破壊を行った場合の補修方法	※図示 [1.6.3]	
	[1.7.2]	
工事種目	技能検定職種	技能検定作業の種別
仮設工事	とび	・とび作業
防水改修工事	防水施工	<p>・アスファルト防水工事作業 ・ウレタン系塗膜防水工事作業</p> <p>・アクリル系塗膜防水工事作業</p> <p>・合成ゴムシート防水工事作業</p> <p>・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業</p> <p>・シーリング防水工事作業 ・FRP防水工事作業</p> <p>・改質アスファルトシート系防水工事作業</p> <p>・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業</p>
	建築板金	・内外装板金作業
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	・樹脂接着剤注入工事作業
	左官	・左官作業
	タイル張り	・タイル張り作業
建具改修工事	サッシ施工	・ビーム用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ガラス工事作業
	自動ドア施工	・自動ドア施工作業
内装改修工事	建築大工	・大工工事作業
	内装仕上施工	・鋼製下地工事作業
	建築板金	・内外装板金作業
	内装仕上施工	<p>・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業</p> <p>・木質系床仕上げ工事作業 ○カーペット仕上げ工事作業</p> <p>・化粧フィルム工事作業</p>
	熱絶縁施工	・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業
	表装	・壁装作業
	左官	○左官作業
	タイル張り	・タイル張り作業
塗装改修工事	塗装	○建築塗装作業
耐震改修工事	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業
	型枠施工	・型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業
	鉄工	・構造物鉄工作業
	とび	・とび作業
環境配慮改修工事	配管	・建築配管作業
	路面表示施工	・溶融ペイント加工工事作業 ・加熱ペイント加工工事作業
	造園	・造園工事作業
施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること	測定対象室及び測定箇所数 ※図示（仕上表備考欄） ・ ( ) 箇所 [1.7.9]	
※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物（VOC）の放散による健康への影響に配慮し、次の条件を満たすものとする。		
対象建築材料等	使用制限	
①合板、木質フローリング、構造用乾板、集成材、単板積層板、MDF、パネライクボード、ウレタン樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする	
②塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする	
③木材保存剤（防虫処理、防蟻処理等）	クロルピリホス、ダイアジノン、フェノキサールを含有しない、非有機系の薬剤とし、加圧式防蟻・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する	
④内装用接着剤、木工用接着剤	1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする	
	2) フォルムジノール、ホルムジノール-2-エチルキシレンを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする	
⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台	①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆は同等品を使用する	
室内に関わる材料は（上記①～⑤及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ホルムジノール、ホルムジノール-2-エチルキシレン、クロルピリホス、ダイアジノン、フェノキサールの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。		

○完成時の提出図書	<p>※完成図（配置図、各階平面図、各立面図、断面図、仕上表）CADデータ（CD-R）とも 記入内容は標準仕様書表1.7.11による。仕上表には、メ-カ名及び品番、色番号等を記入する。</p> <p>※施工計画書（A4ファイル縦じ 提出部数：1部）</p> <p>※施工図（CADデータ 提出部数：1部）</p> <p>※保全に関する資料（提出部数 ※1部 ・ 部）</p> <p>※工事写真・完成写真 写真データ（CD-R）とも</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>分類規格</th> <th>提出部数</th> <th>部 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着工前及び工事中</td> <td>カラー ※サービス版 カラー ※キャビネ版</td> <td>工程毎</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">完成時</td> <td>カラー ・全紙版（7#緑線入）</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> </tbody> </table> <p>工事写真については、隠蔽となる部分は全て撮影すること。 デジタル写真の仕様は1 適用基準及び区分の工事写真撮影ガイドブックによる。 ※上記の他、完成写真内外6面程度（カラーサービス版）、及びその画像データを完成検査時に1部提出する。 ※電子納品とする場合は、「高知県電子納品運用に関するガイドライン工事編」により、予め監督職員と協議を行う。</p> <p>標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。</p> <p>・ 行う（内容 ( ) ※行わない</p>	区 分	分類規格	提出部数	部 数	着工前及び工事中	カラー ※サービス版 カラー ※キャビネ版	工程毎	1部	完成時	カラー ・全紙版（7#緑線入）	枚	部	・	枚	部										
区 分	分類規格	提出部数	部 数																							
着工前及び工事中	カラー ※サービス版 カラー ※キャビネ版	工程毎	1部																							
完成時	カラー ・全紙版（7#緑線入）	枚	部																							
	・	枚	部																							
・特別な材料の工法																										
・見本施工																										
○施工図及び施工計画書	<p>提出した施工図及び施工計画書の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。</p>																									
○設備工事との取り合い	<p>設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工範囲</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁貫通部の補強</td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> <tr> <td>梁貫通部のスリーブ</td> <td>・本工事 ※別途工事</td> </tr> <tr> <td>自動開閉装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、ドアヒンジ</td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> <tr> <td>天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強</td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> <tr> <td>軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地</td> <td>・本工事 ※別途工事</td> </tr> <tr> <td>埋込形分電盤、消火栓等の仮枠及び補強</td> <td>仮枠 補強</td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> <tr> <td>照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート</td> <td>・本工事 ※別途工事</td> </tr> <tr> <td>電気室、自家発電室などのビット（蓋含む）</td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>○撤去部分</p> <p>コンクリート、モルタル等の撤去部分の項目は、原則としてダンプトラック切りとする</p>	施工範囲	区 分	梁貫通部の補強	※本工事 ・別途工事	梁貫通部のスリーブ	・本工事 ※別途工事	自動開閉装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、ドアヒンジ	※本工事 ・別途工事	天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強	※本工事 ・別途工事	軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地	・本工事 ※別途工事	埋込形分電盤、消火栓等の仮枠及び補強	仮枠 補強	※本工事 ・別途工事	照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート	・本工事 ※別途工事	電気室、自家発電室などのビット（蓋含む）	※本工事 ・別途工事						
施工範囲	区 分																									
梁貫通部の補強	※本工事 ・別途工事																									
梁貫通部のスリーブ	・本工事 ※別途工事																									
自動開閉装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、ドアヒンジ	※本工事 ・別途工事																									
天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強	※本工事 ・別途工事																									
軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地	・本工事 ※別途工事																									
埋込形分電盤、消火栓等の仮枠及び補強	仮枠 補強	※本工事 ・別途工事																								
照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート	・本工事 ※別途工事																									
電気室、自家発電室などのビット（蓋含む）	※本工事 ・別途工事																									
○足場等	<p>[2.2.1]</p> <p>足場を設ける場合、改修標準仕様書2.2.1によるほか、設置においては、「手すり先行工法に関するガイドライン」別紙1（手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準）における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p> <p>外部足場に設ける防護シート等</p> <p>○養生シート※JISA8952のI類に適合するもの (建築工用シートでシートだけで落下物の危害防止に使用できるもの) ・ 防音シート ・ 採光防音シート ・ 養生ネット</p>																									
○既存部分の養生	<p>既存部分の養生方法 ※ビニールシート等 ・ ( ) [2.3.1]</p> <p>既存家具等の養生方法 ※ビニールシート等 ・ ( )</p> <p>既存ブライント、カーテン等の養生方法及び保管場所 ・ 図示( )</p> <p>固定された備品、机・ロッカ等の移動 ・ 行う(図示： )</p>																									
○仮設間仕切り	<p>仮設間仕切り等の種別 [2.3.2][表2.3.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>下 地</th> <th>仕上材（厚さ mm）</th> <th>充てん材</th> <th>塗 装</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ 木下地 ※軽量鉄骨</td> <td>※せっこうボード（※9.5 ・ ） ・ 合板（※9.0 ・ ）</td> <td>厚さ mm</td> <td>・ 片面 ※無し</td> </tr> <tr> <td>○B種</td> <td>・ 木下地 ※軽量鉄骨</td> <td>※せっこうボード（※9.5 ・ ） ・ 合板（※9.0 ・ ）</td> <td></td> <td>・ 片面 ※無し</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>単管下地</td> <td>防火シート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○仮設扉</td> <td>※木製扉 ・ 鋼製扉</td> <td>※合板張り程度 ※片面フラッシュ程度</td> <td></td> <td>※無し ・ 有り</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	下 地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗 装	・ A種	・ 木下地 ※軽量鉄骨	※せっこうボード（※9.5 ・ ） ・ 合板（※9.0 ・ ）	厚さ mm	・ 片面 ※無し	○B種	・ 木下地 ※軽量鉄骨	※せっこうボード（※9.5 ・ ） ・ 合板（※9.0 ・ ）		・ 片面 ※無し	・ C種	単管下地	防火シート			○仮設扉	※木製扉 ・ 鋼製扉	※合板張り程度 ※片面フラッシュ程度		※無し ・ 有り
種 別	下 地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗 装																						
・ A種	・ 木下地 ※軽量鉄骨	※せっこうボード（※9.5 ・ ） ・ 合板（※9.0 ・ ）	厚さ mm	・ 片面 ※無し																						
○B種	・ 木下地 ※軽量鉄骨	※せっこうボード（※9.5 ・ ） ・ 合板（※9.0 ・ ）		・ 片面 ※無し																						
・ C種	単管下地	防火シート																								
○仮設扉	※木製扉 ・ 鋼製扉	※合板張り程度 ※片面フラッシュ程度		※無し ・ 有り																						
○監督職員事務所	<p>・ 設ける [2.4.1]</p> <p>・ 構内に新設する（規模及び仕上げの程度、並びに設置する備品等の種類及び数量は現場説明書（施工条件明示）による）</p> <p>・ 既存建物内の一部を使用する（場所 ( ) ※設けない</p>																									
○工事用水	<p>構内既存の施設 ※利用できる( ※有償 ・ 無償) ・ 利用できない</p>																									
○工事用電力	<p>構内既存の施設 ※利用できる( ※有償 ・ 無償) ・ 利用できない</p>																									
<b>三 建設 計 有 限 会 社</b> 登録高-6号																										
高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633 一級建築士第135971 安 並 和 文																										
特記仕様書（建築改修工事編）（1）																										
令和4年度版 高知県土木部建築課																										
令和 年 月																										
令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事 令和5年7月改正																										
A-01																										



4-3	<p>・既存タイル張りの撤去</p> <p>・ひび割れ部改修工法</p> <p>・欠損部改修工法</p> <p>・浮き部改修工法</p>	<p>充填工法</p> <p>・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル ・ポリマーセメントスラリー</p> <p>モルタル塗替え工法</p> <p>・現場調合材料</p> <p>・既調合材料</p> <p>既製目地材 ・使用する(形状 図示 ( ))</p> <p>仕上げ厚又は全塗厚が 25mm を超える場合の措置 ※図示 ( )</p>	<p>・目地改修工法</p> <p>・目地の形状、寸法等</p>																				
		<p>・外壁タイル張り全面 図示の範囲</p> <p>撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ</p> <p>改修箇所 ※既存タイル張り面 [4.1.4][4.4.5、6]</p> <p>・既存タイル撤去面 ( ・コンクリート面 ・モルタル面 )</p> <p>※樹脂注入工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上～1.0以下</td> <td>※200～300</td> <td>※130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上～0.3未満</td> <td>※50～100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上～0.5未満</td> <td>※100～200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上～1.0以下</td> <td>※150～250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コバ抜き検査 ※行う ・行わない</p> <p>抜き取り箇所 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個 ( )</p> <p>抜き取り部の補修方法 ※図示 ( )</p> <p>・シール材充填工法(既存タイル張り撤去面)</p> <p>・シーリング材充填</p> <p>充填材料の種類 ※1成分又は2成分ポリウレタン系 ( )</p> <p>ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70		0.5以上～1.0以下	※150～250	※130	<p>・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.4.5、16]</p> <p>・伸縮調整目地改修工法</p> <p>伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示 ( )</p>
		種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																		
		※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130																		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40																				
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70																				
	0.5以上～1.0以下	※150～250	※130																				
<p>・外壁タイル張り全面 図示の範囲</p> <p>撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ</p> <p>改修箇所 ※既存タイル張り面 [4.1.4][4.4.5、6]</p> <p>・既存タイル撤去面 ( ・コンクリート面 ・モルタル面 )</p> <p>※樹脂注入工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上～1.0以下</td> <td>※200～300</td> <td>※130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上～0.3未満</td> <td>※50～100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上～0.5未満</td> <td>※100～200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上～1.0以下</td> <td>※150～250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コバ抜き検査 ※行う ・行わない</p> <p>抜き取り箇所 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個 ( )</p> <p>抜き取り部の補修方法 ※図示 ( )</p> <p>・シール材充填工法(既存タイル張り撤去面)</p> <p>・シーリング材充填</p> <p>充填材料の種類 ※1成分又は2成分ポリウレタン系 ( )</p> <p>ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70		0.5以上～1.0以下	※150～250	※130	<p>・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.4.5、16]</p> <p>・伸縮調整目地改修工法</p> <p>伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示 ( )</p>		
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																				
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130																				
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40																				
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70																				
	0.5以上～1.0以下	※150～250	※130																				
<p>・外壁タイル張り全面 図示の範囲</p> <p>撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ</p> <p>改修箇所 ※既存タイル張り面 [4.1.4][4.4.5、6]</p> <p>・既存タイル撤去面 ( ・コンクリート面 ・モルタル面 )</p> <p>※樹脂注入工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上～1.0以下</td> <td>※200～300</td> <td>※130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上～0.3未満</td> <td>※50～100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上～0.5未満</td> <td>※100～200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上～1.0以下</td> <td>※150～250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コバ抜き検査 ※行う ・行わない</p> <p>抜き取り箇所 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個 ( )</p> <p>抜き取り部の補修方法 ※図示 ( )</p> <p>・シール材充填工法(既存タイル張り撤去面)</p> <p>・シーリング材充填</p> <p>充填材料の種類 ※1成分又は2成分ポリウレタン系 ( )</p> <p>ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70		0.5以上～1.0以下	※150～250	※130	<p>・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.4.5、16]</p> <p>・伸縮調整目地改修工法</p> <p>伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示 ( )</p>		
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																				
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130																				
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40																				
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70																				
	0.5以上～1.0以下	※150～250	※130																				

<p>・タイル張替え工法</p> <p>張付け用材料の種類 ・張付けモルタル ( ・現場調合材料 ・既調合モルタル)</p> <p>・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地</p> <p>位置 ※改修標準仕様書 表4.4.2による 図示 ( )</p> <p>外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 ・行う ・行わない</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒らし工法 ( )</p> <p>・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り</p> <p>タイル張りの工法</p> <p>外装タイル ※密着張り ・改良圧着張り</p> <p>ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り</p> <p>・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り</p> <p>シーリング材の種類</p> <p>打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ( )</p> <p>伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 ( )</p> <p>・目地改修工法 [4.1.4][4.4.5、16]</p> <p>・伸縮調整目地改修工法</p> <p>伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示 ( )</p> <p>・目地の形状、寸法等 [4.4.5、8]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="10">形状寸法再生材の吸水率による区分</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> </tr> <tr> <th>形状寸法(mm)</th> <th>再生材適用</th> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>標準</th> <th>特注</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p> <p>見本焼き ・行う (施工箇所: ) ※行わない</p> <p>試験張り ・行う(範囲、仕様等は図示) ※行わない</p>	施工箇所	形状寸法再生材の吸水率による区分										色	耐凍害性	耐滑り性	形状寸法(mm)	再生材適用	I類	II類	III類	うわぐすり	役物	色	標準	特注																<p>4-4</p> <p>・既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整</p> <p>・下地調整塗材</p> <p>・仕上塗材仕上げ</p> <p>・漆喰塗り</p> <p>・マフク塗材塗り</p> <p>・外壁用塗膜防水材塗り</p>
施工箇所		形状寸法再生材の吸水率による区分													色	耐凍害性	耐滑り性																							
	形状寸法(mm)	再生材適用	I類	II類	III類	うわぐすり	役物	色	標準	特注																														
<p>・薄付け仕上げ塗材</p> <p>・厚付け仕上げ塗材</p> <p>・複層仕上げ塗材</p> <p>・可とう形改修用仕上げ塗材</p>	<p>・砂壁状</p> <p>・ゆず肌状(・吹付け ・ローラー塗り)</p> <p>・さざ波状 ・平坦状</p> <p>・凹凸状(・吹付け ・こて塗り)</p> <p>・着色骨材砂壁状(・吹付け ・こて塗り)</p> <p>・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく</p> <p>・吹放し ・凸部処理 ・平坦状</p> <p>・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</p> <p>・耐水性 ※耐候形3種</p> <p>・平たん状</p> <p>・さざ波状 ・ゆず肌状</p> <p>・耐候性 ※耐候形3種</p> <p>・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系</p> <p>・樹脂 ※アクリル系</p> <p>・外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック</p>																																							
<p>・薄付け仕上げ塗材</p> <p>・厚付け仕上げ塗材</p> <p>・複層仕上げ塗材</p> <p>・可とう形改修用仕上げ塗材</p>	<p>・吹放し ・凸部処理 ・平坦状</p> <p>・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</p> <p>・耐水性 ※耐候形3種</p> <p>・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系</p> <p>・樹脂 ※アクリル系</p> <p>・外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック</p>																																							
<p>・薄付け仕上げ塗材</p> <p>・厚付け仕上げ塗材</p> <p>・複層仕上げ塗材</p> <p>・可とう形改修用仕上げ塗材</p>	<p>・吹放し ・凸部処理 ・平坦状</p> <p>・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</p> <p>・耐水性 ※耐候形3種</p> <p>・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系</p> <p>・樹脂 ※アクリル系</p> <p>・外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック</p>																																							

<p>5</p> <p>・改修工法</p> <p>・防火戸</p> <p>・見本の製作等</p> <p>・防犯建物部品</p> <p>・7mm以下製建具</p> <p>・網戸等</p> <p>・樹脂製建具</p> <p>・鋼製建具</p>	<p>[5.1.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td>—</td> <td>・</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>○鋼製建具</td> <td>・外部</td> <td>・</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○内部</td> <td>○</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>○鋼製軽量建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>○木製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※図示</td> </tr> </table> <p>新規に建具を設ける場合</p> <p>壁部分の開口の開け方 ※図示 ( )</p> <p>新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 ( )</p> <p>建具符号 ( ) [5.1.4]</p> <p>防火戸、ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・適用する</p> <p>建具見本の製作 ・行う (建具符号: ) [5.1.5]</p> <p>建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する</p> <p>・納まり等がわかる程度</p> <p>特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号: )</p> <p>※適用する ( ) [5.1.7]</p> <p>性能値等 [5.2.2~5][表5.2.1、2]</p> <p>・外部に面する建具の性能等級 ・A種 (S-4、A-3、W-4) (建具符号: )</p> <p>・B種 (S-5、A-3、W-4) (建具符号: )</p> <p>・C種 (S-6、A-4、W-5) (建具符号: )</p> <p>・屋内の建具の性能等級 ( )</p> <p>枠の見込み寸法 ( ) 図示</p> <p>・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号: )</p> <p>・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 ( ) (建具符号: )</p> <p>材料</p> <p>ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B</p> <p>表面処理</p> <p>外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 ( )</p> <p>着色 ※標準色 ・特注色 ( )</p> <p>屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 ( )</p> <p>着色 ※標準色 ・特注色 ( )</p> <p>結露水の処理方法 ( ) 図示</p> <p>水切り板、ぜん板 ( ) 図示</p> <p>[5.2.3][5.3.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法 15mm</td> </tr> </table> <p>性能値等 [5.2.2][5.3.2~5][表5.3.1]</p> <p>・外部に面する建具の性能等級 ・A種 (S-4、A-4、W-4) (建具符号: )</p> <p>・B種 (S-5、A-4、W-5) (建具符号: )</p> <p>・C種 (S-6、A-4、W-5) (建具符号: )</p> <p>・屋内の建具の性能等級 ( )</p> <p>枠の見込み寸法 ( ) 図示</p> <p>・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2) (建具符号: )</p> <p>・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8) (建具符号: )</p> <p>外部に面する建具の日射取得性の等級 ( )</p> <p>材料</p> <p>ガラス ※複層ガラス ( )</p> <p>表面色 ※標準色 ・特注色</p> <p>水切り板、ぜん板 ※図示 ( )</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B</p> <p>性能値等 [5.2.2][5.4.2~4][表5.4.2]</p> <p>簡易気密型ドアセット (建具符号: )</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号: )</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 ( ) (建具符号: )</p> <p>材料</p> <p>ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B</p> <p>鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書(表5.4.2)による ( )</p> <p>標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ( )</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	・アルミニウム製建具	・	・	※図示	・樹脂製建具	—	・	※図示	○鋼製建具	・外部	・	※図示		○内部	○	※図示	○鋼製軽量建具	・	・	※図示	・ステンレス製建具	・	・	※図示	○木製建具	・	・	※図示	種類	材質	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法 15mm
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																										
・アルミニウム製建具	・	・	※図示																																										
・樹脂製建具	—	・	※図示																																										
○鋼製建具	・外部	・	※図示																																										
	○内部	○	※図示																																										
○鋼製軽量建具	・	・	※図示																																										
・ステンレス製建具	・	・	※図示																																										
○木製建具	・	・	※図示																																										
種類	材質	線径	網目																																										
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																										
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法 15mm																																										
<p>三建設計有限会社</p> <p>登録高-6号</p> <p>高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633</p> <p>一級建築士第135971 安並和文</p>	<p>特記仕様書(建築改修工事編)(3)</p> <p>令和4年度版 高知県土木建築課</p> <p>令和 年 月</p> <p>令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事 令和5年7月改正</p> <p>A-03</p>																																												

<input checked="" type="checkbox"/> 鋼製軽量建具	性能値等 [5. 2. 2][5. 5. 2~4] 簡易気密型ドアセット（建具符号： ） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）（建具符号： ） 断熱ドア・断熱サッシ <input checked="" type="checkbox"/> 断熱性の等級（ ）（建具符号： ） 材料 鋼板 ・垂鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 召合わせ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・（ ） ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No. 2B 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書（表5. 5. 1）による ・（ ） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・（ ）
	・ステンレス製建具 性能値等 [5. 2. 2][5. 4. 2][5. 6. 2~5] 簡易気密型ドアセット（建具符号： ） 外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）（建具符号： ） 断熱ドア・断熱サッシ <input checked="" type="checkbox"/> 断熱性の等級（ ）（建具符号： ） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No. 2B 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ ・（ ） ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ
<input checked="" type="checkbox"/> 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・（ ） [5. 7. 2~4] 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項) 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策」による <input checked="" type="checkbox"/> フラッシュ戸 表面材の合板の種類（ ） ・かまち戸 かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ） 見込み寸法（ ） ・ふすま 種別（Ⅰ型 ・Ⅱ型 ） ふすま紙上張り（押入等の裏側以外）（・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度） 縁仕上げ（・塗り縁 ・生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンクリアー塗装)） ・戸ぶすま ・紙張り障子 枠及びくつずりの材料 ・（ ） ・図示
<input checked="" type="checkbox"/> 建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材質等 [5. 8. 1~3][表5. 8. 1~5] ※改修標準仕様書表5. 8. 1により適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5. 8. 2による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5. 8. 3による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5. 8. 4による 木製建具に使用する戸車及びレール ※改修標準仕様書表5. 8. 5による 握り玉及びレバー・ハンド、押板類、クレセントの取付け位置 ※建具表による ・（ ） 錠前類、クローザ類の材質等 ※改修標準仕様書表5. 8. 11による
・鍵	マスターキー ・製作する ・製作しない [5. 8. 4] ・既存のマスターキーに合わせる その他の鍵 ※各室3本1組 鍵箱 ※無 ・有
・自動ドア開閉装置	性能 ※改修標準仕様書表5. 10. 1による ・（ ） [5. 10. 3]
<input checked="" type="checkbox"/> 重量シャッター	シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度（ ）pa [5. 11. 2, 3] ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）pa ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉機能方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 ※建具表による ・（ ） 電動式シャッターの障害物感知装置 ※建具表による ・（ ） 屋内用防火シャッター、防煙シャッターの危害防止装置 ※建具表による ・（ ） 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・（ ） ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及びカバー、スイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1

・軽量シャッター	開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式（手動併用） [5. 12. 2~4] 耐風圧強度（ ）pa 安全装置 電動式シャッターの障害物感知装置 ※建具表による ・（ ） スラットの材質 ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（※Z06又はF06 ・ ） ・JIS G 3322（塗装溶融55%7μmニッケル-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（※A Z90） スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形																														
・オートヘッドドア	セクション材料による区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料 ※スチールタイプ ※バランス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板 ・ファイバークラスチックタイプ ・電動式 ・ハイリフト形 ・パーチカル形																														
<input checked="" type="checkbox"/> ガラス	風圧力による強さの区分（・125 ・100 ・75 ・50 ）Pa 安全装置 電動式の場合の障害物感知装置 ※建具表による ・（ ） [3. 7] [5. 14. 2~4] [図5. 14. 1] ・合わせガラス 特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類 <input checked="" type="checkbox"/> 強化ガラス 特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ類 ・熱線吸収板ガラス 性能による種類 ・1種 ・2種 ・複層ガラス 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性、日射遮へい性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン ・熱線反射ガラス 日射熱遮へい性 ・1種 ・2種 ・3種 耐久性 ・A種 ・B種 ・ガラスの留め材及び溝の大きさ																														
・ガラスブロック積み	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">建具の種類</th> <th colspan="2">ガラス留め材</th> <th colspan="2">ガラス溝の大きさ(mm)</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※シーリング材 ・ガasket ※グレイジングチャンネル形</td> <td colspan="4">※建具の製造所の仕様による ・図示</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>※シーリング材 ・</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>※シーリング材 ・</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>・シーリング材 ・ガasket ※グレイジングチャンネル形</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>	建具の種類		ガラス留め材		ガラス溝の大きさ(mm)		アルミニウム製	※シーリング材 ・ガasket ※グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による ・図示				鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材 ・					ステンレス製	※シーリング材 ・					樹脂製	・シーリング材 ・ガasket ※グレイジングチャンネル形				
建具の種類		ガラス留め材		ガラス溝の大きさ(mm)																											
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガasket ※グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による ・図示																													
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材 ・																														
ステンレス製	※シーリング材 ・																														
樹脂製	・シーリング材 ・ガasket ※グレイジングチャンネル形																														
<input checked="" type="checkbox"/> ガラスブロック積み	表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅(mm) 伸縮調整目地(mm) 防火性能 呼び 乳白 平積み 曲面積み 正方形 ・125×125 80 ・ ・ ※8~15 外側 ※6m以下ごとに幅10~25 ※無し ・160×160 ・95・125 ・ ・ ・15~25 ※15以下 ・有り ・200×200 ・95・125 ・ ・ ・ 内側 ・320×320 95 ・ ・ 内側 ※6以上 ・250×125 80 ・ ・ ・ ・320×160 95 ・ ・ ・ 曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 ※図示 ・（ ） 化粧目地モルタルの色（ ） シーリングの種類（ ） 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ・図示 ・（ ） 形状 ・図示 ・（ ）																														
・建築窓ガラス用フィルム	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">記号</th> <th rowspan="2">その他の性能値等</th> </tr> <tr> <th>内張り用</th> <th>外張り用</th> </tr> <tr> <td>※衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム</td> <td>・G1-1</td> <td>・G1-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>品質 JIS A5759による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	記号		その他の性能値等	内張り用	外張り用	※衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・G1-1	・G1-2		品質 JIS A5759による																			
種類	記号		その他の性能値等																												
	内張り用	外張り用																													
※衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・G1-1	・G1-2																													
品質 JIS A5759による																															

6 <input checked="" type="checkbox"/> 改修範囲	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6. 1. 3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁厚より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※既存のまま <input checked="" type="checkbox"/> 図示																																																																																																																																																																																																																					
<input checked="" type="checkbox"/> 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） [6. 2. 2] <input checked="" type="checkbox"/> 下地モルタルとも（※図示の範囲 ・撤去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 ・（ ） ・図示 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による																																																																																																																																																																																																																					
<input checked="" type="checkbox"/> 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6. 3. 2] ※改修標準仕様書4. 4. 9によるモルタル塗り （塗り厚 25mm を超える場合の処置 ※図示 ・（ ））																																																																																																																																																																																																																					
<input checked="" type="checkbox"/> 施工一般	材料のホルムアルデヒド放散量 [6. 5. 2] ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による																																																																																																																																																																																																																					
<input checked="" type="checkbox"/> 木材 <input checked="" type="checkbox"/> G	本工事に使用する木材は、高知県内産材（高知県内の森林から生産された木材）を使用するものとする。但し、これにより難しいものは監督員の承認を得て使用すること。 日本農林規格JAS以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じたものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること。 ・代用樹種 ※使用できない ・使用箇所（ ） 間伐材等の適用 ・使用する（使用箇所） 木材の含水率 ※A種 ・B種（以降の表に記載のある場合はその数値を優先する）																																																																																																																																																																																																																					
<input checked="" type="checkbox"/> 製材 <input checked="" type="checkbox"/> G	<table border="1"> <tr> <th colspan="7">・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]</th> </tr> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="7">・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材</th> </tr> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td></td> <td>※上小節</td> <td>※A種 ・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td>※A種 ・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="7">・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材</th> </tr> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※10%以下 ・A種 ・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="7">・JAS 1083（製材）以外の製材</th> </tr> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>防腐・防蟻処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>造作材の場合 ※A種</td> <td></td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="7">・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6. 5. 2]</th> </tr> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="7">・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材</th> </tr> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面 見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="7">・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</th> </tr> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> <th></th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]							施工箇所	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※2級		※A種 ・B種																	・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材							施工箇所	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用	見え掛り面			※上小節	※A種 ・B種			見え掛り面以外			※小節以上	※A種 ・B種										・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材							施工箇所	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※1等		※10%以下 ・A種 ・B種										・JAS 1083（製材）以外の製材							施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	防腐・防蟻処理	含水率	間伐材等の適用			造作材の場合 ※A種			※A種 ・B種									・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6. 5. 2]							施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用						※1等 ・2等									・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材							施工箇所	品名	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面 見付け材面の品質	間伐材等の適用							※1等 ・2等										・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材							施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用						※15%以下									
・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2]																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																
		※2級		※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																		
・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																
見え掛り面			※上小節	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																		
見え掛り面以外			※小節以上	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																		
・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																
		※1等		※10%以下 ・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																		
・JAS 1083（製材）以外の製材																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	防腐・防蟻処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																
		造作材の場合 ※A種			※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																	
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6. 5. 2]																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																
					※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																	
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	品名	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面 見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																															
						※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																
・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																	
				※15%以下																																																																																																																																																																																																																		
<b>三建設計有限公司</b> 登録高-6号 高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633 一級建築士第135971 安並和文																																																																																																																																																																																																																						
特記仕様書（建築改修工事編）（4）				令和4年度版		高知県土木部建築課																																																																																																																																																																																																																
令和 年 月																																																																																																																																																																																																																						
令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事 令和5年7月改正																																																																																																																																																																																																																						
A-04																																																																																																																																																																																																																						

○造作用単板積層材 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">G</span>	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材						
	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率 間伐材等の適用
							※15%以下
	・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]						
	施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質		防虫処理	間伐材等の適用
	堅枠			・塗装加工 ○加工しない (・1等・2等・3等)	・天然木加工	・する ○しない	
	・JAS 0701以外の造作用単板積層材						
	施工箇所	寸法 (mm)	含水率	表面の品質		防虫処理	
			※14%以下	・塗装加工 ・加工しない (・1等・2等・3等)	・天然木加工	・する ・しない	
	・CLT(直交集成材) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">G</span>	・JAS 3079に基づく直交集成材 [6.5.2]					
施工箇所		品名	曲げ強度 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm) 間伐材等の適用
・「合板の日本農林規格」による普通合板 [6.5.2]							
施工箇所		厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	板面の品質		防虫処理 間伐材等の適用
		※5.5	※1類 ・2類		広葉樹 針葉樹	・1等 ※2等以上 ※C-D以上	・する ・しない
○「合板の日本農林規格」による構造用合板							
施工箇所		厚さ (mm)	接着の程度	等級	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理 強度等級 間伐材等の適用
		※12	○特類 ※1類	・1級 ※2級以上		※C-D以上 ・	・する ・しない
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板							
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	防虫処理	間伐材等の適用		
		・特類 ・1類		・する ・しない			
・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板							
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理			
		・1類 ・2類		・する ・しない			
・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板							
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	化粧加工の方法	単板の樹種名	防虫処理		
		・1類 ・2類			・する ・しない		
・パーティクルボード <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">G</span>							
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性	難燃性		
	※15		※13タイプ	※P又はM			
・JAS 0360Iに基づく構造用パネル							
施工箇所	厚さ (mm)	品名					
・ミディアムデンシティーファイバーボード (MDF) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">G</span>							
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	難燃性	間伐材等の適用	
・接合具等	造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3]						
	※隠し釘打ち ・ 釘頭埋木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し諸金物						
	※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (改修標準仕様書表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度)						
	・ (形状: 寸法: 材質: )						
	ホルムアルデヒドの放散量 [6.5.3, 4][6.8.2][6.9.2][6.11.4, 5]						
	※1各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による。						
	・防腐、防蟻処理 [6.5.5]						
	・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位 ( )						
	・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位 ( )						
	適用部位 保存処理性能区分						
・K2 ・K3 ※K4							
・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理							
適用部材 処理の方法							
※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②による ※JIS K 1571に適合又は同等品							
・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 ( )							
・合板等の加圧注入処理の適用 適用部位 ( )							

・内部間仕切軸組及び床組	・間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6.5.6]									
	※杉又は松									
	・床組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)									
	※杉又は松									
	・窓、出入口その他	・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6.5.7]								
		※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居 ひのき その他 松又は杉								
		・								
		・床板張り	・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6.5.8]							
			※ひのき							
			・							
・壁及び天井下地			・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6.5.9]							
			※杉又は松							
			・							
			○軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋外 ・19形 ※25形 [6.6.2~4]						
	屋内 ※19形 ・25形									
	・屋外の軒天井、ピロティ天井等									
	工法									
	1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法									
	野縁受、吊りボルト及びビーンサートの間隔 ・図示 ・ ( )									
	周辺部の端からの間隔 ・図示 ・ ( )									
野縁の間隔 ・図示 ・ ( )										
既存の埋込みインサート ○使用する ・使用しない										
あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う 試験箇所数										
※屋内の場合、当該階において3箇所										
・ ( ) 箇所										
確認強度										
※吊りボルトの間隔が900mm以下、かつ天井面構成部材等の単位面積当たりの質量が20kg/m <sup>2</sup> 以内の天井の場合										
400N程度										
・ ( ) N										
・行わない										
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示 ・ ( )										
・天井のふところが1.5m以上3m以下の場合 補強方法 ※標準仕様書6.6.4(8)による ・図示										
・天井のふところが3mを超える場合 補強方法 ※図示 ・ ( )										
・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 ・ ( )										
補強方法 ※図示 ・ ( )										
○軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナの種類 [6.7.3, 4]									
	※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ ( )									
	スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・ ( )									
	出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※改修標準仕様書表6.7.4(5)による ・ ( )									
	[6.8.2, 3]									
	種類の記号	施工箇所	色柄							
	※FS	トイレ床	○無地 ・マーブル柄 ・柄物							
	・		○超防汚性 ○抗ウイルス性 ○防汚性 ○防汚抗菌							
	工法 ※熱溶接工法 ・ 目地処理工法 ・ ( )									
	帯電防止 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2 以上~ 3.2 未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1x10 <sup>7</sup> ~ 1x10 <sup>10</sup> Ω 程度									
・ビニル床タイル <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">G</span>	種類の記号				施工箇所	色柄	寸法 (mm)	特殊機能	厚さ (mm)	
	・FT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防汚性	※2.0	・			
	・KT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防汚性	※2.0	・			
	・FOA		・無地 ・柄物	・500×500	・帯電防止 ・防汚性	・				
	・		・無地 ・柄物	・500×500	・帯電防止 ・防汚性	・				
	帯電防止 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2 以上~ 3.2 未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1x10 <sup>7</sup> ~ 1x10 <sup>10</sup> Ω 程度									
	材質の種類 ※軟質 ・硬質 [6.8.2]									
	高さ (mm) ※60 ・75 ・100									
	厚さ (mm) ※1.5以上 ・ ( )									
	種類 ・単層品 ・積層品 [6.8.2]									
色柄 ( ) ・フラット ・凹凸										
厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0										
寸法 (mm) ( )										
・ビニル幅木	種類 ・単層品 ・積層品 [6.8.2]									
	色柄 ( ) ・フラット ・凹凸									
	厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0									
	寸法 (mm) ( )									
	・ゴム床タイル	種類 ・単層品 ・積層品 [6.8.2]								
		色柄 ( ) ・フラット ・凹凸								
		厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0								
		寸法 (mm) ( )								

・カーペット敷き <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">G</span>	・織じゅうたん [6.9.2, 3][表6.9.1]				
	織り方	バイル形状	色柄等	バイル系の種類	特殊機能
	・ウルトカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アタキスカーペット	・カットバイル ・ループバイル	・無地 ・柄物 (標準品)	・A種 ・B種 ・C種	※帯電防止 ・
	接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い				
	下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ( )				
	・タフテッドカーペット				
	バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	特殊機能	備考
	・カットバイル	※5~7	・全面接着工法	※帯電防止	
	・ループバイル	※4~6	・グリッパー工法	・	
	・カット、ループ併用	・			
下敷き材 (グリッパー工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ( )					
・タイルカーペット					
バイルの形状	種別	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	
※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5	
・					
・カットバイル					
・カット、ループ併用					
タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し 階段部分 ※模様流し ・市松敷き					
見切り、押え金物 ・適用する (材質、種類、形状等 ※図示 ・ ( )					
[6.10.2~3]					
種別 施工箇所 工法・仕上げの種類					
・厚膜型塗床材 弾性樹脂系塗床 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ					
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂塗床 ・薄膜流しのペ工法 (※平滑 ・防汚) ・厚膜流しのペ工法 (※平滑 ・防汚) ・樹脂モルタル工法 (※平滑 ・防汚)					
・薄膜型塗床材 ※平滑仕上げ					
ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量					
※1各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による					
○フローリング張り	単層フローリング <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">G</span> [6.11.2~6]				
	種類	樹種	厚さ (mm)	大きさ (mm)	工法
	・フローリングボード 1等	※なら ○松	※15 ・12 ・18	幅 ( ) 長さ ( )	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法
	・フローリングブロック 1等	※なら ・	※15 ・	※303×303 ・	・接着工法 ・無塗装品
	複合フローリング <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">G</span>				
	種類	樹種	種別	厚さ (mm)	工法
	・天然木化粧複合フローリング	※なら ・	・A種 ・B種 ※C種	・15 ・12	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法
	ホルムアルデヒド放散量				
	※1各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による				
	接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・ ( )				
・畳敷き	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床: ) [6.12.2]				
	下地の種類 ・改修標準仕様書 表6.5.8による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">G</span> )				
	ホルムアルデヒド放散量				
	※1各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による				
	畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする。				
	畳表 高知県土佐畳表検査協会の合格品使用 (3種表の2等以上) ※適用する ・適用しない				
	畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。				
	三建設計有限会社 登録高-6号				
	高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633 一級建築士第135971 安並和文				
	特記仕様書 (建築改修工事編) (5)			令和4年度版 高知県土木部建築課	
令和 年 月					
令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事 令和5年7月改正					
A-05					

・カーペット敷き <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">G</span>		・織じゅうたん [6.9.2, 3][表6.9.1]	
織り方	バイル形状	色柄等	バイル系の種類
・ウルトカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アタキスカーペット	・カットバイル ・ループバイル	・無地 ・柄物 (標準品)	・A種 ・B種 ・C種
接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い			
下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ( )			
・タフテッドカーペット			
バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	特殊機能
・カットバイル	※5~7	・全面接着工法	※帯電防止
・ループバイル	※4~6	・グリッパー工法	・
・カット、ループ併用	・		
下敷き材 (グリッパー工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ( )			
・タイルカーペット			
バイルの形状	種別	施工箇所	寸法 (mm)
※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500
・			
・カットバイル			
・カット、ループ併用			
タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し 階段部分 ※模様流し ・市松敷き			
見切り、押え金物 ・適用する (材質、種類、形状等 ※図示 ・ ( )			
[6.10.2~3]			
種別 施工箇所 工法・仕上げの種類			
・厚膜型塗床材 弾性樹脂系塗床 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ			
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂塗床 ・薄膜流しのペ工法 (※平滑 ・防汚) ・厚膜流しのペ工法 (※平滑 ・防汚) ・樹脂モルタル工法 (※平滑 ・防汚)			
・薄膜型塗床材 ※平滑仕上げ			
ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量			
※1各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による			
○フローリング張り			
単層フローリング <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">G</span> [6.11.2~6]			
種類	樹種	厚さ (mm)	大きさ (mm)
・フローリングボード 1等	※なら ○松	※15 ・12 ・18	幅 ( ) 長さ ( )
・フローリングブロック 1等	※なら ・	※15 ・	※303×303 ・
複合フローリング <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">G</span>			
種類	樹種	種別	厚さ (mm)
・天然木化粧複合フローリング	※なら ・	・A種 ・B種 ※C種	・15 ・12
ホルムアルデヒド放散量			
※1各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による			
接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・ ( )			
畳敷き			
種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床: ) [6.12.2]			
下地の種類 ・改修標準仕様書 表6.5.8による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">G</span> )			
ホルムアルデヒド放散量			
※1各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による			
畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする。			
畳表 高知県土佐畳表検査協会の合格品使用 (3種表の2等以上) ※適用する ・適用しない			
畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。			
三建設計有限会社 登録高-6号			
高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633 一級建築士第135971 安並和文			
特記仕様書 (建築改修工事編) (5)		令和4年度版 高知県土木部建築課	
令和 年 月			
令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事 令和5年7月改正			
A-05			

Table with 3 columns: Item, Specification, and Reference. Includes sections for ceiling boards, wall coverings, and tile applications.

Table with 2 columns: Item and Specification. Includes sections for materials, floor adjustments, and painting.

Table with 2 columns: Item and Specification. Includes sections for indoor air pollution measures, floor adjustments, and painting.

Table with 2 columns: Item and Specification. Includes sections for seismic renovation, common items, and reinforcement work.

<p>・圧接完了後の試験 外観試験 ※行う (全数) [8.3.8] 全数試験 ・行う ※超音波探傷試験 適用箇所 ・図示 ( )</p> <p>・割裂補強筋 仕 様 ・ ( ) ・図示 [8.2.1.6][8.2.2.7]</p>	<p>・コンクリートの打込み 工法等</p> <p>部位等のコンクリートの打設工法の指定 [8.2.1.8][8.2.3.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>補強工事</th> <th>工法の種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・現場打ちコンクリート 壁の増設工事</td> <td>・工法指定なし</td> <td>・全ての増設壁 ・図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)</td> <td>・全ての増設壁 ・図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)</td> <td>・全ての増設壁 ・図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・図示による ( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・柱補強工事 (溶接金網巻き及び び溶接閉鎖フープ 巻き工法)</td> <td>・工法指定なし</td> <td>・全ての増設壁 ・図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)</td> <td>・全ての増設壁 ・図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)</td> <td>・全ての増設壁 ・図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・図示による ( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法での型枠等 [8.2.3.6]</td> <td>柱頭柱脚の隙間部間の型枠</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td>柱頭柱脚の隙間部間の型枠</td> <td>・ ( ) ・図示</td> </tr> <tr> <td>既存柱外周部あと打ちコンクリート又はモルタルの厚さ</td> <td>・ ( ) ・図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ ( ) ・図示 [8.2.1.10][8.2.3.7]</p>	補強工事	工法の種類	適用箇所	・現場打ちコンクリート 壁の増設工事	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示による ( )	・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	・全ての増設壁 ・図示による ( )	・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての増設壁 ・図示による ( )	・	・	・図示による ( )	・柱補強工事 (溶接金網巻き及び び溶接閉鎖フープ 巻き工法)	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示による ( )	・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	・全ての増設壁 ・図示による ( )	・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての増設壁 ・図示による ( )	・	・	・図示による ( )	鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法での型枠等 [8.2.3.6]	柱頭柱脚の隙間部間の型枠	・ ( )	柱頭柱脚の隙間部間の型枠	・ ( ) ・図示	既存柱外周部あと打ちコンクリート又はモルタルの厚さ	・ ( ) ・図示		<p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 (7.2.4)(表7.2.3)</p> <p>・ JSS II 13-2004 「(社) 日本鋼構造協会規格/建築構造用転造ねじアンカーボルト ナット・座金のセット」 適用箇所 ・ ( ) ・図示 ・ 標準仕様書 表7.2.3による 適用箇所 ・ ( ) ・図示</p> <p>形状、寸法 (7.10.3)</p> <p>構造用 ・ ( ) ・図示</p> <p>建方用 ・ ( ) ・図示</p> <p>・溶接材料 溶接材料 [8.2.1.0] ・ 改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による。 ・ 改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・ ( ) ・図示</p> <p>・ターンバックル 種類 (7.2.6) 建築用ターンバックル鋼 ・ 割挿式 建築用ターンバックルボルト ・ 羽子板ボルト ねじの呼び ・ ( ) ・図示</p> <p>・床構造用のデッキ プレート 材質、形状及び寸法 (7.2.7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>適用箇所</th> <th>材質・形状・寸法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・構造床</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・合成スラブ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・床型枠用</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>開口部補強要領 (補強筋の定着長さ等を含む) ・ ( ) ・図示</p> <p>鉄骨部材への溶接方法 (7.7.8) ・ ( ) ・図示</p> <p>耐火認定 ・ 有り 耐火時間 ( ) ・図示 ・無し</p> <p>・スタッド 材質、形状及び寸法 [8.2.1.11] ※頭付きスタッド JIS B 1198 呼び名等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼 び 名</th> <th>呼 び 長 さ (mm)</th> <th>適 用 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・柱底均しモルタル モルタルの種別 [8.2.1.12] ※無収縮モルタル ・ ( ) 無収縮モルタルの材料及び調査 材料、調査等 [8.2.1.2] ・ 改修標準仕様書 8.2.12による ・ ( ) 品質及び試験方法 ・ 改修標準仕様書 表8.2.10による ・ ( )</p> <p>工法の種別 (7.10.3)(表7.10.2) ・ 標準仕様書 表7.10.2 (※A種 [モルタル厚さ50] ・ B種 [モルタル厚さ30]) による</p> <p>・仮組 ・実施する ・実施しない [8.13.10]</p> <p>・溶接接合 開先の形状 [8.15.4] ・ 図示 ・ 構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-2による ・ ( )</p> <p>スカラップの形状 [8.15.7] ・ 図示 ・ 構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-4による ・ ( )</p> <p>エンドタブの切除部分 [8.15.7] ・ 見え掛り部となる部分 ・ ( ) ・図示 ・ 見え隠れ部となる部分 ・ ( ) ・図示 ・ 切除する部分なし</p> <p>溶接部の余盛り高さ [8.15.7] ※(社)日本建築学会「JASS6鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」付表3[溶接]による ・ ( )</p> <p>エンドタブ・裏あて金 ※鋼材の鋼種はSN-Bとし、引張強さによる区分は母材と同等とする</p>		適用箇所	材質・形状・寸法	備考	・構造床				・合成スラブ				・床型枠用				・				呼 び 名	呼 び 長 さ (mm)	適 用 箇 所	・			・			・		
		補強工事	工法の種類	適用箇所																																																													
・現場打ちコンクリート 壁の増設工事	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示による ( )																																																															
	・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	・全ての増設壁 ・図示による ( )																																																															
	・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての増設壁 ・図示による ( )																																																															
・	・	・図示による ( )																																																															
・柱補強工事 (溶接金網巻き及び び溶接閉鎖フープ 巻き工法)	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示による ( )																																																															
	・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	・全ての増設壁 ・図示による ( )																																																															
	・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての増設壁 ・図示による ( )																																																															
・	・	・図示による ( )																																																															
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法での型枠等 [8.2.3.6]	柱頭柱脚の隙間部間の型枠	・ ( )																																																															
	柱頭柱脚の隙間部間の型枠	・ ( ) ・図示																																																															
既存柱外周部あと打ちコンクリート又はモルタルの厚さ	・ ( ) ・図示																																																																
	適用箇所	材質・形状・寸法	備考																																																														
・構造床																																																																	
・合成スラブ																																																																	
・床型枠用																																																																	
・																																																																	
呼 び 名	呼 び 長 さ (mm)	適 用 箇 所																																																															
・																																																																	
・																																																																	
・																																																																	
<p>8-2 コン クリ ート 工 事</p> <p>○コンクリートの気乾単位 容積質量による 種類及び強度</p> <p>普通コンクリートの設計基準強度 [8.1.3~4][表8.1.2] 設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>) スラブ 適用箇所 ○24 ○15 閉塞部・床</p> <p>軽量コンクリートの設計基準強度 [8.1.3~4][8.9.2] 設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>) スラブ 適用箇所</p> <p>・コンクリートの類別 類 別 ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 [8.1.3][表8.1.1]</p> <p>○セメント 種 類 [8.2.5][表8.2.3] ○普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位 ( ) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする。 ・ 高炉セメントB種 [G] 使用部位 ( ) ・ フライアッシュセメントB種 [G] 使用部位 ( ) ・ ( )</p> <p>○骨材 アルカリシリカ反応性による区分 [8.2.5] ※A ・B ・再生骨材H</p> <p>○混和材料 ○混和剤 [8.2.5][8.9.1] 種 類 ・ 改修標準仕様書8.2.5(4)(a)による ・ ( ) ・ 混和材 種 類 ・ 改修標準仕様書8.2.5(4)(b)による ・ ( )</p> <p>・軽量コンクリート 種 別 [8.9.2][表8.9.1] ・ 1種 使用部位 ( ) ・ 2種 使用部位 ( ) 適用箇所 ・ ( ) ・図示 [8.9.1]</p> <p>・構造体用モルタル 圧縮強度 ( ) フロー値 ( ) [8.2.6]</p> <p>・無筋コンクリート 適用箇所 [8.2.5][8.1.1.1] ・ 標準仕様書 6.14.1(4)による箇所 ・ 標準仕様書 6.14.1(4)以外の箇所 ・ 図示による ( ) 設計基準強度 ・ 18 (N/mm<sup>2</sup>) ・ ( ) スラブ ・ 15cm ・ 18cm ・ ( )</p> <p>・ひび割れ誘発目地 目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3による ・ ( ) (6.6.4)(9.7.3) 間隔・位置・形状 ・ ( ) ・図示 (6.8.1)</p> <p>・コンクリートの仕上り 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [8.1.4][8.2.7][表8.1.4]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>適 用 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C 種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ ・ a種 ・ b種 ・ c種 [表8.1.5]</p> <p>・打増し厚さ (打放し仕上げ部) [8.7.8] ・ 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・ 20mm ・ ( ) ・ 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・ 10mm ・ 20mm ・ ( )</p> <p>・型枠 せき板の材料 [G] 及び厚さ [8.2.7] ・ 合板 (・12mm ・15mm ) ・ ( ) 断熱材の兼用 ・ 行わない ・ 行う (6.8.2) MCR工法用シート ・ 用いる (6.8.2) 打増し厚さ ・ 20mm ・ ( ) 打増し範囲 ・ ( ) ・図示</p> <p>スリーブの材質 [8.2.7][表8.2.6] ・ 改修標準仕様書 8.2.7(7)(イ)及び改修標準仕様書 表8.2.6による ・ ( ) 加工及び組立 [8.7.8] ・ シアコネクターをセパレーターとして使用 (使用箇所: )</p> <p>・コンクリートの単位水量 測定 実施要領 ・ 構造関係共通図 (構造関係共通事項) 構-4 施工方法及び計画書関連等 コンクリートの 単位水量測定による ・ ( )</p>	種 別	適 用 箇 所	・ A 種		・ B 種		・ C 種		<p>8-3 鉄 骨 工 事</p> <p>・鉄骨製作工場 鉄骨製作工場の加工能力 [8.1.5] ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として指定を受けた(株)日本 鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の 性能評価基準」に定める( )グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は 同等以上の能力のある工場 ・ 監督職員の承諾する工場(標準仕様書 7.1.1 以外の適用範囲に限る)</p> <p>・施工管理技術者 ・適用する ・適用しない [8.1.6]</p> <p>・鋼材 種類等 [8.2.8][表8.2.7]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所 (主要な部分)</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JIS規格による</td> </tr> </tbody> </table> <p>有効細長比(圧縮材に限る) ・ ( ) ・図示</p> <p>・高力ボルト 高力ボルトの区分 [8.2.9][8.1.4.2] ・ トルシア形高力ボルト セットの種類 ・ 2種(S10T) ・ ( ) ・ JIS形高力ボルト セットの種類 ・ 2種(F10T) ・ ( ) 高力ボルトの径 ・ ( ) ・図示 [8.2.9] ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔 による [8.13.2] ・ ( ) すべり係数試験 ※行わない ・ 行う 試験方法等 ・ ( ) ・図示 [8.14.2]</p> <p>・普通ボルト ボルト及びナットの材料 (7.2.3) ・ 標準仕様書 表7.2.3による ・ ( ) 座 金 ・ 標準仕様書 7.2.3(4)による ・ ( ) (7.2.3) ボルトの径 ・ ( ) ・図示 (7.2.3) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.13.2] ・ 構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔 による ・ ( )</p> <p>・溶融垂鉛めつき 高力ボルト セットの種類 [8.2.9][8.2.0.4] ・ 1種(F8T相当) ・ ( ) 溶融垂鉛めつき高力ボルトの径 ・ ( ) ・図示 [8.2.9] 溶融垂鉛めつき高力ボルトのボルト孔の径 [8.13.8] ・ 審査 (評定又は大臣認定) を受けた内容による ・ ( )</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.13.2] ・ 構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔 による ・ ( )</p> <p>摩擦面の処理 [8.2.0.5] ・ プラスト処理(表面粗度50μmRz以上) ・ りん酸塩処理 ・ ( )</p> <p>・アンカーボルト 適 用 (7.2.4)(7.10.3) ・ 構造用アンカーボルト 材 質 ・ ABR400 ・ ABR490 適用箇所 ・ ( ) ・図示 ・ 建方用アンカーボルト 材 質 ・ SS400 ・ ( ) 適用箇所 ・ ( ) ・図示 ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.13.2] ・ 構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔 による ・ ( )</p>	種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規 格			・ JIS規格による			・ JIS規格による			・ JIS規格による			・ JIS規格による			・ JIS規格による			・ JIS規格による	<p>特記仕様書 (建築改修工事編) (7)</p> <p>令和4年度版 高知県土木部建築課</p> <p>令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事 令和5年7月改正</p> <p>令和 年 月</p> <p>A-07</p>																																		
種 別	適 用 箇 所																																																																
・ A 種																																																																	
・ B 種																																																																	
・ C 種																																																																	
種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規 格																																																															
		・ JIS規格による																																																															
		・ JIS規格による																																																															
		・ JIS規格による																																																															
		・ JIS規格による																																																															
		・ JIS規格による																																																															
		・ JIS規格による																																																															

三 建 設 計 有 限 会 社 登録高-6号

高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633  
一級建築士第135971 安並和文

<p>・入熱、パス間温度の溶接条件</p> <p>鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示</li> <li>・構造関係共通図（鉄骨標準図）1-4による</li> </ul> <p>適用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示</li> <li>・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部</li> </ul> <p>・溶接部の試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸透探傷試験</li> <li>・磁粉探傷試験</li> </ul> <p>適用部位</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※割れの疑いのある表面欠陥</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完全溶込み部の超音波探傷試験</li> <li>・行わない</li> <li>・行う</li> <li>・工場溶接の場合</li> <li>AOQL(%)</li> <li>・4.0</li> <li>・2.5</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>節</td> <td>・全て</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>検査水準</td> <td>・第6水準</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	節	・全て	・	・	・	検査水準	・第6水準	・	・	・	<p>・軽量形鋼構造</p> <p>(7.1.1.2)</p> <p>・普通ボルト接合</p> <p>( )</p> <p>・溶融亜鉛めっき</p> <p>(基礎、主要構造部及びその他構造耐力上主要な部分に限る)</p> <p>種別等 [8.20.4][表8.20.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種別等</th> <th>材料</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板</td> </tr> </table> <p>素地ごしらは、JIS H 8641 による</p> <p>適用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul> <p>・ ( )</p> <p>・ 図示 [8.2.2.9]</p>	種別等	材料	A種	最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板	B種	最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板	C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板	<p>ひび割れ部改修</p> <p>[8.2.4.6][4.1.4]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行わない</li> <li>・行う</li> </ul> <p>範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修標準仕様書 4.1.4(1),(2)による</li> </ul> <p>連続繊維補強材の引張強度試験</p> <p>[8.2.4.6]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行わない</li> <li>・行う</li> </ul> <p>引張強度試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※JIS A 1191 (コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法)による</li> </ul> <p>試験数量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul> <p>連続繊維補強材の付着強度試験</p> <p>[8.2.4.6]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行わない</li> <li>・行う</li> </ul> <p>付着強度試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※JIS A 6909 (建築用仕上塗材)による</li> </ul> <p>試験数量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul> <p>・連続繊維補強後の仕上げ</p> <p>・ ( )</p> <p>・ 図示 [8.2.4.7]</p>	<p>8-4</p> <p>○あと施工アンカー</p> <p>材料等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○金属系アンカー</li> <li>引張耐力</li> <li>・ ( ) kN</li> <li>・ 図示 [8.2.4]</li> <li>せん断耐力</li> <li>・ ( ) KN</li> <li>・ 図示</li> </ul> <p>セット方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※本体打込み式改良型</li> <li>・ ( )</li> </ul> <p>接合筋の種類、径、長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul> <p>性能確認試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施する</li> <li>試験方法及び試験数</li> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul> <p>・接着系アンカー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引張耐力</li> <li>・ ( ) kN</li> <li>・ 図示</li> <li>せん断耐力</li> <li>・ ( ) KN</li> <li>・ 図示</li> </ul> <p>セット方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※カプセル方式の回転・打撃式</li> <li>・ ( )</li> </ul> <p>接着剤の品質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有機系</li> <li>・無機系</li> </ul> <p>アンカー筋の径及び埋込み長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul> <p>アンカー筋の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修標準仕様書 表8.2.1の異形棒鋼</li> <li>・金ねじボルト</li> </ul> <p>アンカー筋の新設壁への定着長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul> <p>性能確認試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施する</li> <li>試験方法及び試験数</li> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul>	<p>8-7</p> <p>耐震スリット新設工事</p> <p>・スリットの方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完全</li> <li>・部分</li> </ul> <p>設置箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul> <p>耐震スリット部詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul> <p>・スリットの施工</p> <p>既存撤去部の埋込み配管等の探査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋探査機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う</li> </ul> <p>鉄筋探査機の探査方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電磁波レーダー法 (3D表示対応型)</li> <li>・電磁波レーダー法又は電磁誘導法</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はつり出しによる</li> </ul> <p>スリットの幅及び深さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示 [8.2.5.2]</li> </ul> <p>・スリット充填材</p> <p>耐火材</p> <p>[8.2.5.2]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用しない</li> <li>・使用する</li> </ul> <p>使用箇所及び仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul> <p>遮音材</p> <p>[8.2.5.2]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用しない</li> <li>・使用する</li> </ul> <p>使用箇所及び仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul>	<p>8-8</p> <p>土工事及び地業工事</p> <p>・埋戻し及び盛土</p> <p>材料及び工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A種</li> <li>・B種</li> <li>・C種</li> <li>・D種</li> <li>・建設汚泥から再生した処理土 <u>G</u></li> </ul> <p>C種の場合の受入量、発生場所は現場説明書 (施工条件明示) による。 [8.2.8.3]</p> <p>D種の場合の六価クロム溶出試験は、現場説明書 (施工条件明示) による。 [表8.2.8.1]</p> <p>・建設発生土の処理</p> <p>[8.2.8.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※構外搬出</li> <li>処理場所 ( )</li> <li>所在地 ( ) 距離 ( ) km</li> <li>その他 建設発生土の搬出先は上記を予定している。</li> <li>搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。</li> </ul> <p>・構内指定場所に敷き均し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構内指定場所に堆積</li> </ul> <p>・山留めの撤去</p> <p>山留め壁等の存置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う</li> <li>・行わない</li> </ul> <p>[8.2.8.3]</p> <p>・騒音振動の防止</p> <p>低騒音型 低振動型建設機械指定に基づき指定された建設機械を使用する。</p> <p>・杭地業</p> <p>支持地盤の位置及び土質 (基礎ぐいの先端位置含む) [8.2.1.4][8.2.8.4](4.3.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul> <p>杭の材料、工法、寸法、施工方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法</li> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・杭の継手の箇所数、材料、工法等</li> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・杭の溶接継手</li> <li>技能資格者の技量</li> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>溶接部の確認</li> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul>	<p>8-5</p> <p>グラウト工事</p> <p>・グラウト材</p> <p>[8.2.12]</p> <p>グラウト材</p> <p>[8.2.12]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無収縮グラウト材 (セメント、混和剤、砂は無収縮モルタルに準ずる)</li> </ul> <p>無収縮グラウトの品質及び試験方法</p> <table border="1"> <tr> <td>ブリーディング</td> <td>練り混ぜ2時間後のブリーディング率：2.0%以下</td> </tr> <tr> <td>無収縮性</td> <td>材齢 7日 収縮しない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">圧縮強度</td> <td>材齢 3日 20N/mm<sup>2</sup>以上</td> </tr> <tr> <td>材齢 28日 40N/mm<sup>2</sup>以上</td> </tr> <tr> <td>塩化物量</td> <td>0.30kg/m<sup>3</sup>以下</td> </tr> <tr> <td>試験方法</td> <td>1) 日本道路公団規格 (JHS) 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</td> </tr> </table>	ブリーディング	練り混ぜ2時間後のブリーディング率：2.0%以下	無収縮性	材齢 7日 収縮しない	圧縮強度	材齢 3日 20N/mm <sup>2</sup> 以上	材齢 28日 40N/mm <sup>2</sup> 以上	塩化物量	0.30kg/m <sup>3</sup> 以下	試験方法	1) 日本道路公団規格 (JHS) 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。	<p>8-6</p> <p>連続繊維補強工事</p> <p>・適用範囲</p> <p>連続繊維補強工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続シートを柱に巻き付けて補強する工法</li> <li>・ ( )</li> </ul> <p>・連続繊維シート</p> <p>連続繊維の材料</p> <p>[8.2.1.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・炭素繊維</li> <li>・アラミド繊維</li> <li>・ ( )</li> </ul> <p>連続繊維の材質</p> <p>引張強度 (含浸硬化後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( ) N/mm<sup>2</sup></li> </ul> <p>ヤング係数 (含浸硬化後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( ) N/mm<sup>2</sup></li> </ul> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ (一財) 日本建築防災協会の評価を受けた工法</li> <li>・ ( )</li> </ul>	<p>特記仕様書 (建築改修工事編) (8)</p> <p>令和4年度版</p> <p>高知県土木建築課</p> <p>令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事</p> <p>令和5年7月改正</p> <p>A-08</p>	
	節	・全て	・	・	・																																	
	検査水準	・第6水準	・	・	・																																	
	種別等	材料																																				
	A種	最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板																																				
	B種	最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板																																				
	C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板																																				
	ブリーディング	練り混ぜ2時間後のブリーディング率：2.0%以下																																				
	無収縮性	材齢 7日 収縮しない																																				
	圧縮強度	材齢 3日 20N/mm <sup>2</sup> 以上																																				
材齢 28日 40N/mm <sup>2</sup> 以上																																						
塩化物量	0.30kg/m <sup>3</sup> 以下																																					
試験方法	1) 日本道路公団規格 (JHS) 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。																																					
<p>・錆止め塗装</p> <p>塗料の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄鋼面の錆止め塗料</li> </ul> <p>屋外</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修標準仕様書 表7.3.1 A種</li> <li>・ ( )</li> </ul> <p>屋内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修標準仕様書 表7.3.1 ( ) 種</li> <li>・ ( )</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料</li> <li>・改修標準仕様書 表7.3.2 ( ) 種</li> <li>・ ( )</li> </ul> <p>鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修標準仕様書 7.3.2 表7.3.1 A種</li> <li>・ ( )</li> </ul> <p>耐火被覆材の接着する面への塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行わない</li> <li>・行う</li> </ul> <p>適用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による ( )</li> </ul> <p>塗料の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修標準仕様書 表7.3.1 ( ) 種</li> <li>・改修標準仕様書 表7.3.2 ( ) 種</li> </ul>	<p>8-4</p> <p>あと施工アンカー工事</p> <p>・穿孔前の埋込み配管等の探査</p> <p>[8.1.2.4]</p> <p>探査範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あと施工アンカー施工部分全て</li> <li>・ ( )</li> </ul> <p>探査方法</p> <p>[8.1.2.4]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋探査機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う</li> </ul> <p>鉄筋探査機の探査方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電磁波レーダー法 (3D表示対応型)</li> <li>・電磁波レーダー法又は電磁誘導法</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はつり出しによる</li> <li>・ ( )</li> </ul> <p>試験の適用</p> <p>[8.1.2.7]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施しない</li> <li>・実施する</li> </ul> <p>試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引張試験機による引張試験</li> <li>・ ( )</li> </ul> <p>確認強度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul>	<p>8-5</p> <p>グラウト工事</p> <p>種別 [8.1.8.2~8]</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料・工法</th> <th>適用箇所 (部位・部分)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・耐火材吹付け</td> <td>・乾式吹付けロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・半乾式吹付けロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・湿式ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火板張り</td> <td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火材巻付け</td> <td>・高断熱ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ラス張りモルタル塗り</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火塗料</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。</p> <p>性能</p> <table border="1"> <tr> <th>性能</th> <th>適用箇所 (部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>・30分耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・1時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・2時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・3時間耐火</td> <td></td> </tr> </table>	種別	材料・工法	適用箇所 (部位・部分)	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		・半乾式吹付けロックウール		・湿式ロックウール		・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		・		・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		・ラス張りモルタル塗り	・		・耐火塗料	・		性能	適用箇所 (部位・部分)	・30分耐火		・1時間耐火		・2時間耐火		・3時間耐火		<p>8-6</p> <p>連続繊維補強工事</p> <p>※ (社) 日本建築学会「JASS6鉄骨工事」付則6 [鉄骨精度検査基準] 付表 [工事現場] による (7.10.2)</p> <p>構造用アンカーフレームの形状及び寸法 (7.2.4)(7.10.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( )</li> <li>・ 図示</li> </ul> <p>建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (表7.10.1)</p> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A種</li> <li>・B種</li> </ul>	<p>三建設 有限会社</p> <p>登録高-6号</p> <p>高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633</p> <p>一級建築士第135971 安並和文</p>
			種別	材料・工法	適用箇所 (部位・部分)																																	
			・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール																																		
				・半乾式吹付けロックウール																																		
				・湿式ロックウール																																		
			・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板																																		
				・																																		
			・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール																																		
			・ラス張りモルタル塗り	・																																		
			・耐火塗料	・																																		
性能	適用箇所 (部位・部分)																																					
・30分耐火																																						
・1時間耐火																																						
・2時間耐火																																						
・3時間耐火																																						

・砂利及び砂地業	杭頭の処理 ・処理しない ・処理する 処理方法（切断にともなう補強方法含む） ・（ ） ・図示 杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの ・（ ）	[ 8. 2. 1 5 ]
	杭の精度 ・水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・（ ） ・杭の傾斜 ・1/100以内 ・（ ） 記録する施工状況等 ・（ ） ・図示	[ 8. 2 8. 4 ]
・捨コンクリート	捨コンクリートの厚さ ・50mm ・（ ） mm 設計基準強度 ・18N/mm <sup>2</sup> ・（ ） N/mm <sup>2</sup> スランプ ・15cm ・18cm ・（ ） cm	[ 8. 1 1. 1 ] [ 8. 2 8. 4 ]

9 環境配慮 改修工事	・石綿含有建材の 処理工事 ・石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点 [9.1.1、3~6]																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定 名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定2</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定4</td> <td></td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>・計 箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定5</td> <td></td> <td>集じん・排気装置の排出口 吹出し風速1m/sec以下の位置 吹出し口(処理作業室外)</td> <td>・計 箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定6</td> <td></td> <td>処理作業室外(敷地境界) (施工区画周辺)</td> <td>・計 箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後(シト養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定8</td> <td>処理作業後シート</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定9</td> <td>撤去後1週間で降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 箇所</td> </tr> </tbody> </table>	適用	測定 名称	測定時期	測定場所	測定箇所 (各施工箇所ごと)	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計 箇所	・	測定2		調査対象室外部の付近	・計 箇所	・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・計 箇所	・	測定4		セキュリティゾーン入口	・計 箇所	・	測定5		集じん・排気装置の排出口 吹出し風速1m/sec以下の位置 吹出し口(処理作業室外)	・計 箇所	・	測定6		処理作業室外(敷地境界) (施工区画周辺)	・計 箇所	・	測定7	処理作業後(シト養生中)	処理作業室内	・計 箇所	・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・計 箇所	・	測定9	撤去後1週間で降	調査対象室外部の付近	・計 箇所	
	適用	測定 名称	測定時期	測定場所	測定箇所 (各施工箇所ごと)																																															
	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計 箇所																																															
	・	測定2		調査対象室外部の付近	・計 箇所																																															
	・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・計 箇所																																															
	・	測定4		セキュリティゾーン入口	・計 箇所																																															
	・	測定5		集じん・排気装置の排出口 吹出し風速1m/sec以下の位置 吹出し口(処理作業室外)	・計 箇所																																															
	・	測定6		処理作業室外(敷地境界) (施工区画周辺)	・計 箇所																																															
	・	測定7	処理作業後(シト養生中)	処理作業室内	・計 箇所																																															
・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・計 箇所																																																
・	測定9	撤去後1週間で降	調査対象室外部の付近	・計 箇所																																																
・自動測定器による測定 測定名称 測定方法 ・測定4 ・測定5 粉じん相対濃度計(デジタリ粉じん計)、ハネイクルカウンター 繊維状粒子自動測定器(リアルタイムモニター)等の 粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																				
・JIS K 3850-1に基づいた測定 測定4,5 測定( ) 測定( )																																																				
メンブレンフィルタ直径(mm) 試料の吸引流量(l/min) 試料の吸引時間(min)	25 5 30	47 10 120	47 10 240																																																	
石綿含有建材の処理 ・石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ・図示 ・（ ） 除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)																																																				
・石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ・図示 ・（ ） 除去工法 ・破碎して除去 ・原型のまま手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)																																																				
・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外)の除去 除去対象範囲 ・（ ） ・図示 作業場所周辺の養生 ・行う 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せっこうボード ※埋立処分(管理型最終処分場) ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)																																																				
・石綿含有成型板(石綿含有けい酸カルシウム板第1種)の除去 除去対象範囲 ・図示 ・ 養生方法 ・ 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)																																																				

・外断熱改修工事 [G]	・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去 除去対象範囲 ・図示 ・ 除去工法 ・ 養生方法 ・ 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)	[9.2.1~4]																	
	石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ・図示 ・																		
	断熱材の種類 ( ) 断熱材の厚さ(mm) ( ) 施工箇所 ・図示 ・ ホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による	[9.2.1~4]																	
	外装材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	防火性能	備考	・														
	種類	防火性能	備考																
	・																		
	鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による																		
	既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・あり ・なし 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠換部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章外壁改修工事による ・																		
	工法 通気層の有無 ・あり( mm) ・なし 断熱材の施工 ※断熱材製造所の仕様による ・ 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による ・ 1章 適用区分による風圧力( ・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整( ) 外装材の外壁への取付け ・図示 ・	[9.3.2~4]																	
	フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項) 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策」による	[9.3.2~4]																	
・断熱材打込み工法 ・断熱材後張り工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法*リステルフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出法*リステルフォーム断熱材(スキン層なし)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 類	厚さ(mm)	施工箇所	・ビーズ法*リステルフォーム断熱材			・押出法*リステルフォーム断熱材(スキン層なし)			・硬質ウレタンフォーム断熱材			・フェノールフォーム断熱材			・			
種 類	厚さ(mm)	施工箇所																	
・ビーズ法*リステルフォーム断熱材																			
・押出法*リステルフォーム断熱材(スキン層なし)																			
・硬質ウレタンフォーム断熱材																			
・フェノールフォーム断熱材																			
・																			
・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1 ・A種1H 厚さ(mm) ・25 ・30 ・( ) 施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・図示																			
・断熱材後張り工法 断熱材の種類 ・ 断熱材の厚さ(mm) ・ 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル ・使用する(せっこうボード等の材質 厚さ mm)																			
植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ※適用する ・適用しない 芝及び地被類の種類等 ・( ) ・図示 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・( ) ・図示 かん水装置 ・設置する(種類 ・ ) (工事区分は図示による) 既存保護層の撤去 ・行う 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 ・無し ・( )	[9.4.2~4]																		
・屋上緑化改修工事 [G]																			

・透水性アスファルト舗装 改修工事 [G]	[9.5.2~5、9] 既適用範囲 ※歩道 ・( ) 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・( ) 路床 路床の材料 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土[G]</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>※再生クラッシャーラン[G] ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂 ・</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・砂 ・</td> <td>・図示 ・</td> </tr> </tbody> </table> 凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ・行わない ・路床安定処理 安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種[G] ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰( ・特号 ・1号) ・消石灰( ・特号 ・1号) 添加量( ) kg/m <sup>3</sup> (目標CBR ・3以上 ・ ) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験 ・ ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m <sup>2</sup> 以上 ・ 厚さ(mm) ・0.5~1.0 ・ 引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上 ・ 透水係数 ・1.5×10 <sup>-1</sup> cm/sec以上 ・ 試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない 路盤 路盤の厚さ ・図示 ・ 路盤材料 ・砕石( ・クラッシャーラン ・粒度調整砕石) ・再生材( ・クラッシャーラン[G] ・粒度調整砕石[G]) ・粒度調整鉄鋼スラグ[G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ[G] 舗装の構成 ・図示 ・ 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土[G]	・図示 ・	・凍上抑制層	※再生クラッシャーラン[G] ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂 ・	・図示 ・	・フィルター層	・砂 ・	・図示 ・																				
種別	材料	厚さ(mm)																															
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土[G]	・図示 ・																															
・凍上抑制層	※再生クラッシャーラン[G] ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂 ・	・図示 ・																															
・フィルター層	・砂 ・	・図示 ・																															
10 ・フリーアクセス フロア その他	(20.2.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構 法</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重 (N)</th> <th>表面仕上材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・置敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500 ・</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3000 ・5000</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルベアット</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・置敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500 ・</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3000 ・5000</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルベアット</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・置敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500 ・</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3000 ・5000</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルベアット</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 帯電防止性能 ・評価値(U) ≥0.6以上 ・評価値(U) ≥1.2以上 感電防止性能 漏えい抵抗(R) ≥1×10 <sup>8</sup> Ω 寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(a)による ・ 耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能 ※標準仕様書20.2.2(2)(i)による ・ 表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書19章による。 スロープ及びボーダー ※製造所の仕様による ・図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全面積に対する設置割合 ※100パーセント ・ 配線取り出し開口 ※パネル1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上 ・図示 空調用吹き出し(吸い込み)パネル ※なし ・あり(形式、施工箇所:図示)	施工箇所	構 法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重 (N)	表面仕上材	備考		・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3000 ・5000	・帯電防止床タイル ・タイルベアット			・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3000 ・5000	・帯電防止床タイル ・タイルベアット			・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3000 ・5000	・帯電防止床タイル ・タイルベアット	
施工箇所	構 法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重 (N)	表面仕上材	備考																										
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3000 ・5000	・帯電防止床タイル ・タイルベアット																											
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3000 ・5000	・帯電防止床タイル ・タイルベアット																											
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3000 ・5000	・帯電防止床タイル ・タイルベアット																											
<b>三 建設 計 有 限 会 社</b>		登録高-6号 高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633 一級建築士第135971 安並和文																															
特記仕様書(建築改修工事編)(9)		令和4年度版 高知県土木部建築課																															
令和 年 月																																	
令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事 令和5年7月改正		A-09																															

○ トイレブース	(20.2.5)						
	パネル表面材の種類		脚部	ドアエッジ			
	○メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板		形状 ※ 幅木タイプ ・	形状 ・ 標準 ○ R	材質 ○ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材		
	パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ 「1(各章共通事項)、7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による						
	(11.2.2)(19.2.2)						
	施工箇所	種類	寸法(mm)	再生材料の適用 <input type="checkbox"/> G	厚さ(mm)		
	屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・	・ 7.0		
		・ 磁器質タイル ・ レジンコンクリート製	・ せつ器質タイル ・ コンクリート製	※ 300×300	・	・	
	屋外	・ 磁器質タイル	・ せつ器質タイル	・ 300×300	・	・	
		・ レジンコンクリート製	・ コンクリート製	・ 300×300	・	・	
※ 黄色 ブロックパターンは JIS T 9251 による							
○ 手すり	(20.2.6)						
	材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考		
	※ 集成材	※ クリアラッカー	・ 35	・ 45			
	・ ステンレスパイプ	・ HL					
	・ 鋼製パイプ	・ EP-G	・ SOP				
○ ビニル製ハンドル							
○ 表示	衝突防止表示 (20.2.11)						
	形状・寸法 (・30φ)						
	材質 (・ステンレス製)						
	誘導標識、非常用出入口等の表示 ※消防法に適合する市販品						
	室名札、ピクトグラム、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等						
	※図示 案内用図記号はJIS Z 8210による。						
	(20.2.14)						
	形式	操作方法	種類	スラットの材種	スラット幅(mm)	ボックス・レールの材種	寸法・取付箇所
	※ 横形	・ 手動	※ ギヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム合金製 <input type="checkbox"/> G	※ 25	※ 鋼製	・ 図示
	・ 縦形	・ 手動	※ 2本操作コード式 ・ 1本操作コード式	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	7Mニッケル合金製	・ 図示
	・ 電動	—					
アルミスラット 焼付け塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工 ブラインドの幅・高さ ※建具寸法 図示 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品 <input type="checkbox"/> G							
(20.2.15)							
材種	操作方式	遮光性	幅・高さ(mm)	取付箇所	備考		
・ ガラス繊維製 ・ 合成・天然繊維製 ・ 木製	・ 電動式 ・ スプリング式 ・ チェーン式	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	※ 図示	・ 図示			
巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造所の仕様による。 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品 <input type="checkbox"/> G							
(20.2.16)							
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考		
・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ フランスひだ ・ 箱ひだ、つまひだ ・ プレーンひだ、片ひだ		※ 図示		
・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ フランスひだ ・ 箱ひだ、つまひだ ・ プレーンひだ、片ひだ		※ 図示		
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品 <input type="checkbox"/> G 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm以上							
○ カーテンレール	(20.2.16)						
	材料による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成型材						
	強さによる区分 ※ 10-90						
	仕上げ ※ アルマイト						
	形状 ※ 角形						
	溝型×深さ(mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示						
	材質 ・ 集成材(仕上げ) ・ アルミニウム製 押出し型材(市販品) 標準仕様書表14.2.11による表面処理の種別 ・ BC-1 ・ BC-2 ・ 色合い ・ 標準色 ・ 特注色 ・ 鋼製(仕上げ)						
	ブラインドボックス及びカーテンボックス						

○ 天井点検口							
	材種						
	※ アルミニウム製	寸法	形式		外枠	内枠	
	・	○ 450×450 ・ 600×600	○ 一般形 ・ 屋内外用 ○ 屋内用 ・ 気密形		○ 額縁タイプ ・ 目地タイプ	○ 額縁タイプ ・ 目地タイプ	
	材種						
	○ アルミニウム製	寸法	形式		備考		
	・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ○ 600×600	○ 一般形 ・ 密閉形		○ 鍵付き ○ 屋内用		
	密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものである。						
○ 床点検口	方向						
	幅(mm)	タイプ		耐火性能	防水性能	備考	
	・ 垂直方向 ・ 水平方向	・ 25	※ 完全(全貫通型) ・		・ 耐火型 ・ 非耐火型	・ 有り ・ 無し	
	目地						
	目地		内壁		外壁		
	目地材		・ シーリング材(見え掛かりのみ)		・ シーリング材(見え掛かりのみ) ・ シーリング材(内外とも)		
	目地寸法(mm)		※スリット幅×深さ10		※スリット幅×深さ10		
	目地材の材質は標準仕様書表9.7.11による						
	○ 耐震スリット	材種					
		寸法(mm)		備考			
		W	D	H			
・ 流し台		・ 1200 ・ 1500 ・ 1800	・ 550 ・ 600 ・ 650	・ 800 ・ 850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製		
・ 埋込コンロ		・ 600	・ 520	・ 800	市販品		
・ つり戸棚		・ 1200 ・ 900	・ 450	・ 500 ・ 700	市販品		
・ 水切り		・ 1200 ・ 900 ・ 600	-	-	市販品 ステンレス製 ・ 1段式		
品質・性能 JIS A 4420による 形状 ※ 図示							
フェンスの種類 ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス ・ 樹脂塗装メッシュフェンス ・ 鋼管フェンス ・ アルミフェンス 高さ 図示							
洗面カウンター 材種 ・ メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) ・ 人工大理石 奥行き(mm) ・ 約 450 ・ 約 600							
○ 流し台ユニット	路面標示用塗料						
	JIS K 5665(路面標示用塗料)による						
	種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	
	・ 1種 <input type="checkbox"/> G	常温	液状	・ 白	・ 150	・ 1.0	
	・ 2種 <input type="checkbox"/> G	加熱		・	・ 100	・	
	※ 3種 1号 熔融 粉体状						
	低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料 <input type="checkbox"/> G						
	材質 水性アクリル系樹脂塗料(※標準色)						
	仕上種別 コーティング(ローラー刷毛塗り) 塗布量 主剤2回塗とし、総塗布量は0.25kg/m2以上とする						
	ビクチャーレール用吊下フック・カラビナ式(透明ワイヤー)						
○ フェンス	アルミニウム製 ※塩ビ						
	※SUS製 t=1.2						
	(13.2.2~3)						
	施工箇所	長尺金属板の種類			厚さ(mm)	屋根葺形式	
	・ 屋根	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金 めっき鋼板及び鋼帯 (GLCCR-20-AZ150) ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (GGCCR-20-Z25)			※0.4	・ 立平葺 ・ あり掛葺 ・ 芯木なし瓦葺葺 ・ 横葺	
	下葺材料 ※アスファルトルーフィング 940 ・ ゴムアスファルトルーフィング下葺材 (13.2.2)(表13.2.2)						
	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書計画書(10.2.3)として提出する 建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 Vo=( )m/s 地表面粗度区分 (I・II・III・IV) 積雪区分 建設省告示第1455号 別表( )						
	三建設計有限会社 登録高-6号						
	高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633 一級建築士第135971 安並和文						

4-1 外壁 改修 工事 (外壁 改修 フロア 及び 数量)	外壁改修フロー及び数量					
	・ コンクリート打直し仕上げ外壁の場合					
	外壁調査(施工数量調査)					
	旧仕上の撤去 ・ 全面 ※ 図示					
	ひび割れ部改修		欠損部改修		シーリング改修	
	樹脂注入 工法(注1)	カットソー材 充填工法	シール工法	充填工法	鋼鉄筋部 補修工法	シーリング再充填工法
	A) m B) m C) m D) m	m	m	100× 300× 30mm程度 ヶ所	幅100mm 程度 m	mm× mm× mm mm m
	下地調整材 ・ 全面 ※ 図示					
	仕上塗材仕上 ・ 全面 ※ 図示					
	(注1) ひび割れ幅(mm)が、A) 0.2以上1.0未満、B) 0.2以上0.3未満、C) 0.3以上0.5未満、D) 0.5以上1.0未満を示す A) は自動式低圧エポキシ樹脂注入工法を示し、 B) ・ C) ・ D) は手動式エポキシ樹脂注入工法、機械式エポキシ樹脂注入工法を示す					
特記仕様書(建築改修工事編)(10)				令和4年度版	高知県土木部建築課	
令和 年 月						
令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事 令和5年7月改正					A-10	

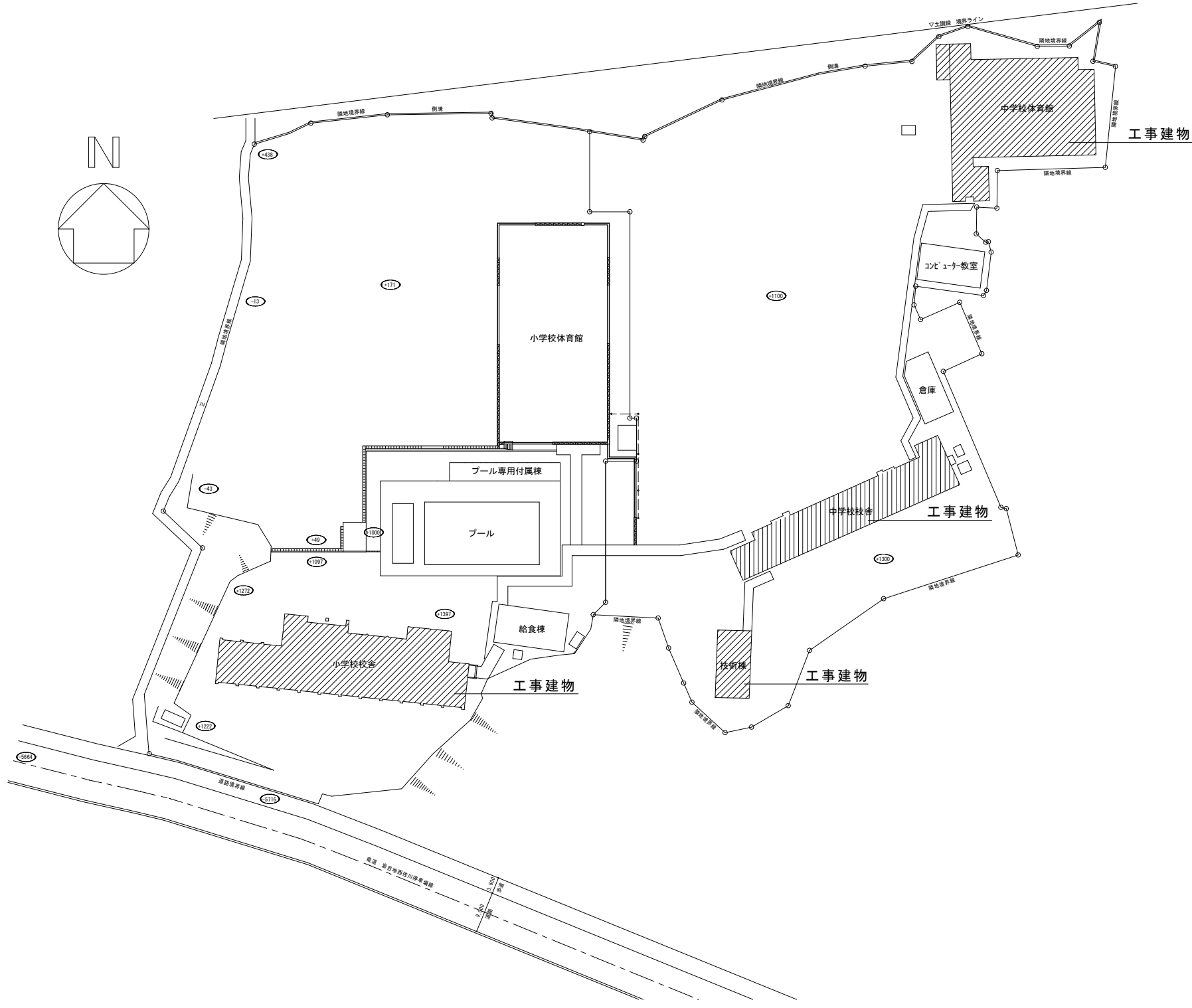
11  
屋根  
改修  
工事

1 長尺金属板葺

委託概要	
委託場所	高岡郡日高村岩目地40番地及び岩目地164番地
	加茂小学校
	加茂中学校・技術棟・屋内体育館
委託内容	便器の洋式化、床の乾式化、トイレプースの取替
	衛生器具の取替、換気扇の取替、電気設備の改修



付近見取図

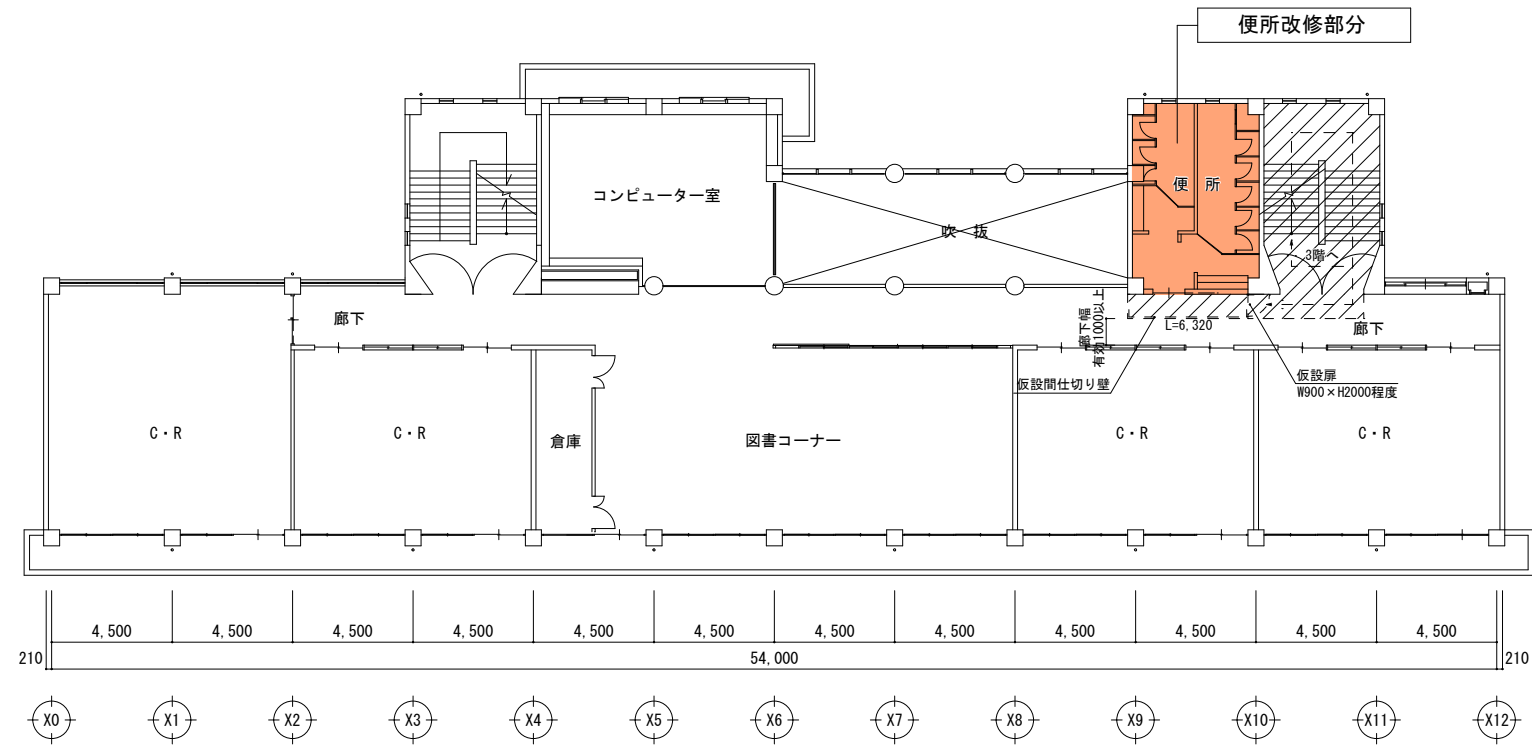


全体配置図 S=1:800

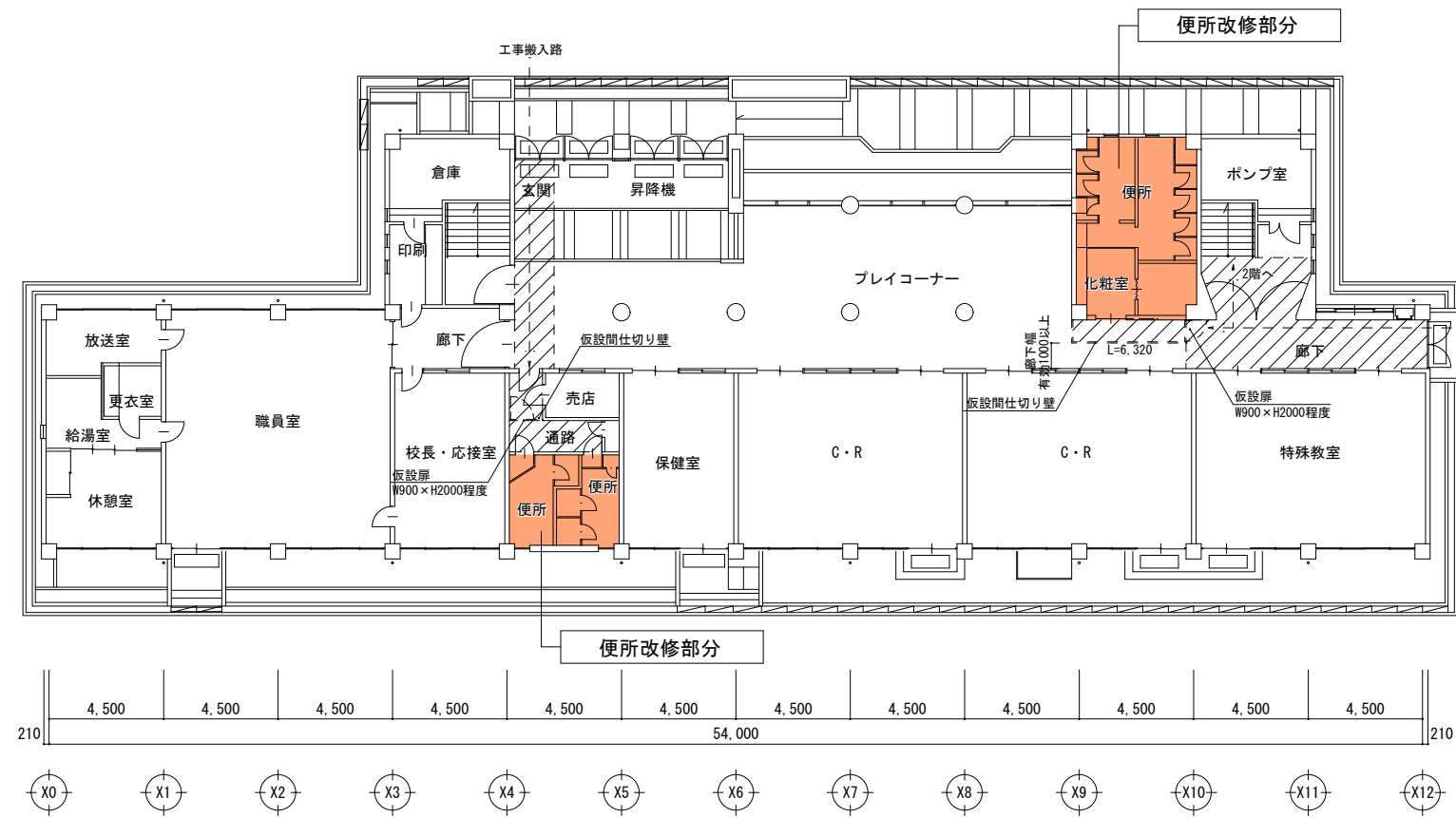
備考	

令和6年度 須崎小学校大規模改造工事 設計図

三建設計有限公司		登録高-6号	図面名称 付近見取図・配置図	
高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	編尺 S=1:800	NO. 全 11
一級建築士第135971	安並和文		年月日 担当	製図



2階平面図 S=1:200

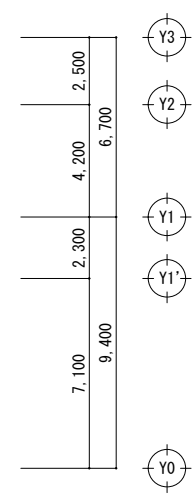
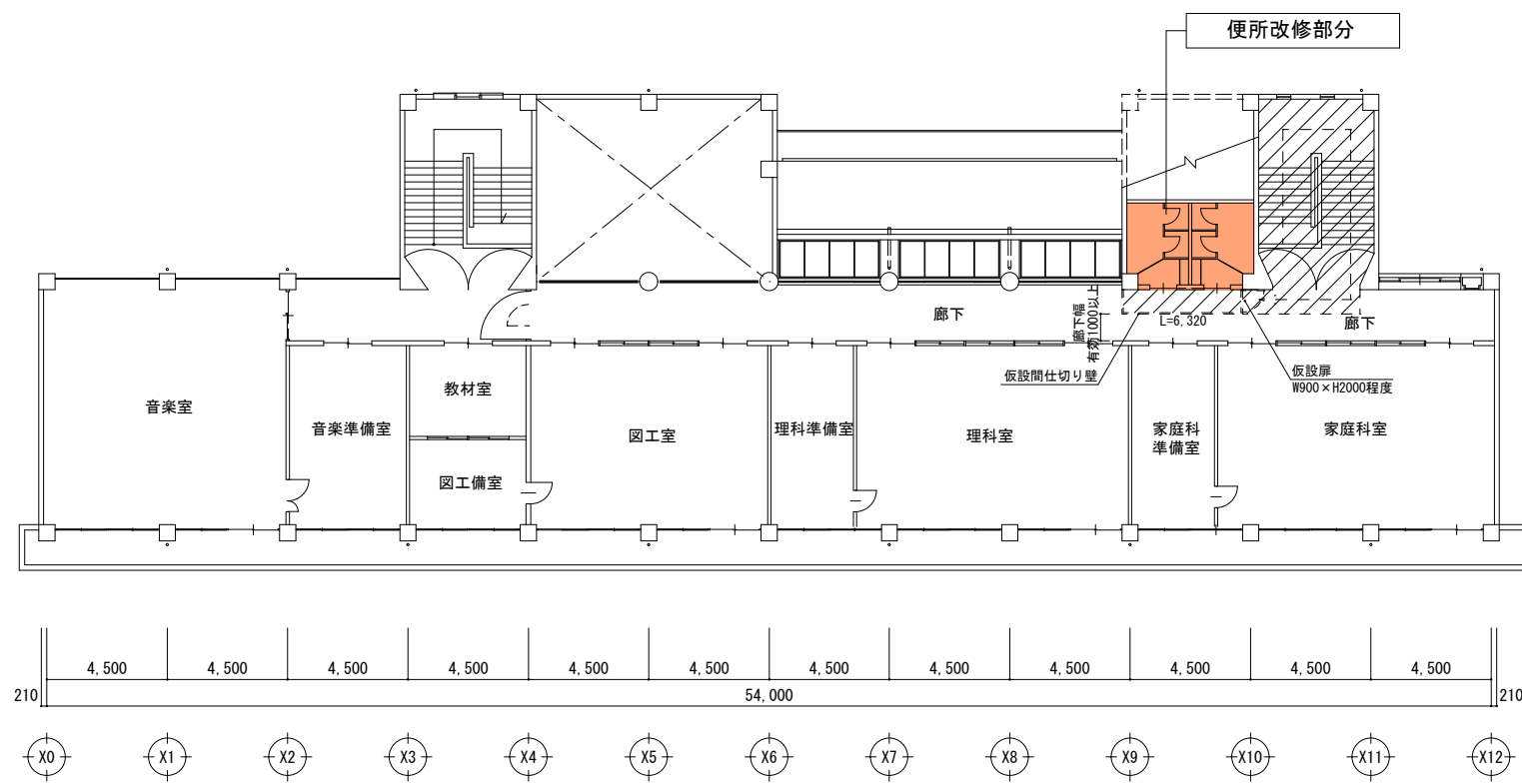


1階平面図 S=1:200

--- 仮設間仕切り壁：LGS65形+GB-Rt9.5張り

▨ : 床養生範囲を示す

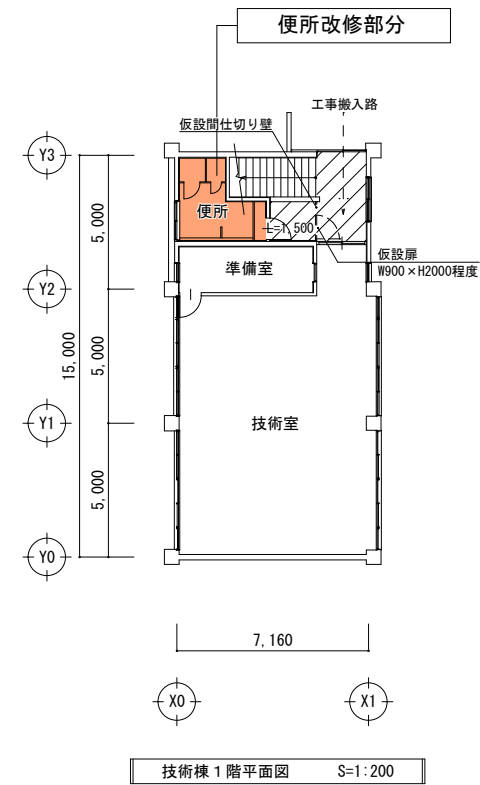
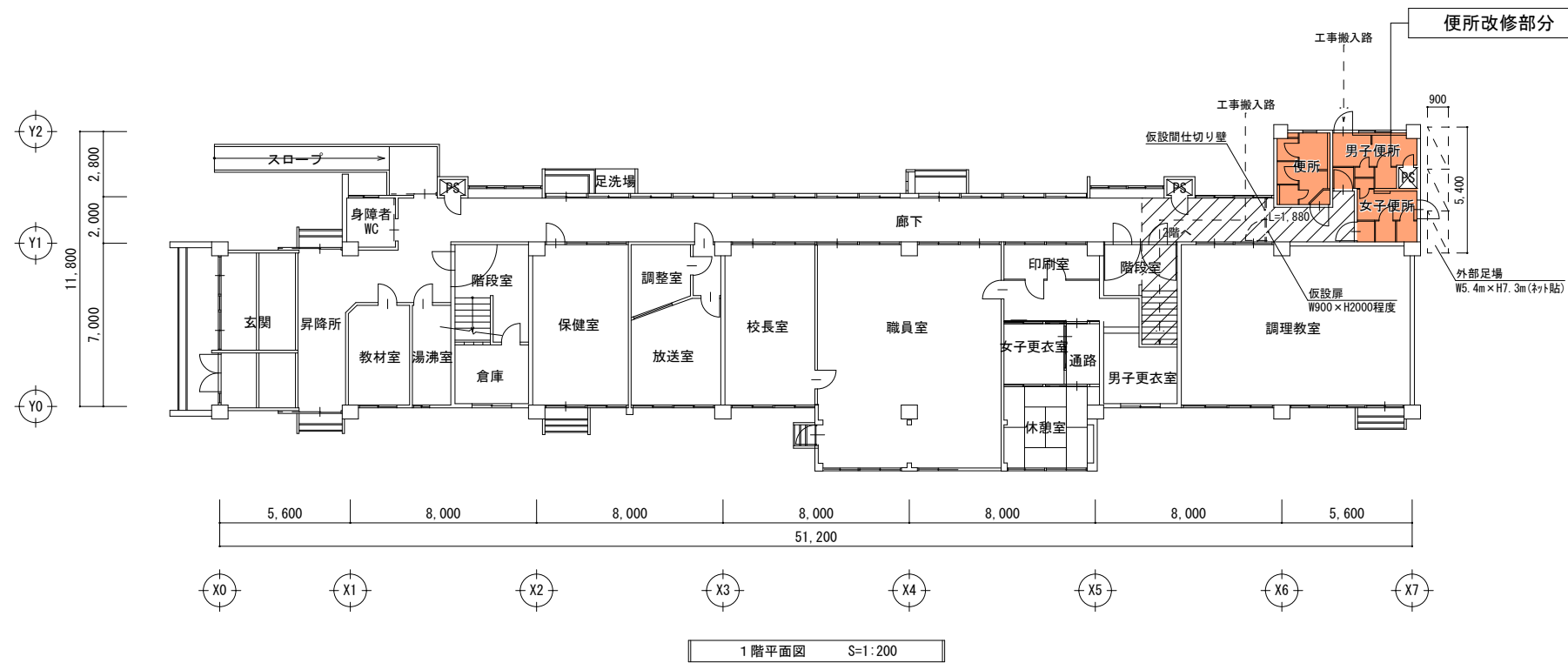
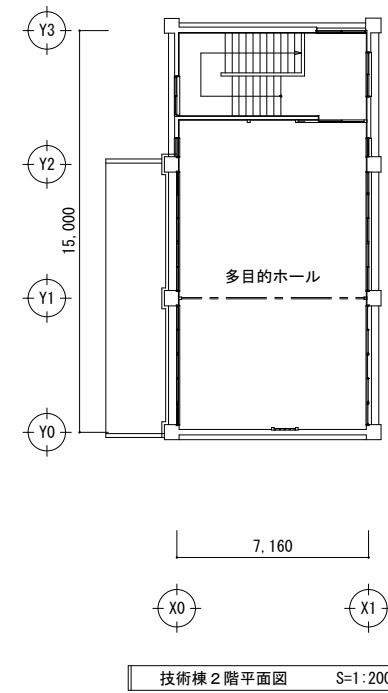
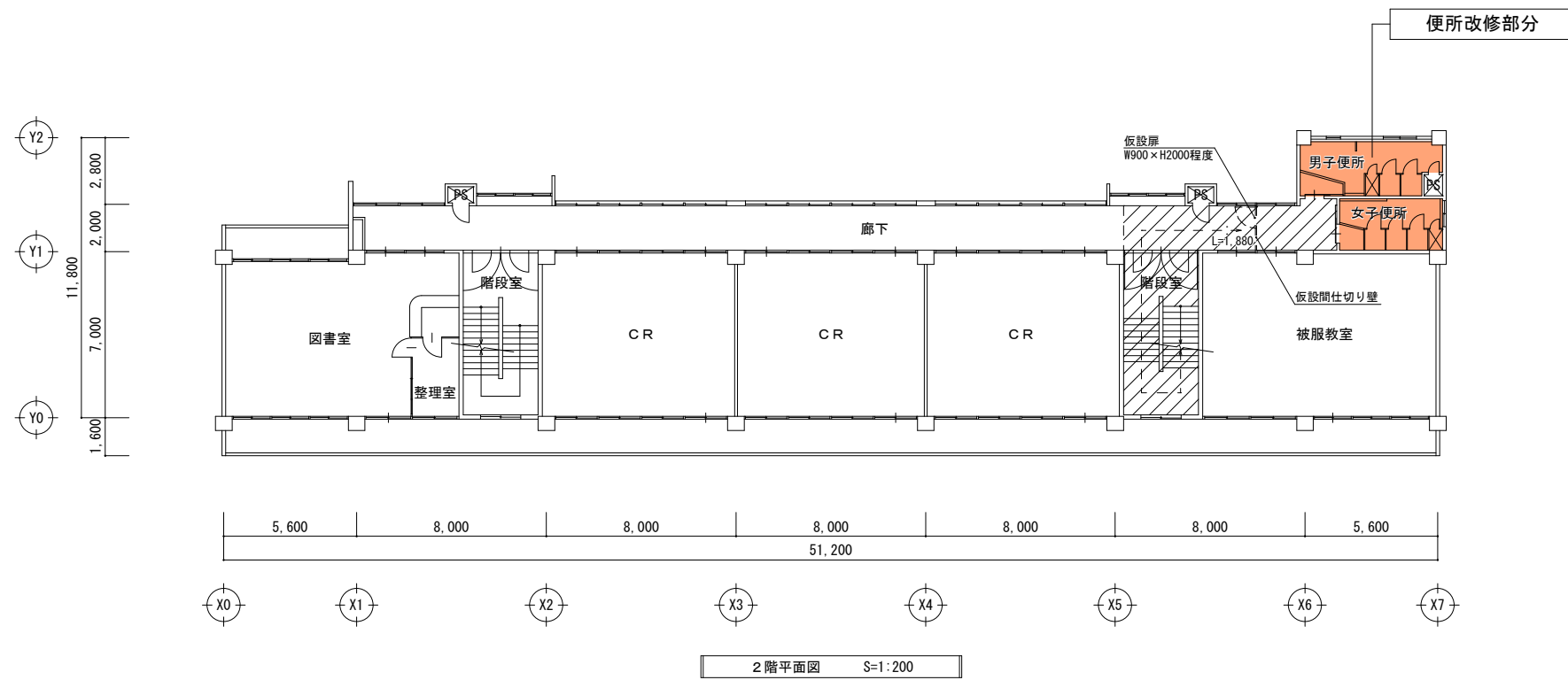
備考	令和6年度 須崎小学校大規模改造工事	設計図	三建設計有限公司		登録高-6号	図面名称		内部仮設計画図(1) (小学校)	
			高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	編尺	S=1:200	NO.	全 12
			一級建築士第135971	安並和文		年月日	担当	製図	



3階平面図 S=1:200

--- 仮設間仕切り壁：LGS65形+GB-Rt9.5張り  
 [Hatched Box] : 床養生範囲を示す

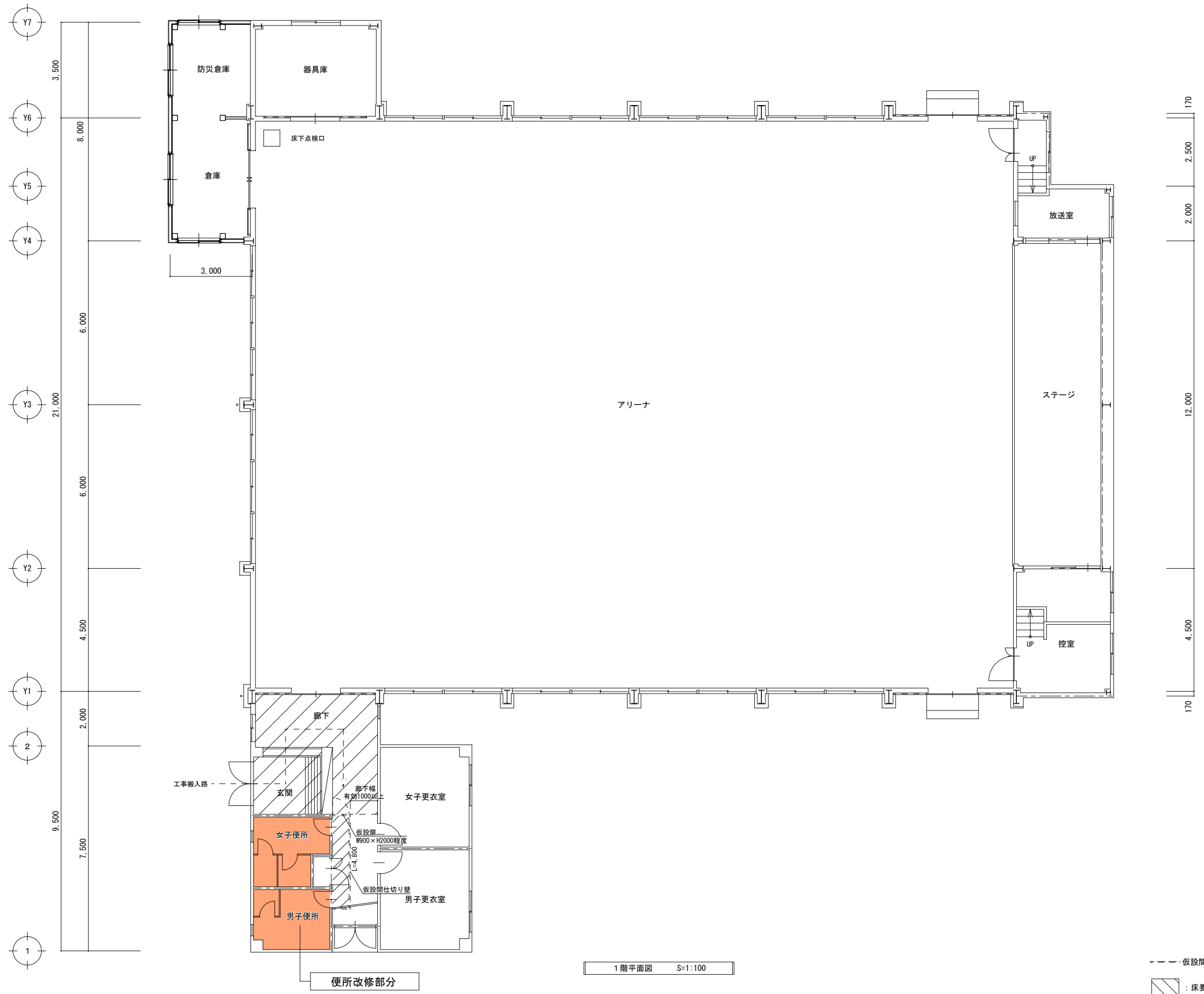
備考	令和6年度 須崎小学校大規模改造工事	設計図	三建設計有限公司 登録高-6号		図面名称 内部仮設計画図(2) (小学校)	
			高知市知寄町1-5-1 一級建築士第135971	TEL 883-1761 FAX 883-1633 安並和文	編尺 S=1:200	NO. 全 13



--- 仮設間仕切り壁：LGS65形+GB-Rt9.5張り

▨ : 床養生範囲を示す

備考	令和6年度 須崎小学校大規模改造工事 設計図		三建設計有限公司 登録高-6号		図面名称 内部仮設計画図(3) (中学校)	
	高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633 一級建築士第135971 安並和文		編尺 S=1:200		NO. 全 14	

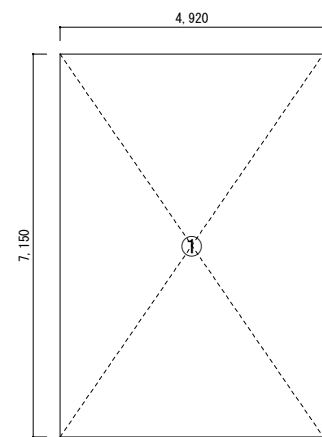


1階平面図 S=1:100

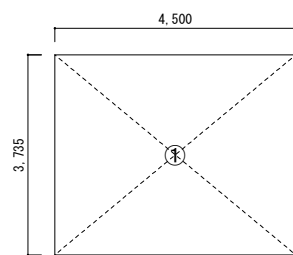
--- 仮設間仕切り壁：LGS65形+GB-Rt9.5張り  
 [Hatched Box] 床養生範囲を示す

備考	令和6年度 須崎小学校大規模改造工事	設計図	三建設計有限公司		登録高-6号	図面名称		内部仮設計画図(4) (中学校)	
			高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	編尺	S=1:100	NO.	全 15
			一級建築士第135971	安並和文		年月日	担当	製図	

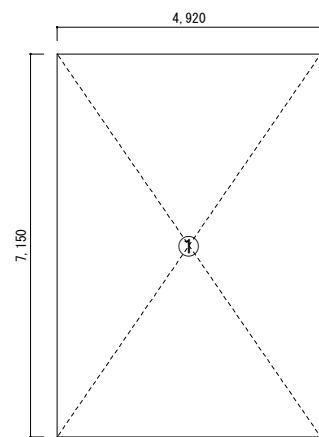
小学校



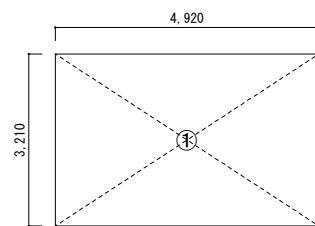
1階平面図(1) S=1:100



1階平面図(2) S=1:100



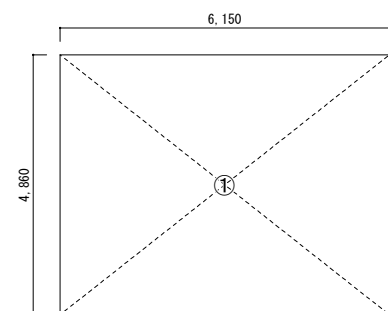
2階平面図 S=1:100



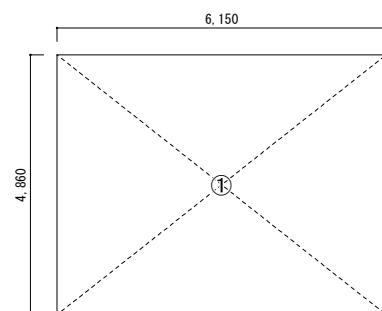
3階平面図 S=1:100

室名	記号	計算式	m <sup>2</sup>	合計 m <sup>2</sup>
校舎 1階(1)	①	7.150 × 4.920 =	35.1780	35.1780
校舎 1階(2)	①	3.735 × 4.500 =	16.8075	
校舎 2階	①	7.150 × 4.920 =	35.1780	35.1780
校舎 3階	①	3.210 × 4.920 =	15.7932	
				102.9567
基準床面積				103

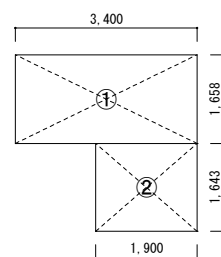
中学校



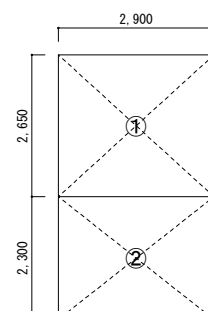
1階平面図(校舎) S=1:100



2階平面図(校舎) S=1:100



1階平面図(技術棟) S=1:100

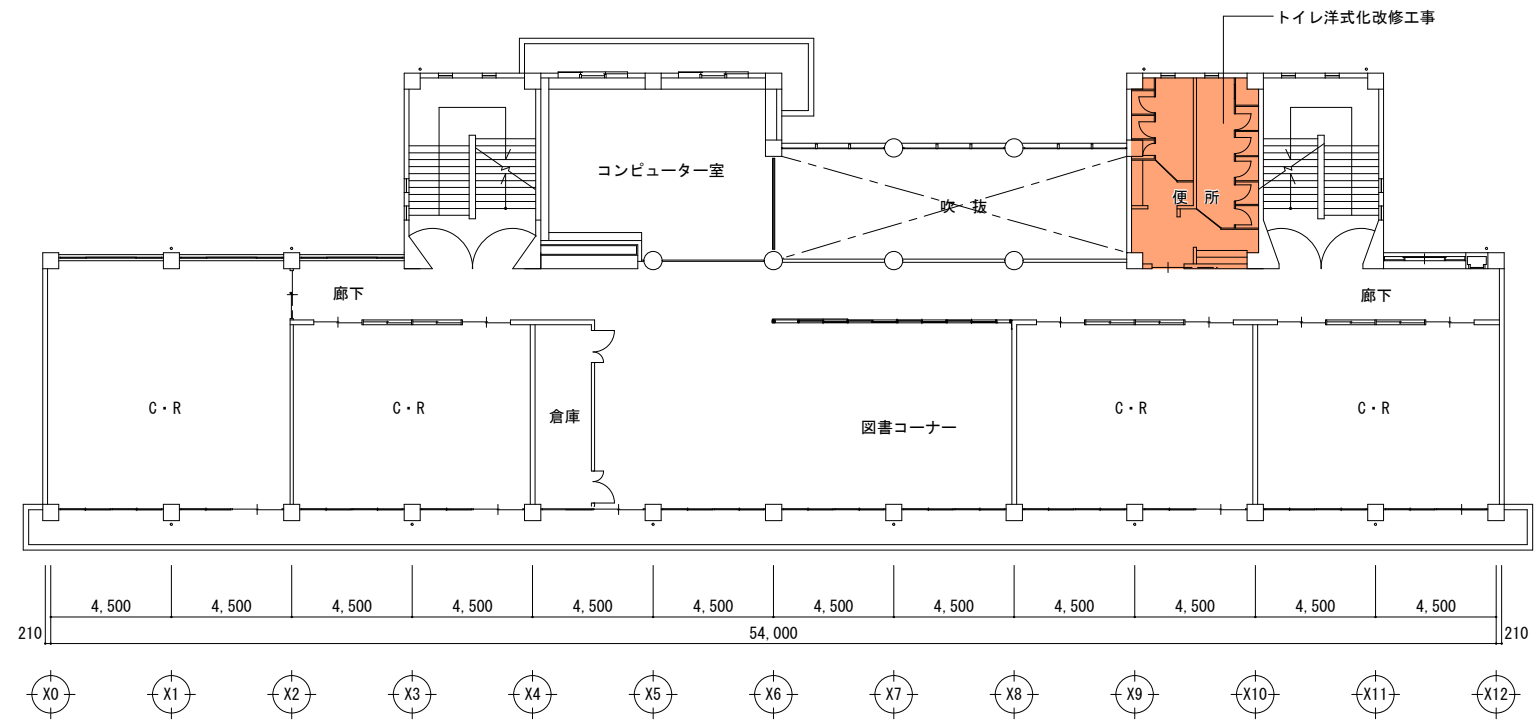


1階平面図(屋内運動場) S=1:100

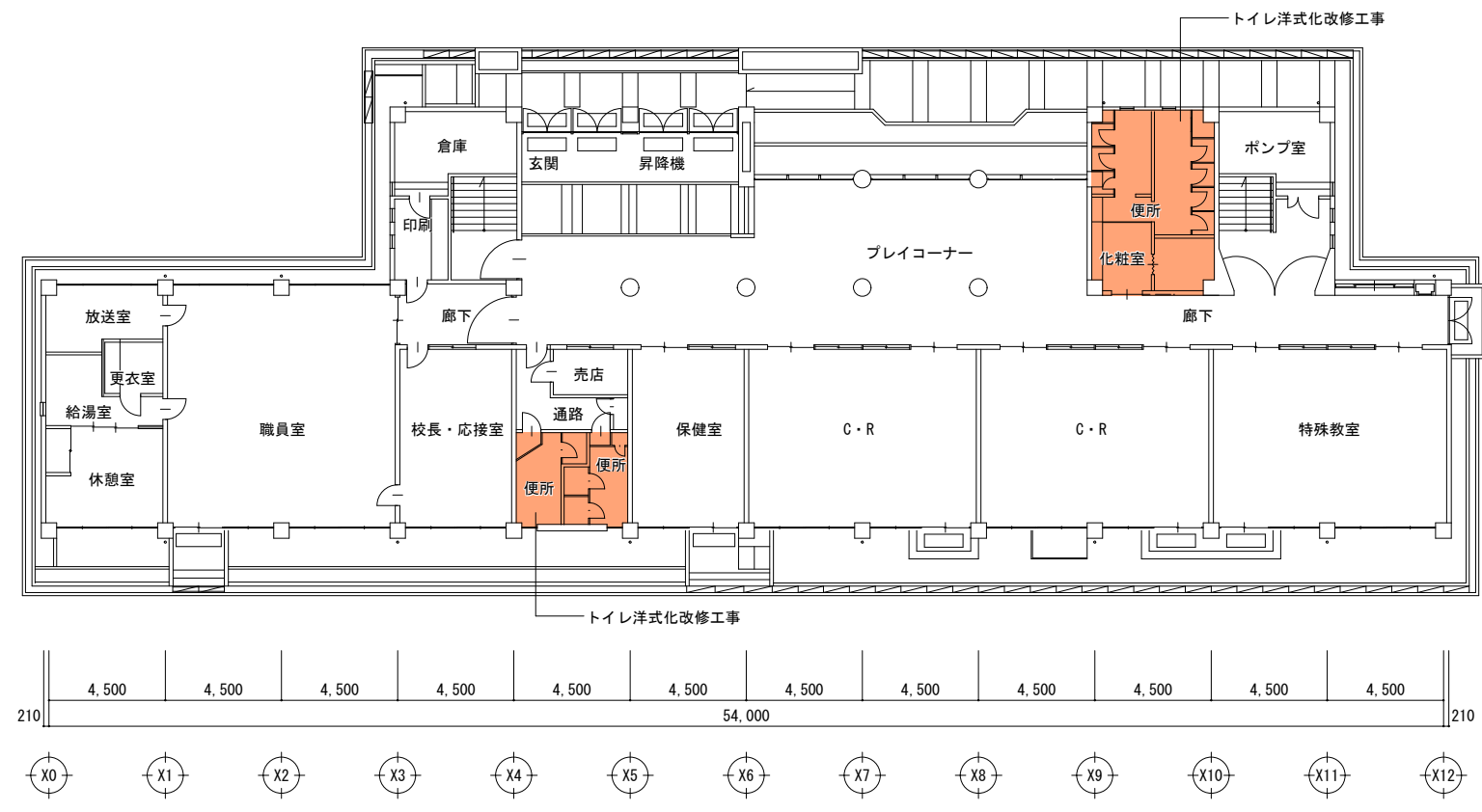
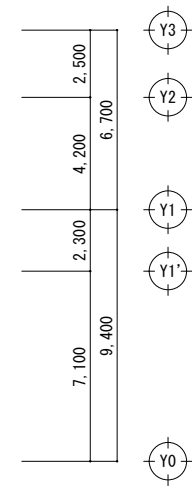
室名	記号	計算式	m <sup>2</sup>	合計 m <sup>2</sup>
校舎 1階	①	6.150 × 4.860 =	29.8890	29.8890
校舎 2階	①	6.150 × 4.860 =	29.8890	
技術棟 1階	①	3.400 × 1.657.5 =	5.63550	8.7562
"	②	1.900 × 1.642.5 =	3.12075	
屋内運動場 1階	①	2.900 × 2.650 =	7.68500	14.3550
"	②	2.900 × 2.300 =	6.67000	
				82.8892
基準床面積				83

内部仕上表

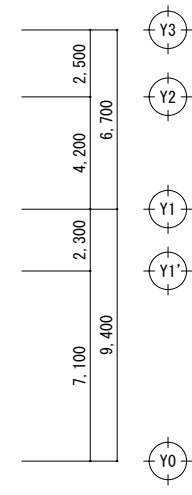
階	室名		床		巾木	壁		天井			備考
			構造	下地		構造	下地	廻縁	構造	下地	
1階 (南側)	男子便所・踏込 ↓ 女子便所	改修前	50角モザイクタイル張【既存のまま】 踏込：ノンスリップシート貼【撤去】(モルタル下地共)	RC		100角カラータイル張【既存のまま】	RC	PB(7)9 目スカシ貼 OP【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	床点検口 600×600【撤去】(粹共)、天井点検口【撤去】 カーテンレール【撤去】
		改修後	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 既存タイルのうえモルタル下地(7)50	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	床点検口 600×600(鍵付) 450角天井点検口
	女子便所・踏込 ↓ 男子便所	改修前	50角モザイクタイル張【既存のまま】 踏込：ノンスリップシート貼【撤去】(モルタル下地共)	RC		100角カラータイル張【既存のまま】	RC	PB(7)9 目スカシ貼 OP【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	天井点検口【撤去】
		改修後	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 既存タイルのうえモルタル下地(7)50	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	450角天井点検口
1階 (北側)	手洗室 ↓ 前室	改修前	ノンスリップシート貼【撤去】(モルタル下地共)	RC		モルタルコテ磨き VP【撤去】 腰壁：100角カラータイル張【撤去】	RC	化粧石膏ボード(7)9【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	床点検口 600×600【撤去】(粹共)
		改修後	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 モルタル下地(7)30	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	床点検口 600×600(鍵付)
	踏込 ↓ 前室・男子便所	改修前	50角モザイクタイル張【既存のまま】	RC		モルタルコテ磨き VP【撤去】 腰壁：100角カラータイル張【撤去】	RC	化粧石膏ボード(7)9【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	
		改修後	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 既存タイルのうえモルタル下地(7)50	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	
	身障者便所 ↓ 誰でもトイレ	改修前	50角モザイクタイル張【既存のまま】	RC		100角カラータイル張【一部撤去】	RC	PB(7)9 目スカシ貼 OP【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS	アコーディオンカーテン【撤去】 スノコ板【撤去】
		改修後	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 下地調整の上樹脂モルタル塗	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	
	男子便所	改修前	50角モザイクタイル張【既存のまま】	RC		100角カラータイル張【一部撤去】	RC	PB(7)9 目スカシ貼 OP【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	天井点検口(2ヶ所)【撤去】
			乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 既存タイルのうえモルタル下地(7)50	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	450角天井点検口
		改修後	50角モザイクタイル張【既存のまま】	RC		100角カラータイル張【一部撤去】	RC	PB(7)9 目スカシ貼 OP【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	天井点検口(1ヶ所)【撤去】
			乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 既存タイルのうえモルタル下地(7)50	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	450角天井点検口
	女子便所	改修前	50角モザイクタイル張【既存のまま】	RC		100角カラータイル張【一部撤去】	RC	PB(7)9 目スカシ貼 OP【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	天井点検口(1ヶ所)【撤去】
			乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 既存タイルのうえモルタル下地(7)50	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	450角天井点検口
改修後		50角モザイクタイル張【既存のまま】	RC		100角カラータイル張【一部撤去】	RC	PB(7)9 目スカシ貼 OP【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	天井点検口(1ヶ所)【撤去】	
		乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 既存タイルのうえモルタル下地(7)50	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	450角天井点検口	
2階 (北側)	踏込 ↓ 女子便所	改修前	ノンスリップシート貼【撤去】(モルタル下地共)	RC	塩ビ巾木 H=75	モルタルコテ磨き VP【一部撤去】	RC	化粧石膏ボード(7)9【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	
		改修後	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 モルタル下地(7)30	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	450角天井点検口
	手洗室 ↓ 男子便所・女子便所	改修前	ノンスリップシート貼【撤去】(モルタル下地共)	RC		100角カラータイル張【一部撤去】	RC	PB(7)9 目スカシ貼 OP【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	
		改修後	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 既存タイルのうえモルタル下地(7)50	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	450角天井点検口
3階 (北側)	手洗室 ↓ 女子便所・男子便所	改修前	ノンスリップシート貼【撤去】(モルタル下地共)	RC		モルタルコテ磨き VP【一部撤去】 腰壁：100角カラータイル張【一部撤去】	RC	化粧石膏ボード(7)9【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	
		改修後	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 既存タイルのうえモルタル下地(7)50	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	
1・2階 (共通)	廊下	改修前	ラ・コンパネ(7)12捨貼 ヒノキフローリング(7)15サンダー掛け	RC	ヒノキH=75	塗装合板型枠コンクリート打放し ラフトン吹付	RC	PB(7)9捨貼ロックウール吸音板(7)9貼【既存のまま】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	
		改修後	桧フローリング(7)15mm UC塗(3回塗り) 構造用合板(7)15mm 捨貼(不陸調整)	RC	桧巾木 H=75 UC塗	LGS65+GB-R(7)12.5×2+EP-G塗 (腰壁)桧板貼(7)12 UC塗+胴縁40×18@450	RC				
3階	廊下	改修前	モルタルコテ押工 長尺塩ビシート(7)2.5貼	RC	ヒノキH=75	塗装合板型枠コンクリート打放し ラフトン吹付	RC	PB(7)9下地ジュラックスロック塗【既存のまま】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	
		改修後	ビニル床シート(7)2.5 モルタル下地(7)30	RC	桧巾木 H=75 UC塗	LGS65+GB-R(7)12.5×2+EP-G塗 (腰壁)桧板貼(7)12 UC塗+胴縁40×18@450	RC				



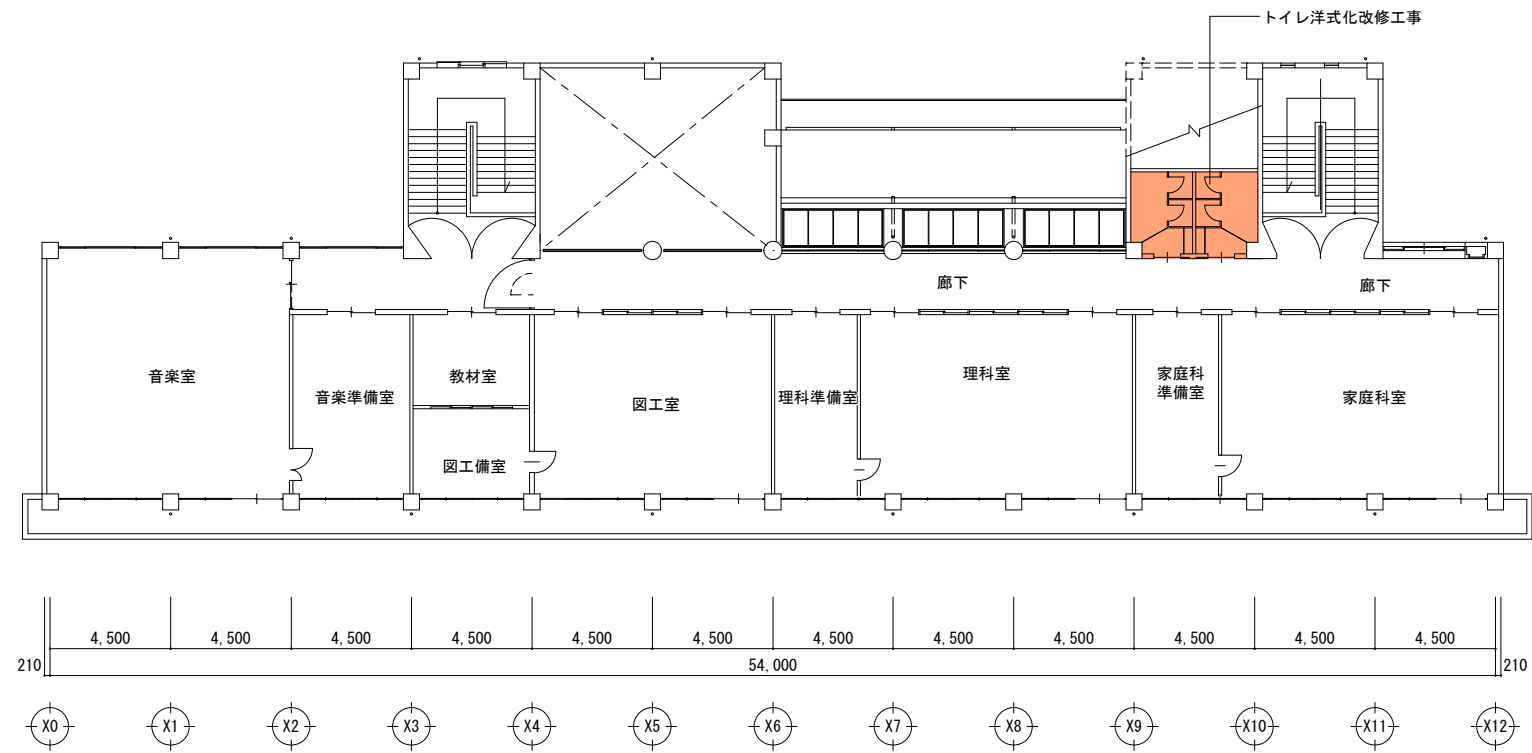
2階平面図 S=1:200



1階平面図 S=1:200



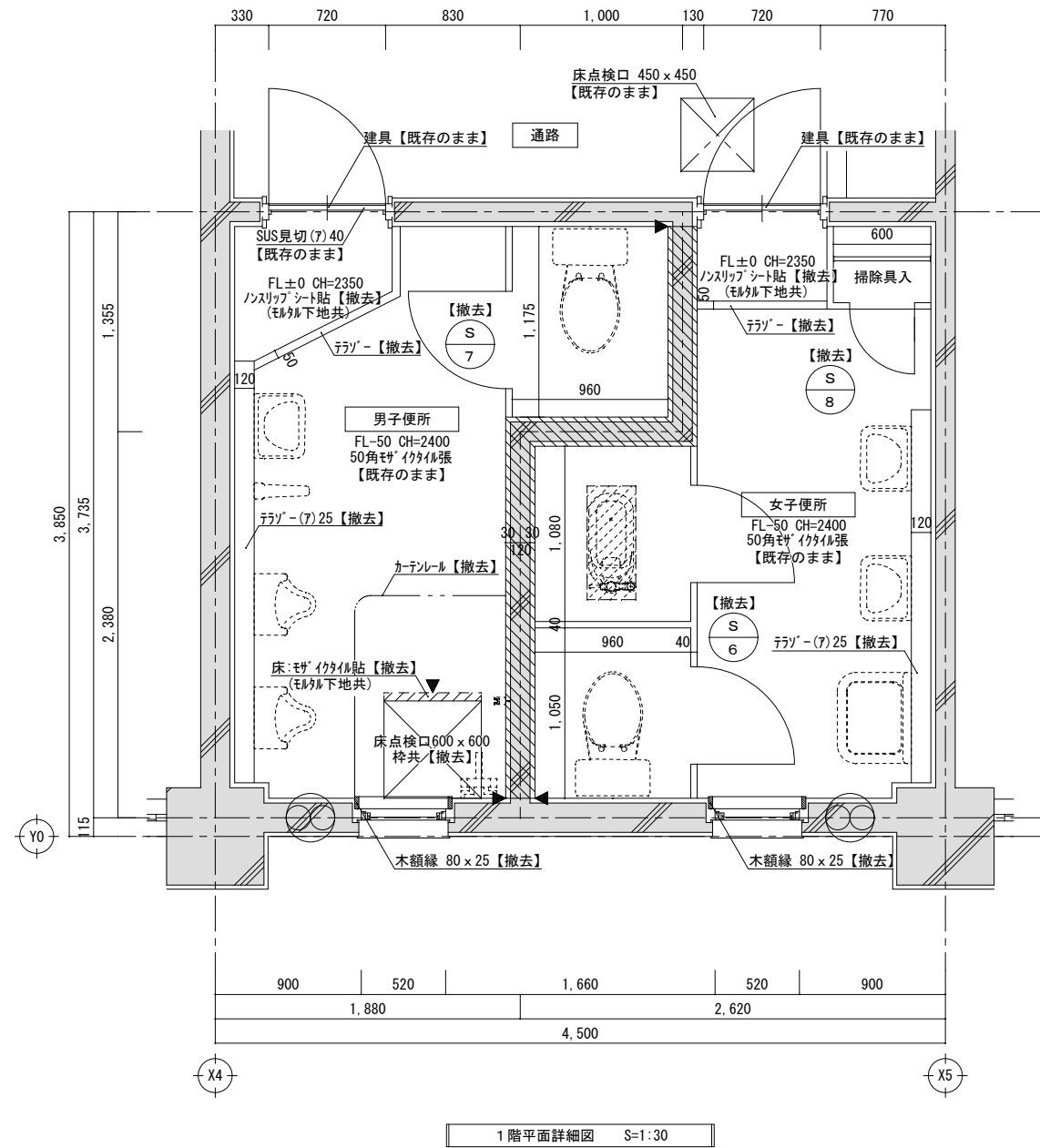
備考 A2→A3 (71%に縮小)	令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事 設計図	三建設計有限公司 登録高-6号	図面名称 1・2階平面図 (小学校)	
			高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633	編尺 S=1:200
		一級建築士第135971 安並和文	年月日 担当	製図



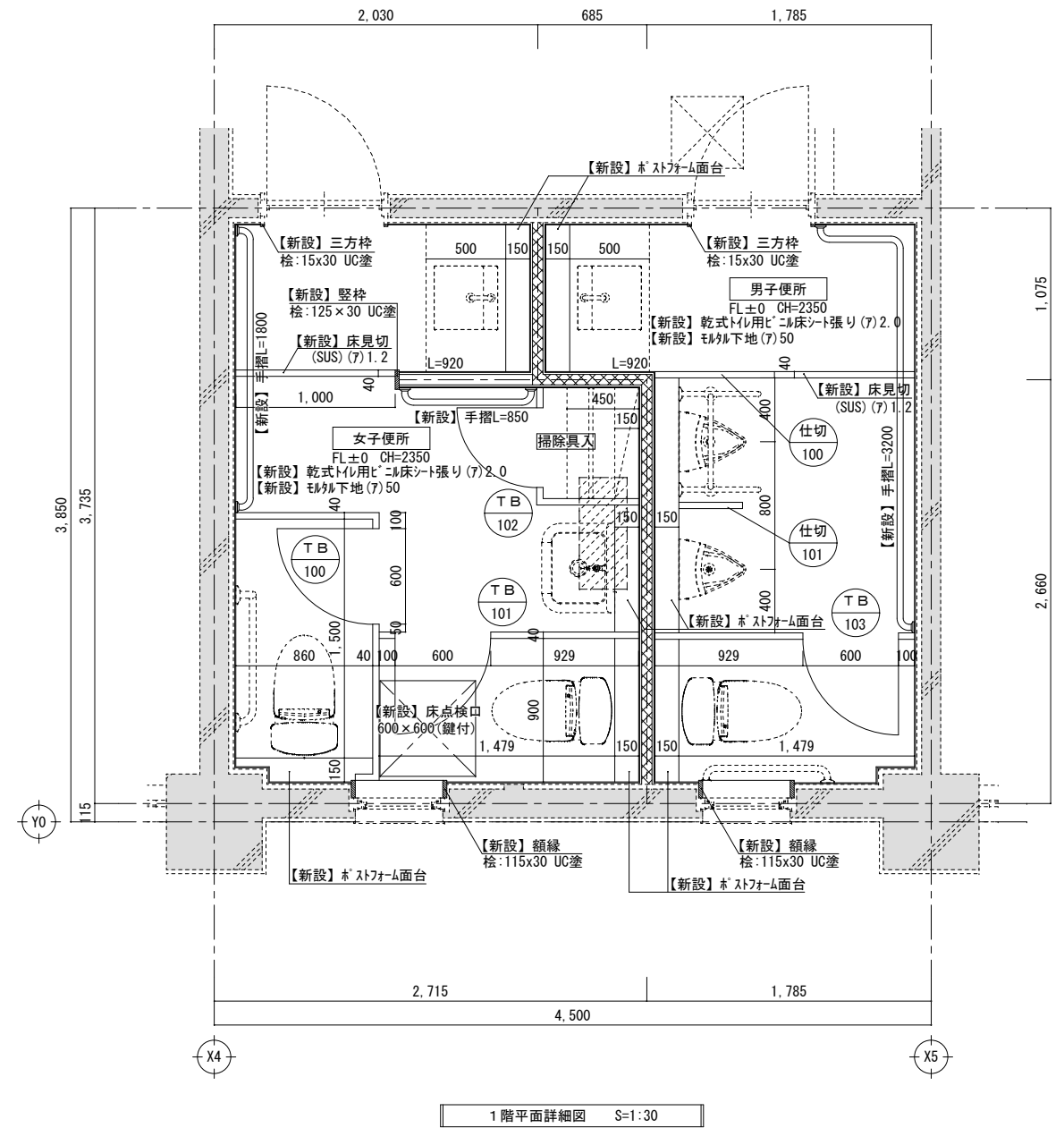
3階平面図 S=1:200

備考 A2→A3(71%に縮小)	令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事	設計図	三建設計有限公司		登録高-6号	図面名称		3階平面図 (小学校)	
			高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	編尺	S=1:200	NO.	A — 03
			一級建築士第135971	安並和文		年月日	担当	製図	

改修前

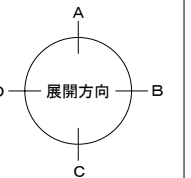


改修後



- : RC壁を示す
- : 斜線部は【撤去】を示す
- : カッター切の上
- : スラブ【撤去】を示す  
300×700 (1カ所)
- : カッター切を示す

- : 開口塞ぎを示す  
300×700 (1カ所)
- : 断熱材を示す(グラスウール24k t50)



備考 A2→A3(71%に縮小)  
※衛生器具の【撤去】は、設備工事

令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事

設計図

三建設計有限公司

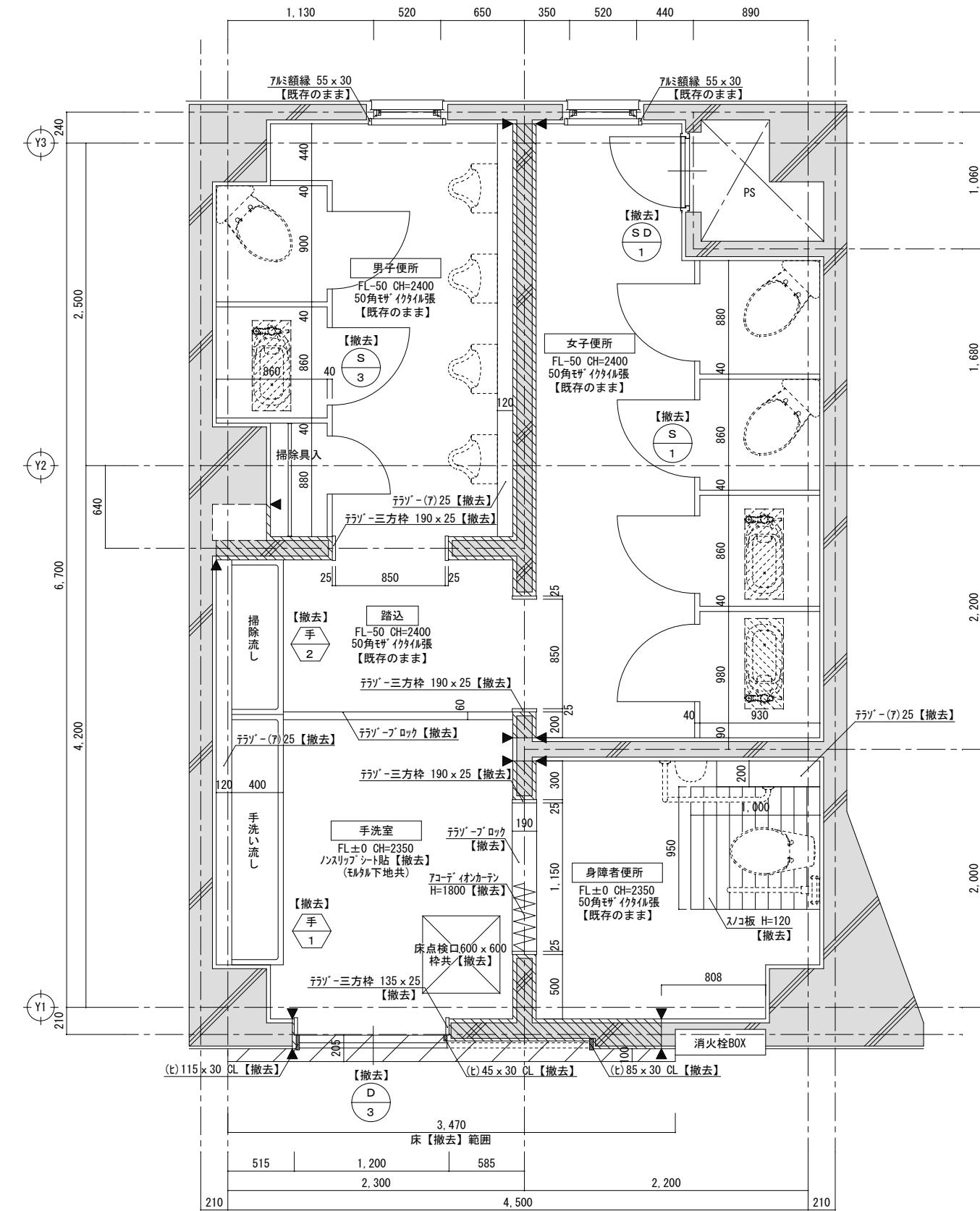
登録高-6号

図面名称 1階平面詳細図(南側)【改修前・後】(小学校)

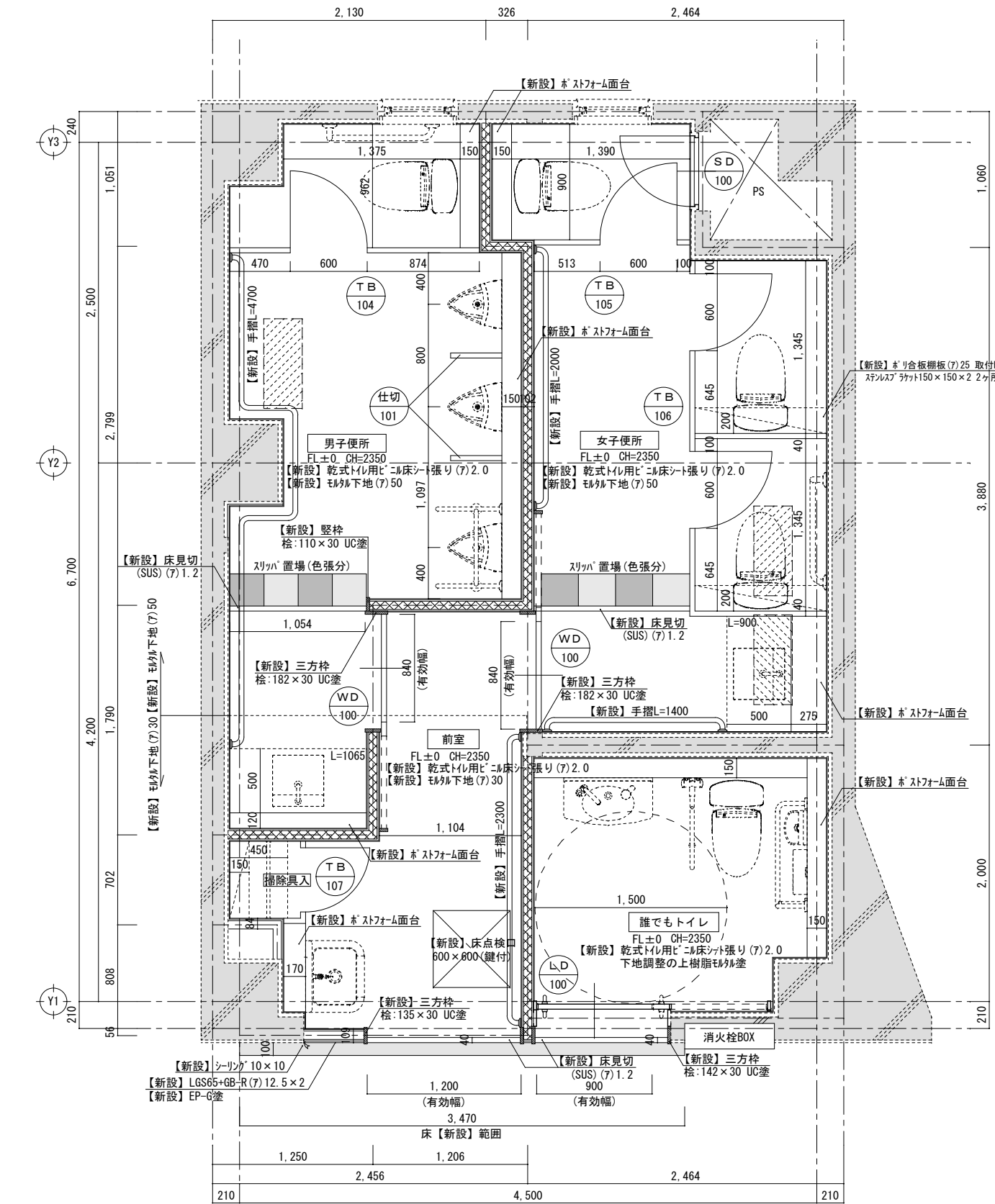
高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633  
一級建築士第135971 安並和文

縮尺 S=1:30  
年月日 担当 製図 NO. A-04

改修前



改修後



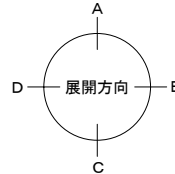
RC壁を示す

斜線部は【撤去】を示す  
 カッター切の上  
 スラブ【撤去】を示す  
 300×700 (3カ所)  
 ▶ カッター切を示す

1階平面詳細図 S=1:30

開口塞ぎを示す  
 300×700 (3カ所)  
 断熱材を示す(グラスウール24k t50)

1階平面詳細図 S=1:30



備考 A2→A3(71%に縮小)

※衛生器具の【撤去】は、設備工事

令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事

設計図

三建設計有限公司

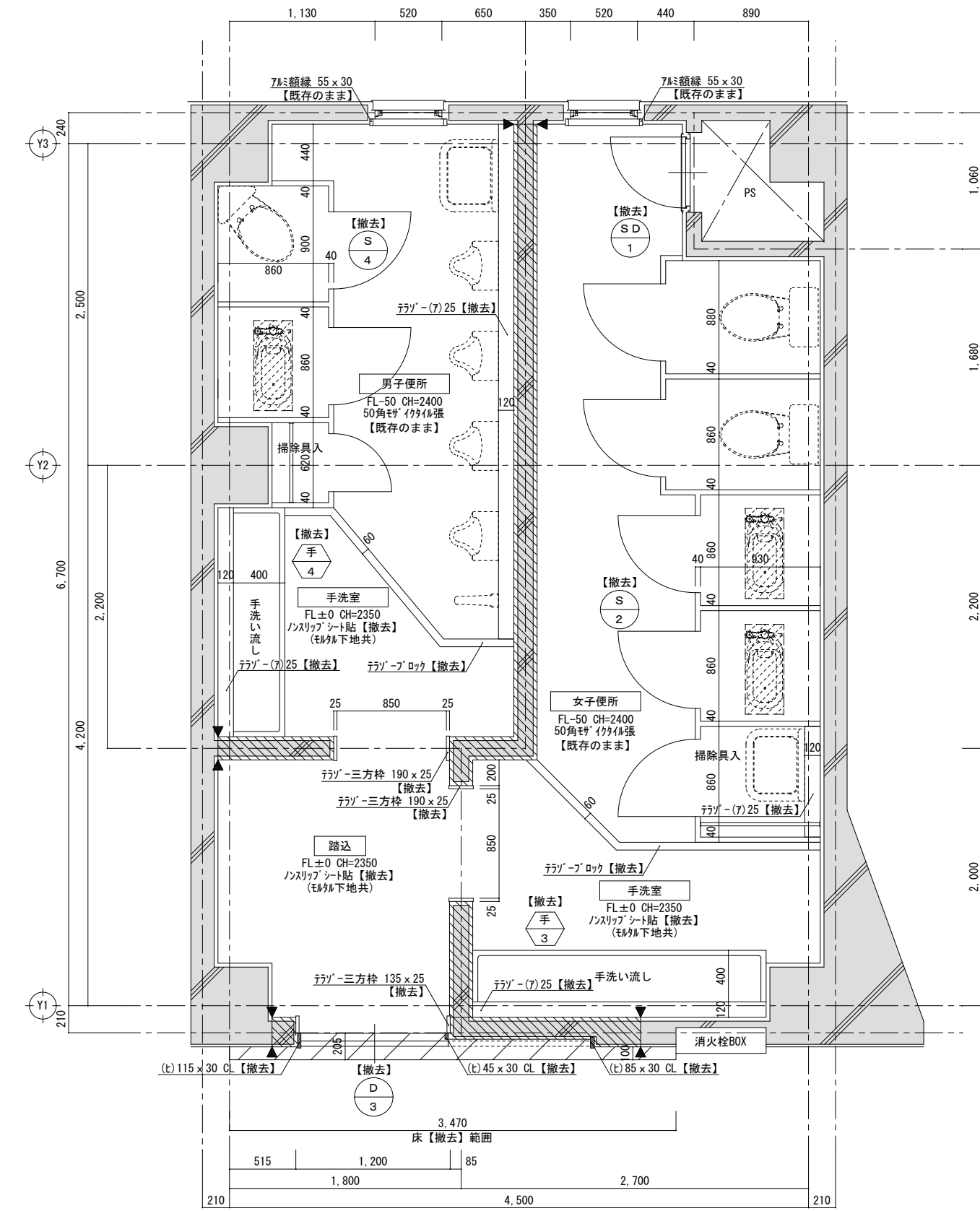
登録高-6号

図面名称 1階平面詳細図(北側)【改修前・後】(小学校)

高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633  
 一級建築士第135971 安並和文

縮尺 S=1:30  
 年月日 担当 製図 NO. A-05

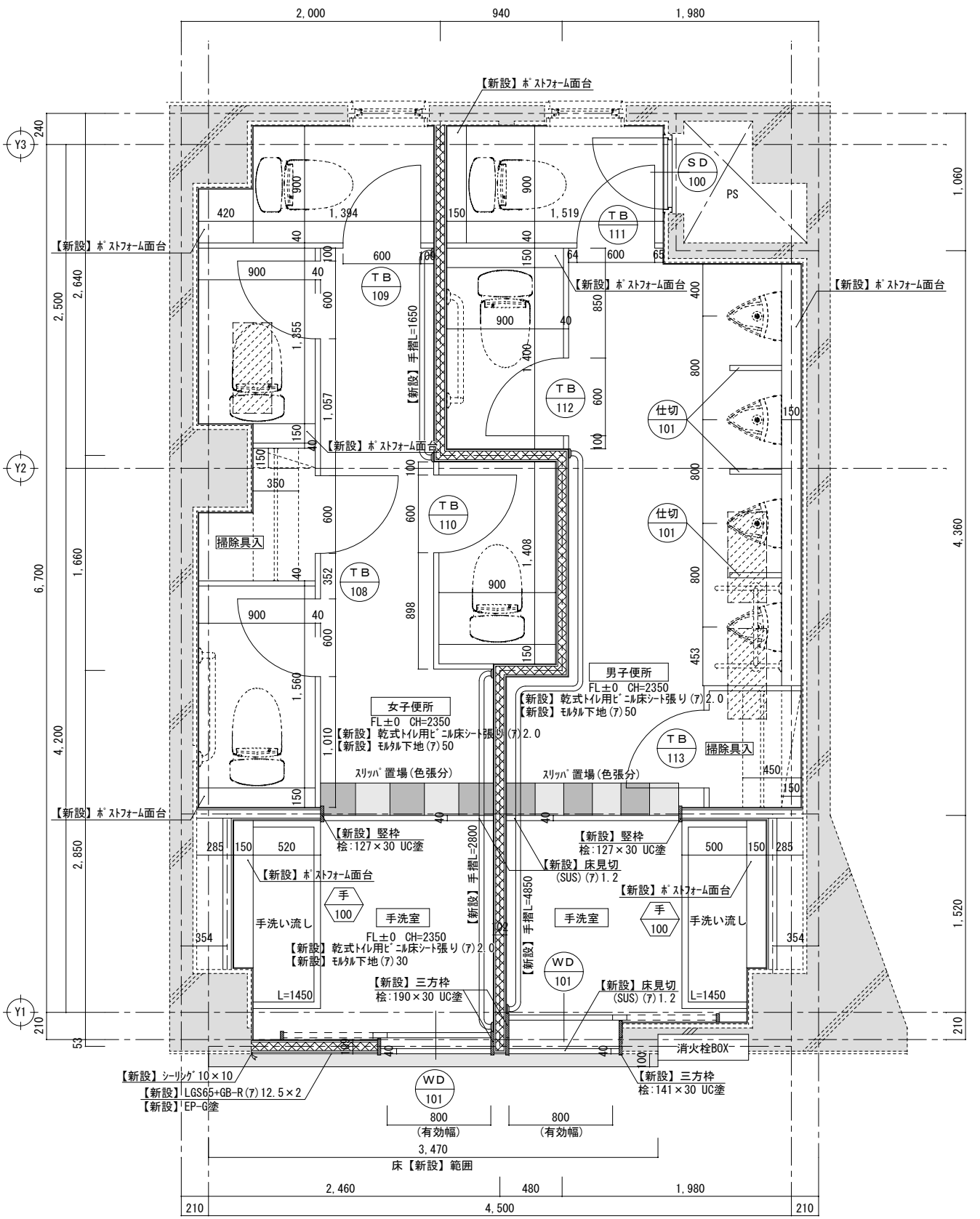
改修前



- : RC壁を示す
- : 斜線部は【撤去】を示す
- : カッター切の上
- : スラブ【撤去】を示す  
300×700 (3カ所)
- : カッター切を示す

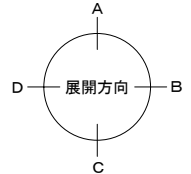
2階平面詳細図 S=1:30

改修後



- : 開口塞ぎを示す  
300×700 (3カ所)
- : 断熱材を示す(グラスウール24k t50)

2階平面詳細図 S=1:30



備考 A2→A3(71%に縮小)  
※衛生器具の【撤去】は、設備工事

令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事

設計図

三建設計有限公司

登録高-6号

図面名称 2階平面詳細図(北側)【改修前・後】(小学校)

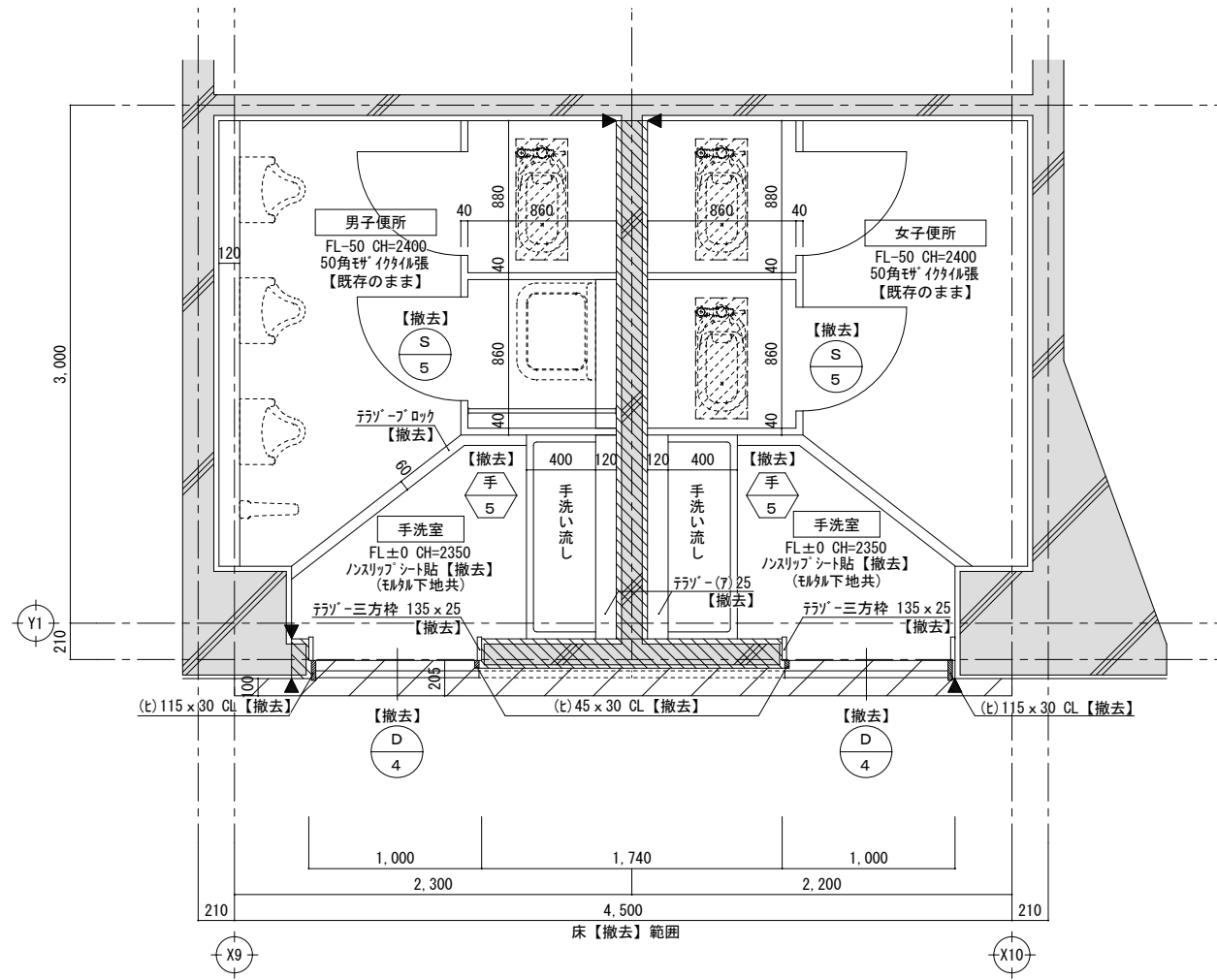
高知市知寄町1-5-1  
一級建築士第135971

TEL 883-1761 FAX 883-1633  
安並和文

縮尺 S=1:30  
年月日 担当 製図

NO. A-06

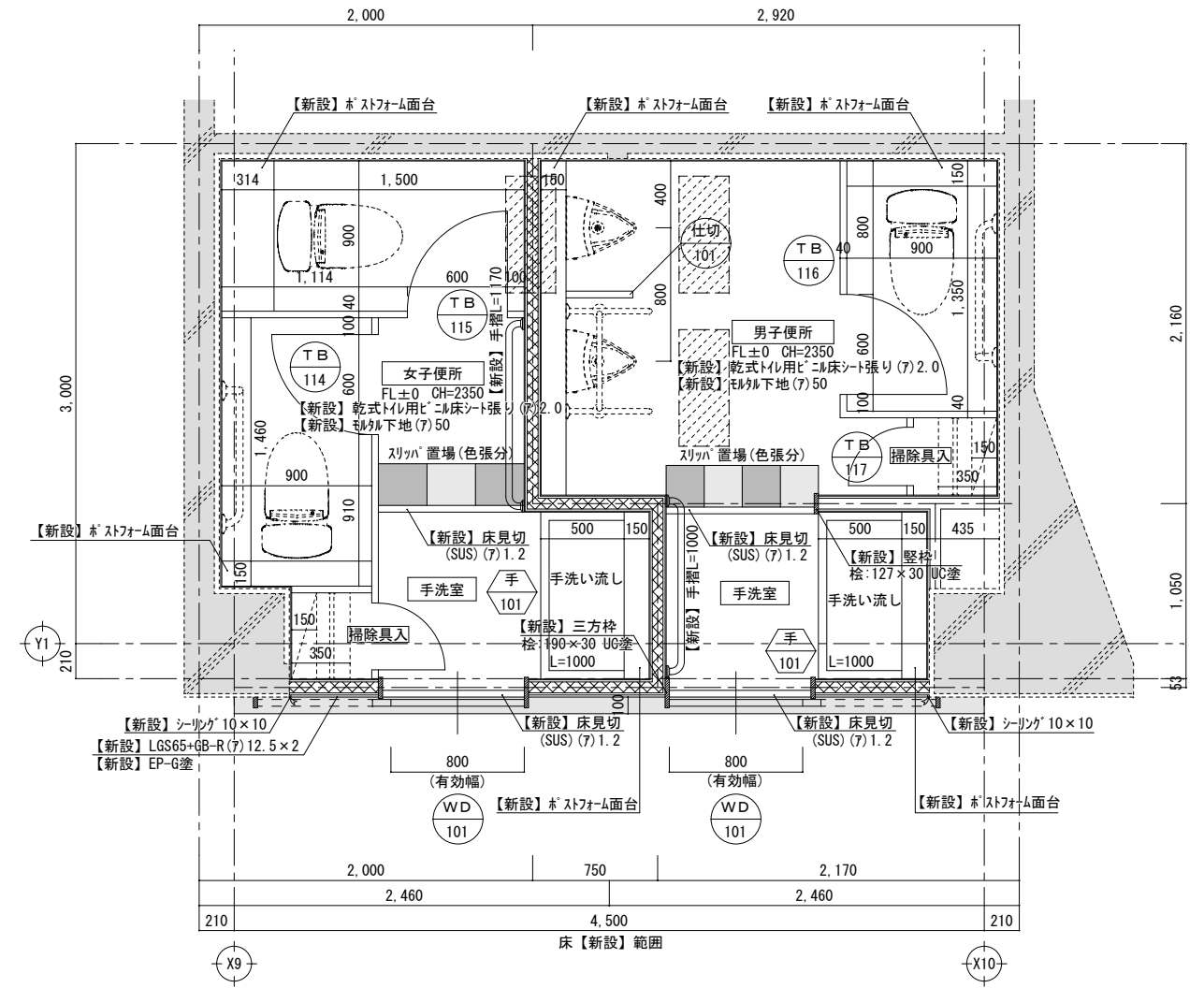
改修前



3階平面詳細図 S=1:30

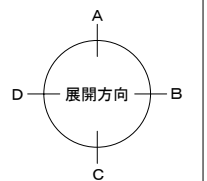
- : RC壁を示す
- : 斜線部は【撤去】を示す
- : カッター切の上
- : スラブ【撤去】を示す  
300×700 (3カ所)
- : カッター切を示す

改修後



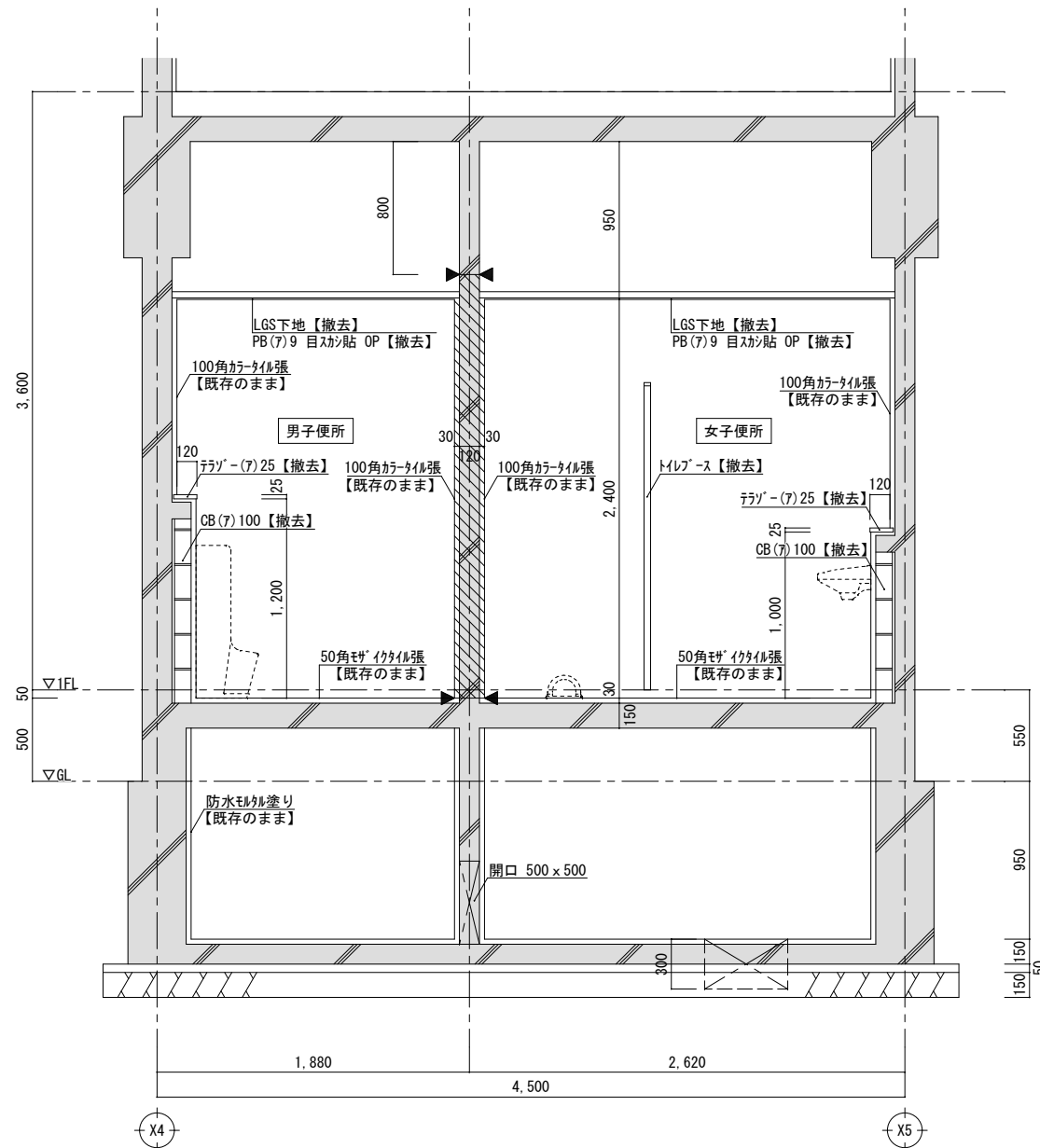
3階平面詳細図 S=1:30

- : 開口塞ぎを示す  
300×700 (3カ所)
- : 断熱材を示す(グラスウール24k t50)



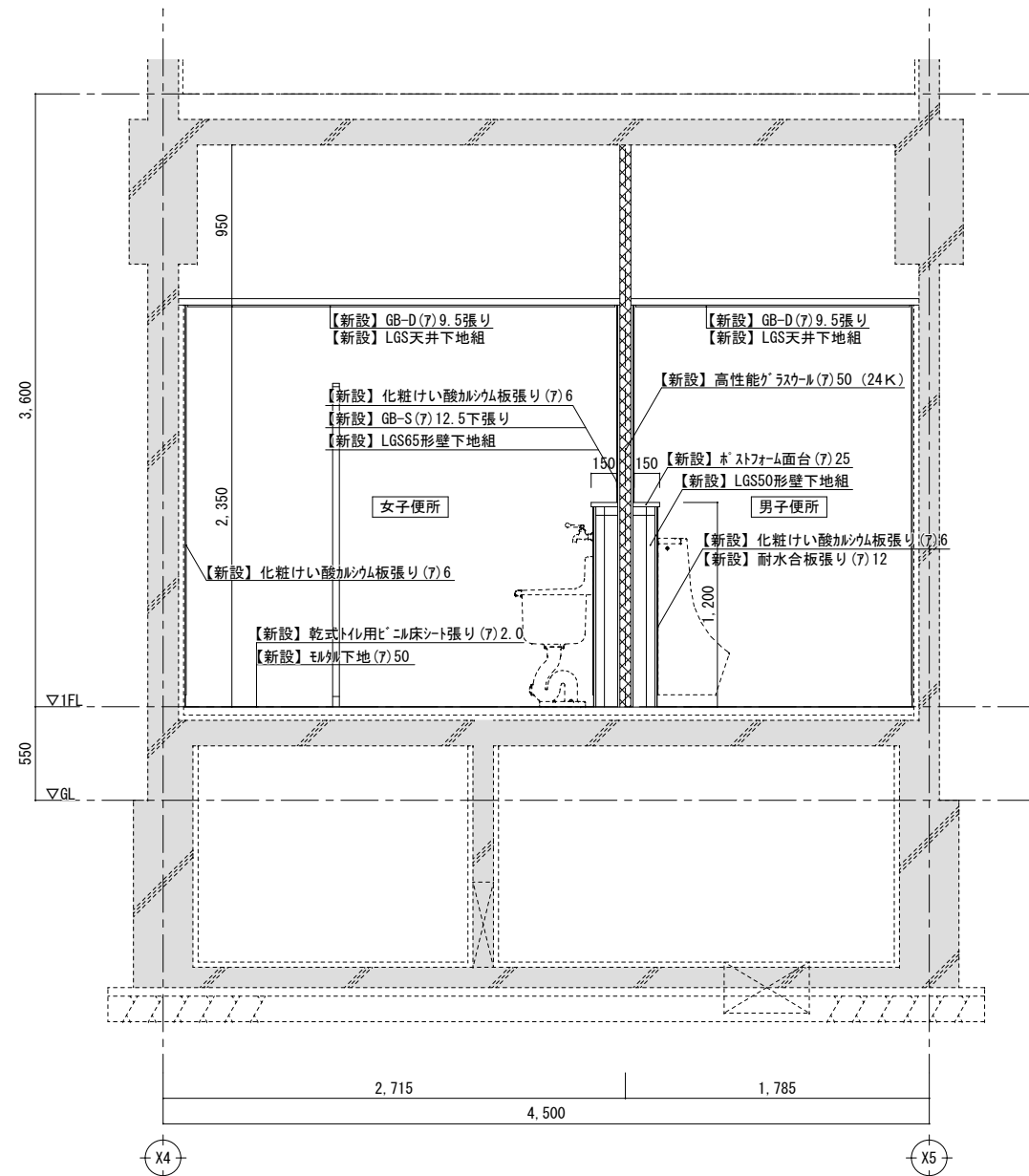
備考 A2→A3(71%に縮小) ※衛生器具の【撤去】は、設備工事	令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事	設計図	三建設計有限公司 登録高-6号 高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633 一級建築士第135971 安並和文	図面名称 3階平面詳細図(北側)【改修前・後】(小学校)
				編尺 S=1:30 年月日 担当 製図 NO. A-07

改修前



1階南側便所断面詳細図 S=1:30

改修後



1階南側便所断面詳細図 S=1:30

斜線部は【撤去】を示す  
 ▶ : カッター切を示す

断熱材を示す(グラスウール t50)

備考 A2→A3(71%に縮小)  
 ※衛生器具の【撤去】は、設備工事とする  
 ※コンクリート立上り撤去部は、防錆処理をおこなうこと

令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事

設計図

三建設計有限公司

登録高-6号

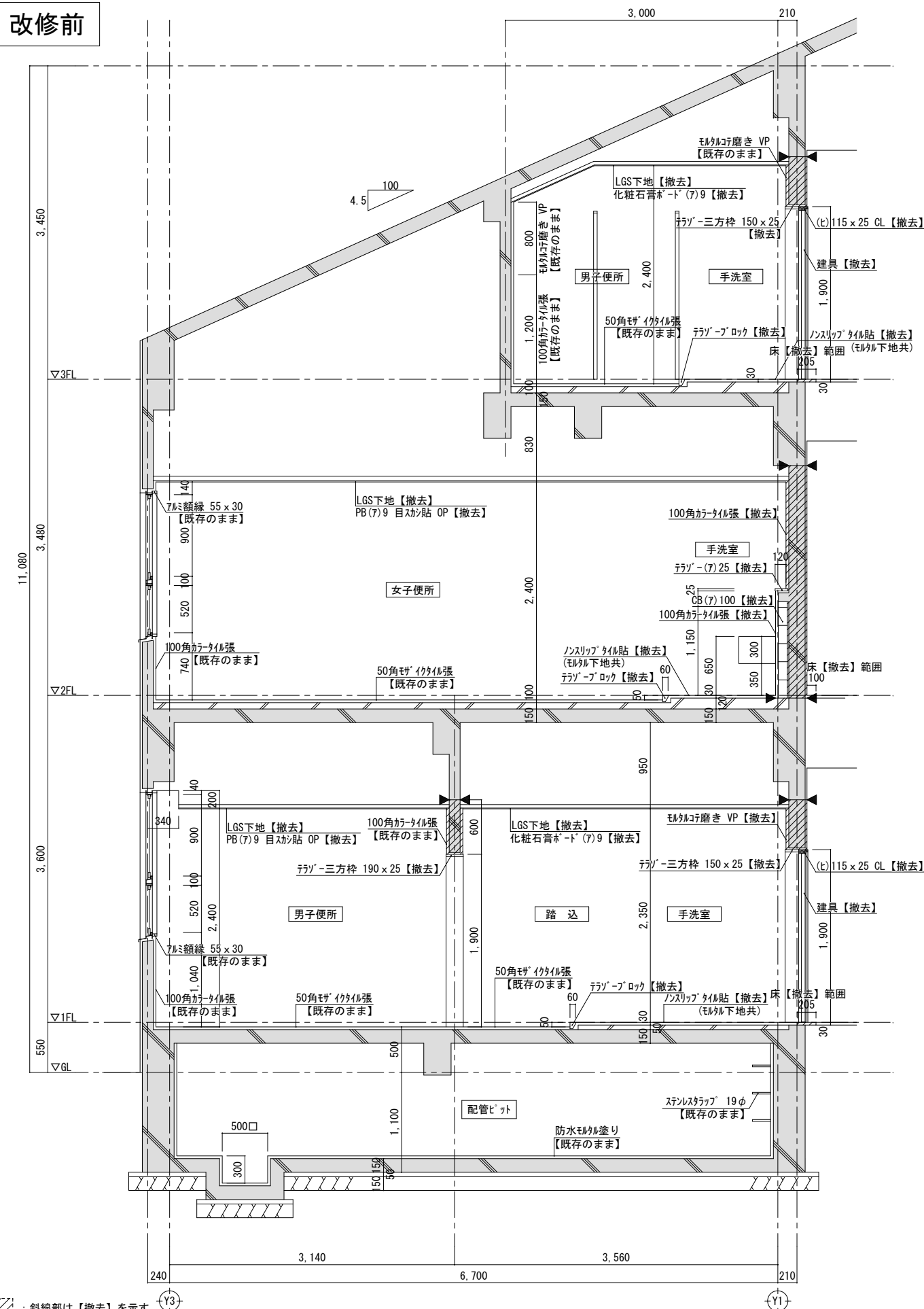
図面名称 断面詳細図(南側)【改修前・後】(小学校)

高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633  
 一級建築士第135971 安並和文

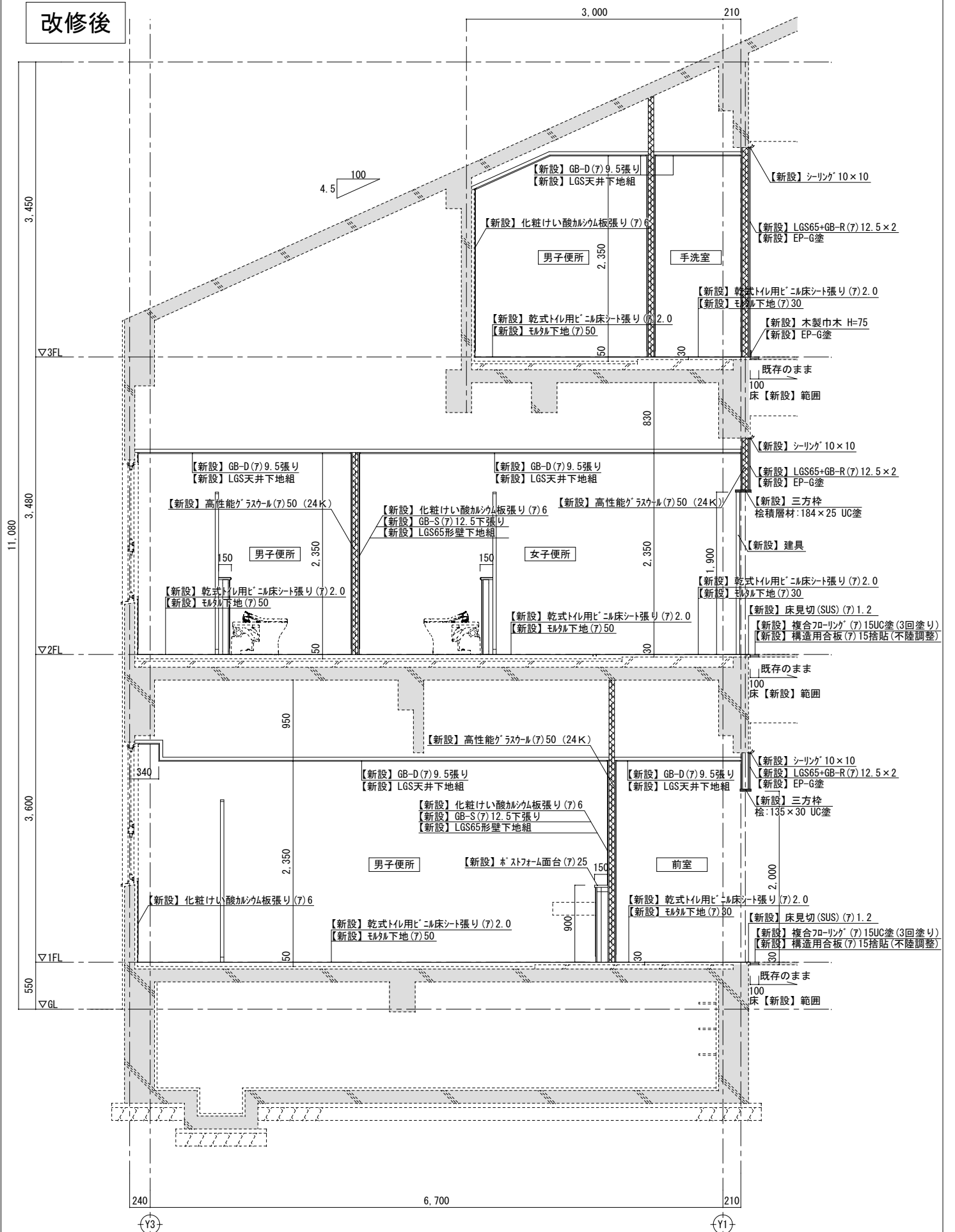
縮尺 S=1:30  
 年月日 担当 製図

NO. A 08

改修前



改修後



斜線部は【撤去】を示す  
 ▶ : カッター切を示す

北側便所断面詳細図 S=1:40

断熱材を示す(グラスウール t50)

北側便所断面詳細図 S=1:40

A2→A3(71%に縮小)  
 ※衛生器具の【撤去】は、設備工事とする  
 ※コンクリート立上り撤去部は、防錆処理をおこなうこと

令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事

設計図

三建設計有限公司

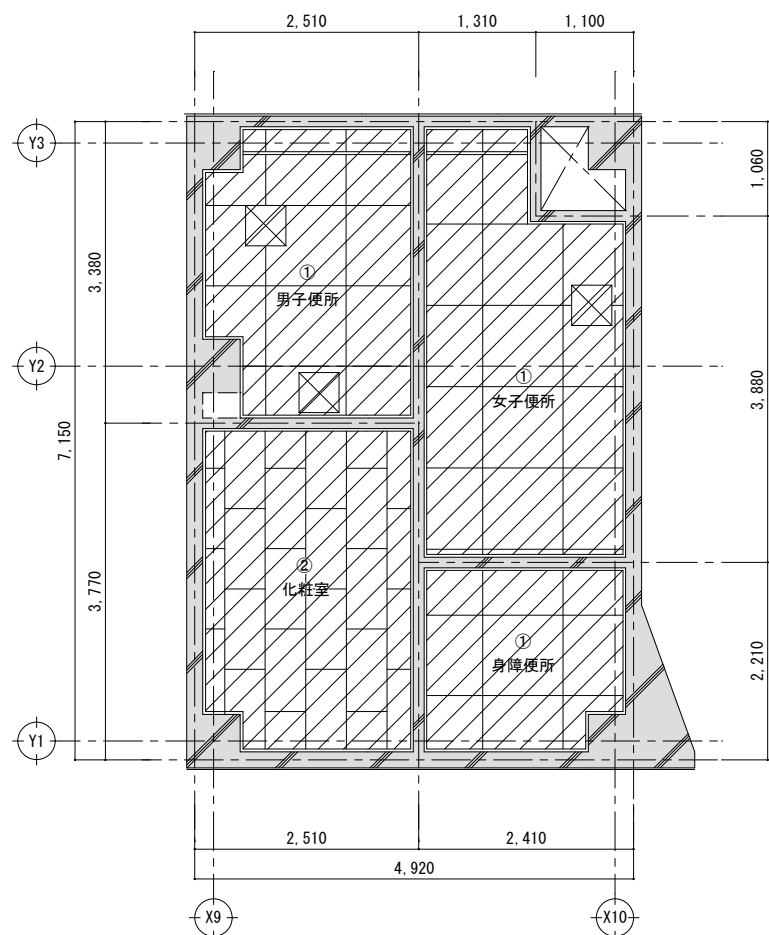
登録高-6号

図面名称 断面詳細図(北側)【改修前・後】(小学校)

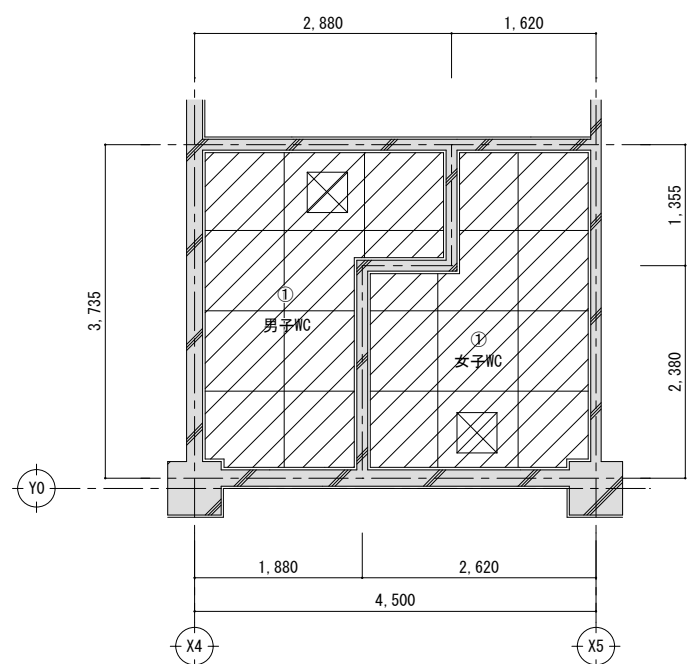
高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633  
 一級建築士第135971 安並和文

縮尺 S=1:40  
 年月日 担当 製図 NO. A-09

改修前



1階平面図(北側) S=1:60



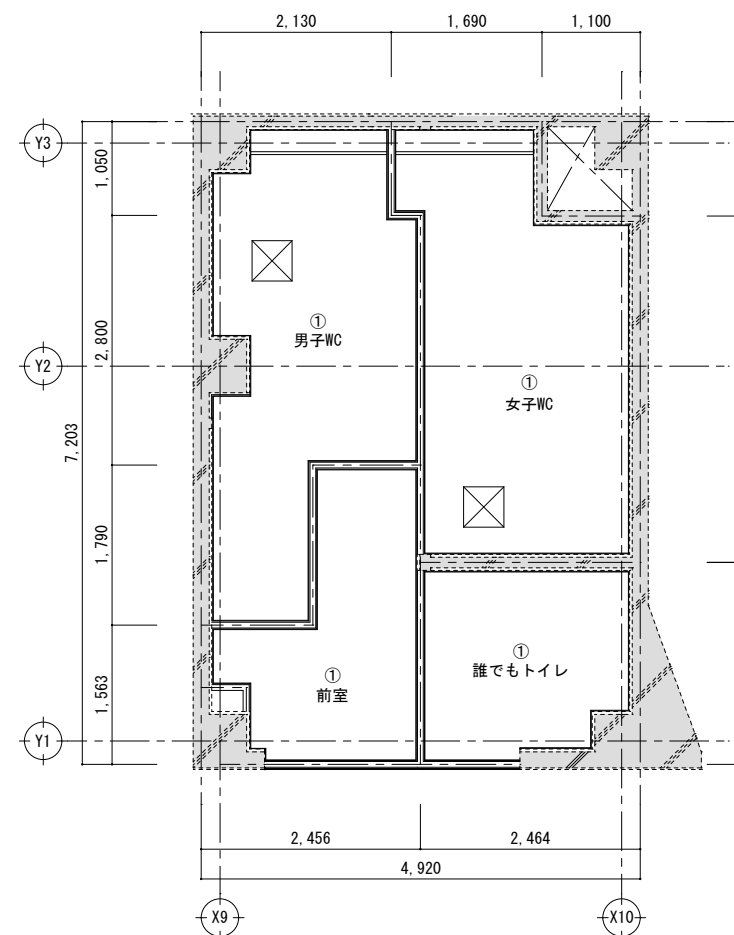
1階平面図(南側) S=1:60

- : 【撤去】範囲を示す
- : 天井点検口【撤去】を示す(5カ所)

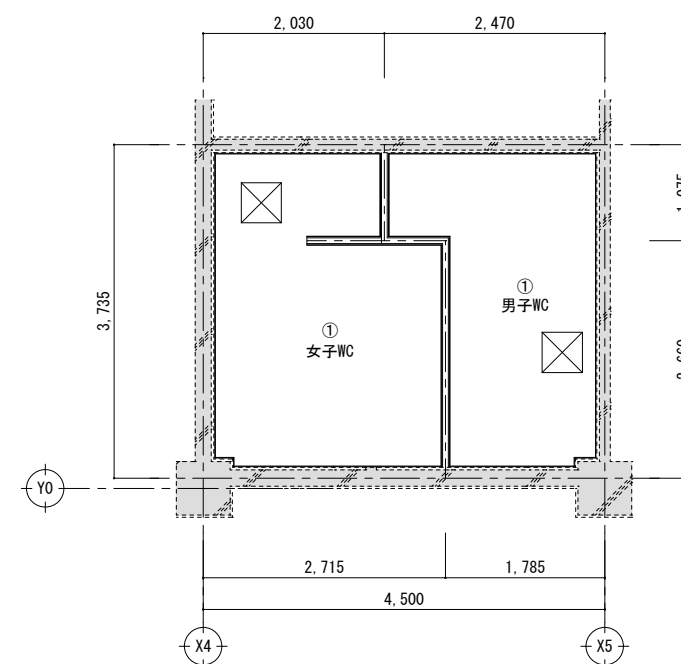
天井仕上表

符号	下地	仕上げ
①	LGS天井下地組【撤去】	PB(7)目透かし貼 OP
②	LGS天井下地組【撤去】	化粧石膏ボード(7)9
③	LGS天井下地組【撤去】	PB(7)9捨貼ロックウール吸音板(7)9貼

改修後



1階平面図(北側) S=1:60



1階平面図(南側) S=1:60

- : 【新設】天井点検口 450×450 を示す
- ※ボード仕上げ面の天井・壁おさまりは、全て【新設】塩ビ製廻縁とする
- ※LGS下地は全て【新設】とする事

天井仕上表

符号	下地	仕上げ
①	LGS下地	GB-D(7)9.5張り
②	LGS下地	PB(7)9.5捨張下地 ロックウール(7)9.0張り
③	LGS下地	PB(7)9.5捨張り下地 ジュラックスロック塗

備考 A2→A3(71%に縮小)

令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事

設計図

三建設計有限公司

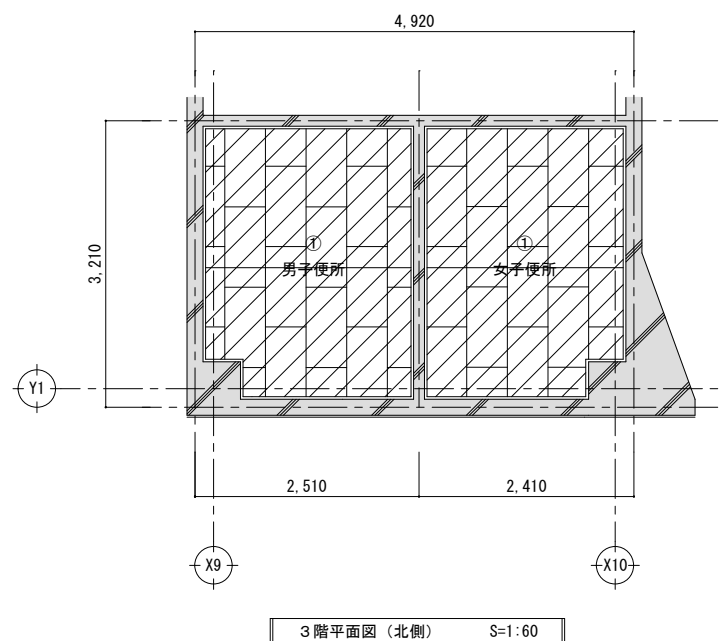
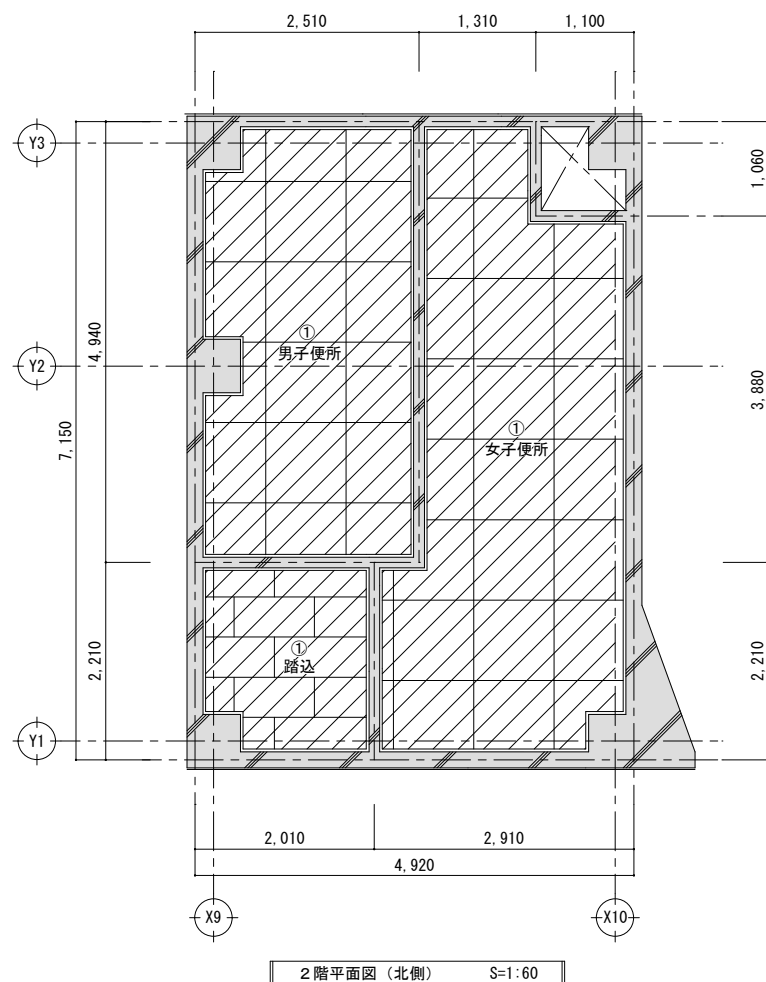
登録高-6号

図面名称 1階天井伏図【改修前・後】(小学校)

高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633  
一級建築士第135971 安並和文

編尺 S=1:60  
年月日 担当 製図 NO. A 10

改修前

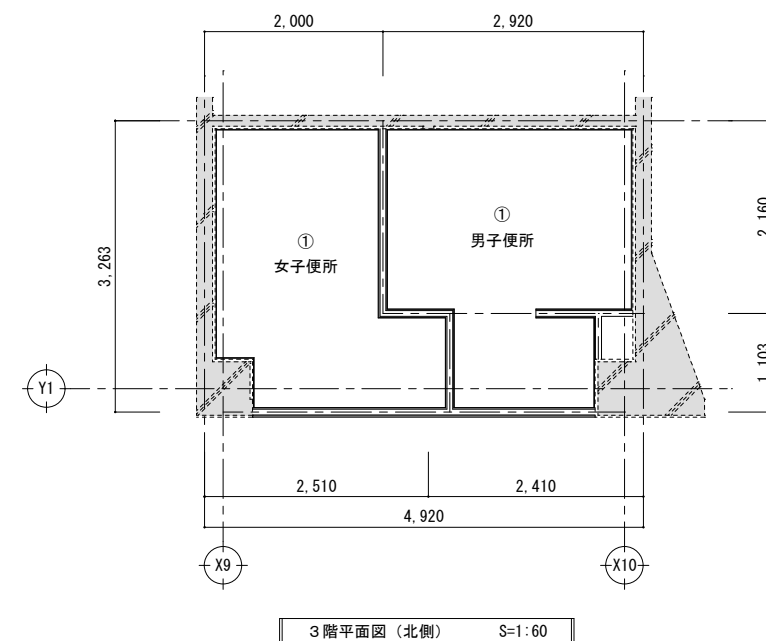
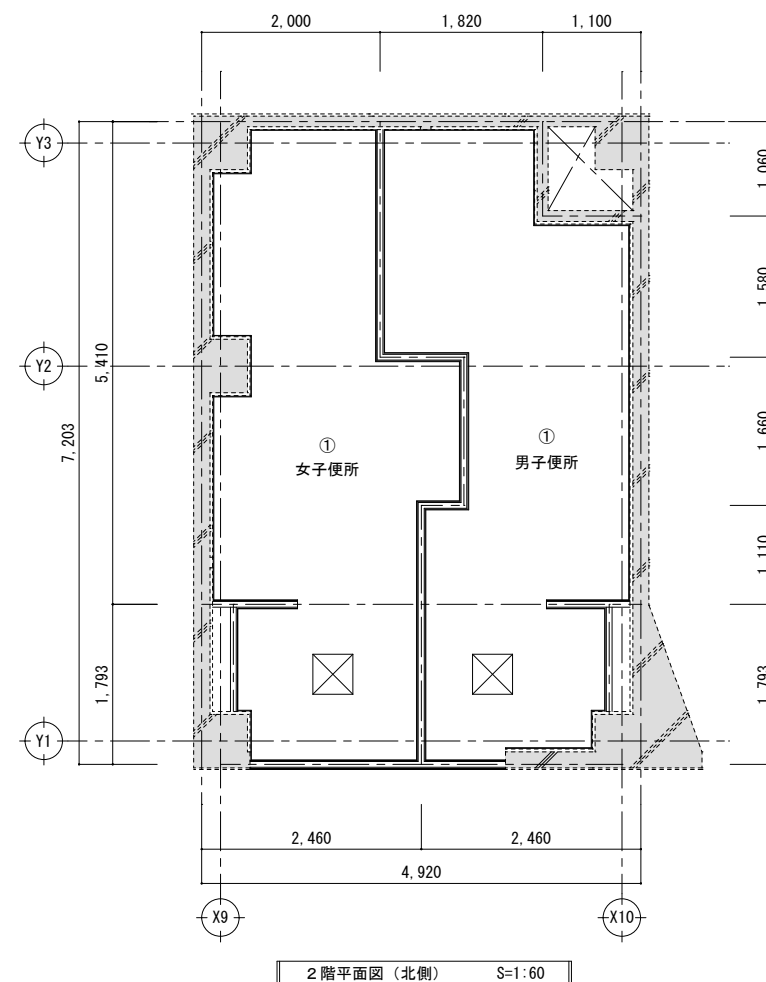


: 【撤去】範囲を示す

天井仕上表

符号	下地	仕上げ
①	LGS天井下地組【撤去】	PB(7)目透かし貼 OP
②	LGS天井下地組【撤去】	化粧石膏ボード(7)9
③	LGS天井下地組【撤去】	PB(7)9捨貼ロックウール吸音板(7)9貼

改修後

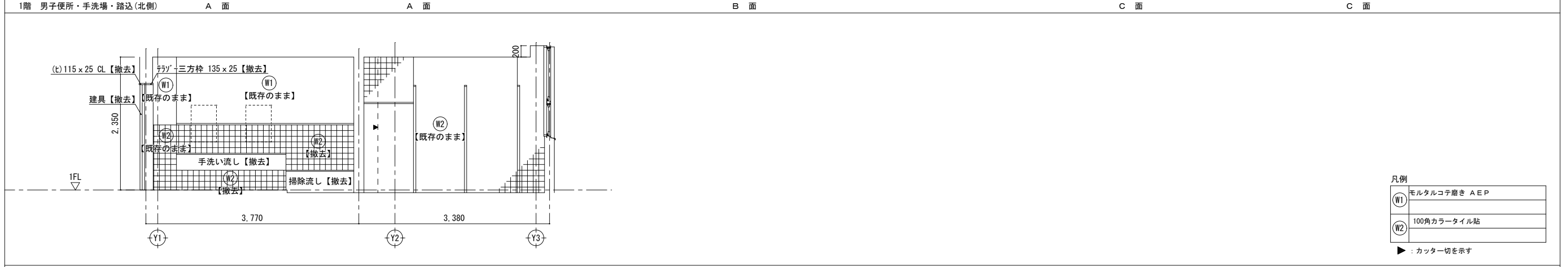
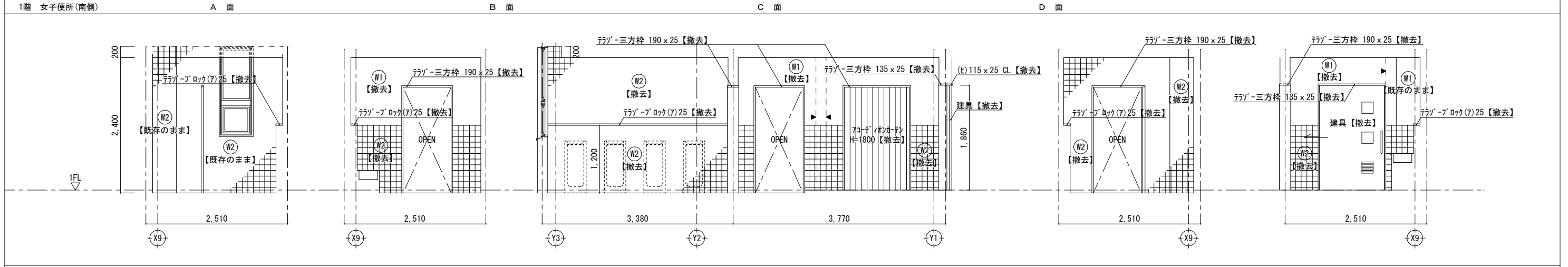
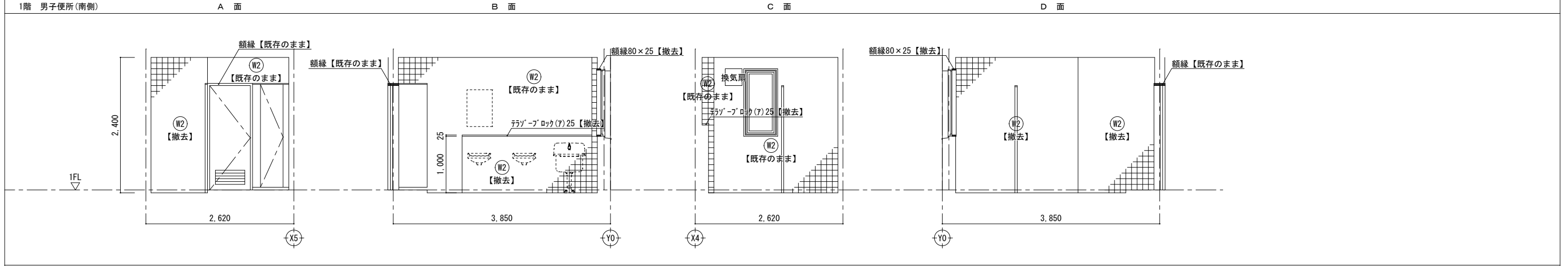
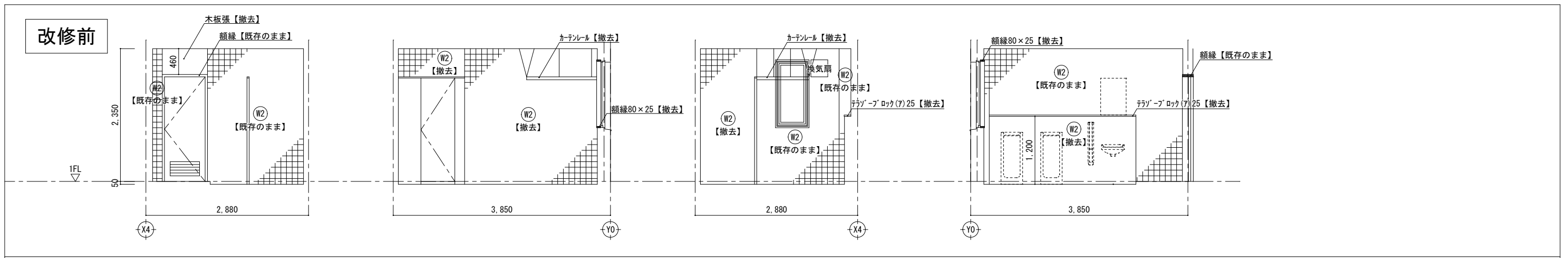


: 【新設】天井点検口 450×450 を示す  
 ※ボード仕上げ面の天井・壁おさまりは、全て【新設】塩ビ製廻縁とする  
 ※LGS下地は全て【新設】とする事

天井仕上表

符号	下地	仕上げ
①	LGS下地	GB-D(7)9.5張り
②	LGS下地	PB(7)9.5捨張下地 ロックウール(7)9.0張り
③	LGS下地	PB(7)9.5捨張り下地 ジュラックスロック塗

備考 A2→A3(71%に縮小)



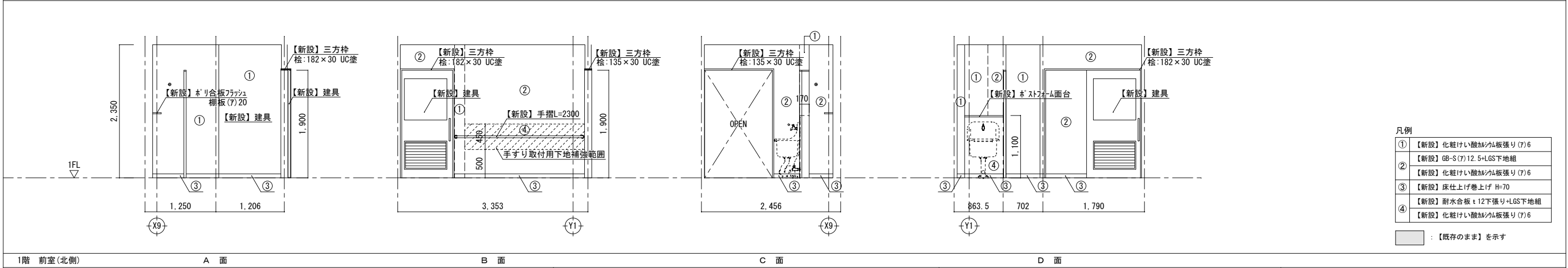
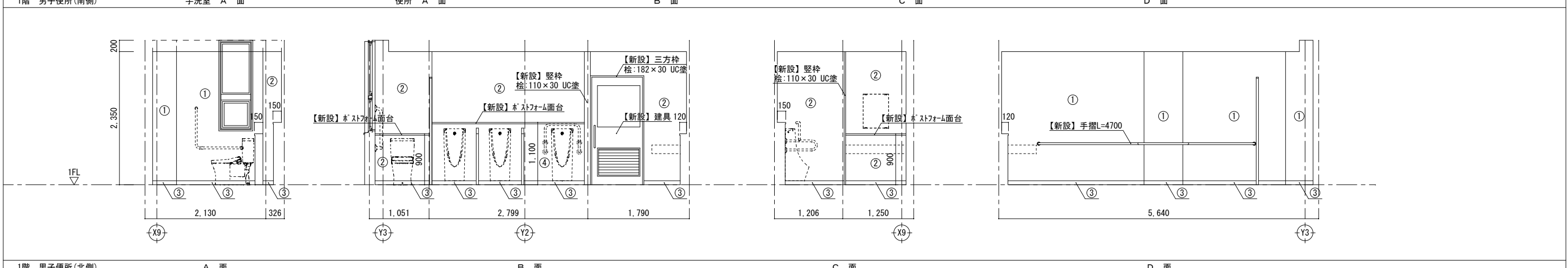
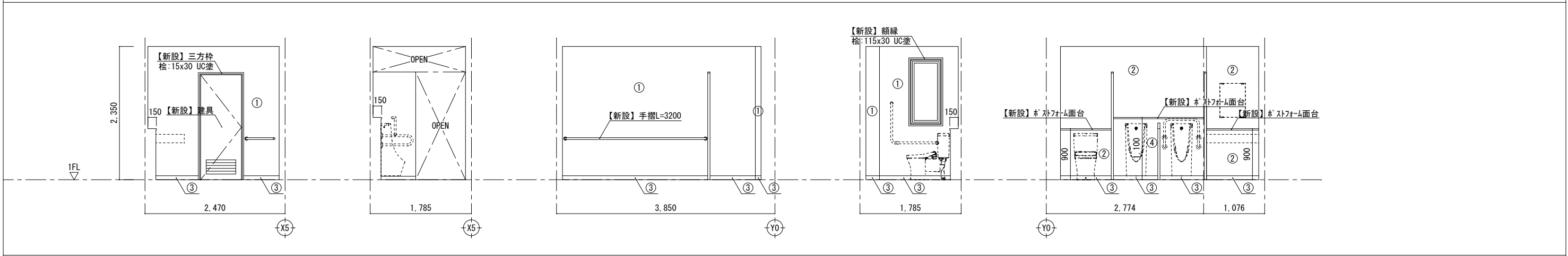
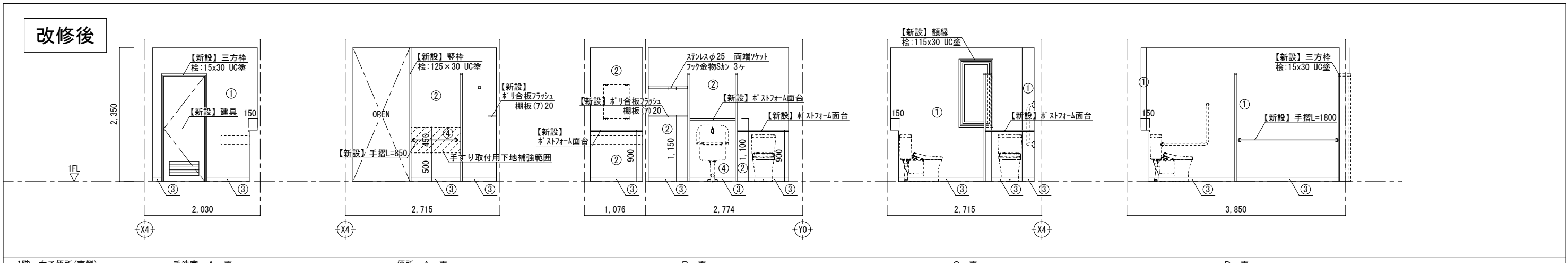
凡例

(W1)	モルタルコテ磨き AEP
(W2)	100角カラータイル貼

▶ : カッター切を示す

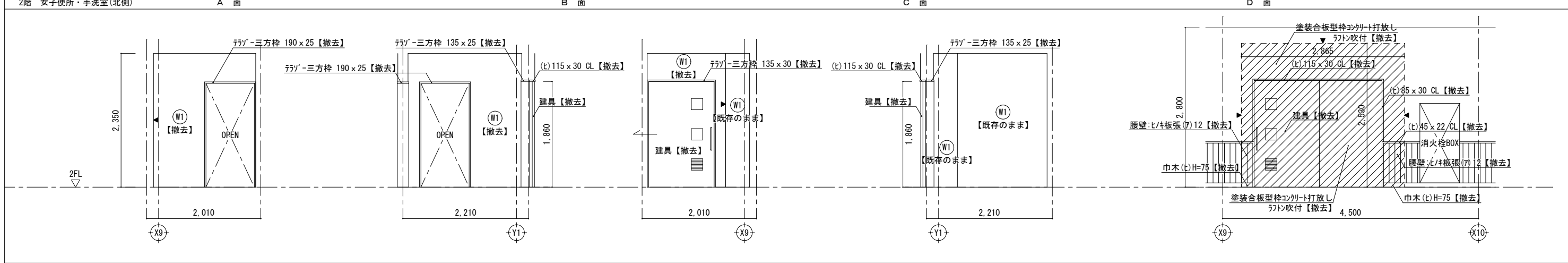
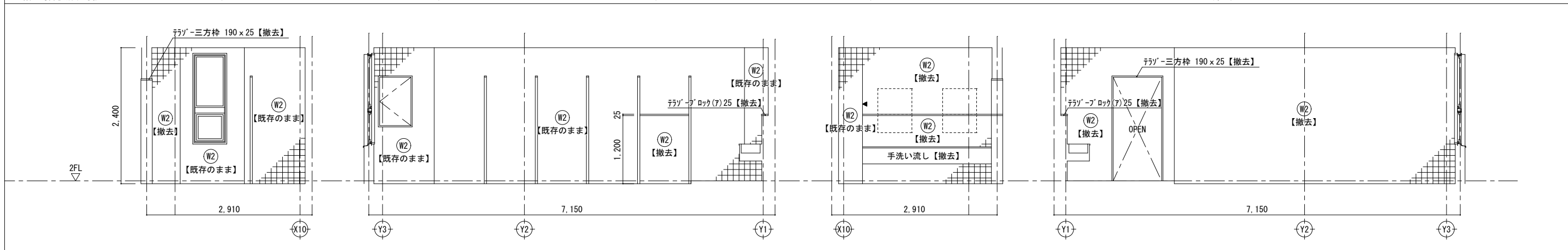
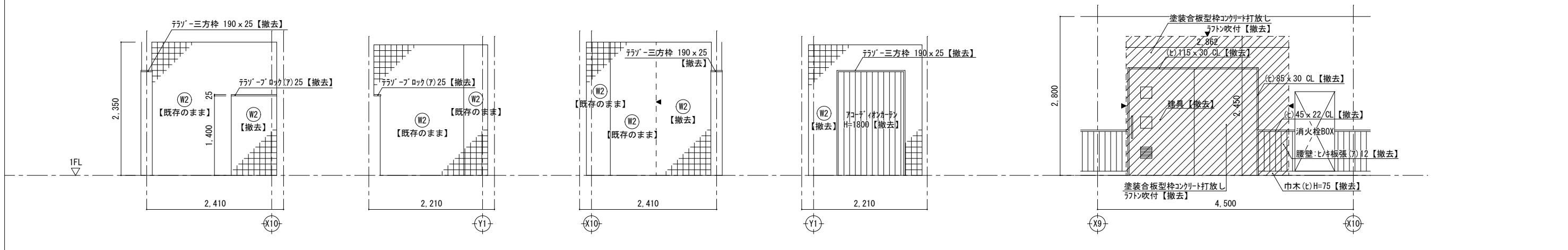
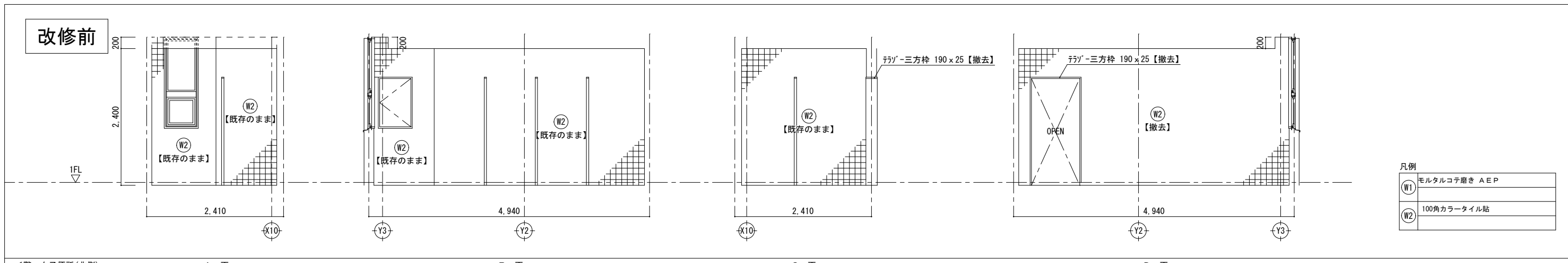
備考	令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事	設計図	三建設計有限公司		登録高-6号	図面名称 展開図(1)【改修前】(小学校)	
			高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761 FAX 883-1633	編尺 S=1:50	年月日	製図
			一級建築士第135971	安並和文			

改修後



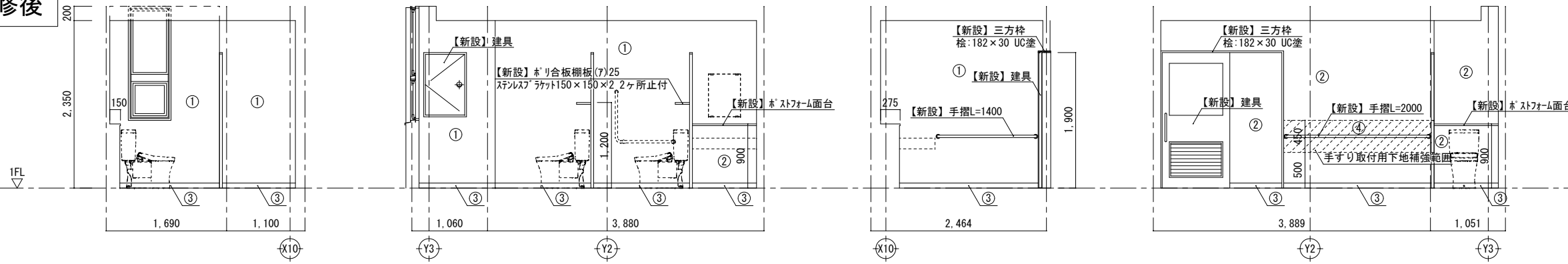
- 凡例
- ① 【新設】化粧けい酸加がみ板張り (7) 6
  - ② 【新設】GB-S(7)12.5+LGS下地組
  - ③ 【新設】化粧けい酸加がみ板張り (7) 6
  - ④ 【新設】床仕上げ巻上げ H=70
  - ⑤ 【新設】耐水合板+12下張り+LGS下地組
  - ⑥ 【新設】化粧けい酸加がみ板張り (7) 6
- : 【既存のまま】を示す

改修前



備考									
令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事		設計図		三建設計有限公司		登録高-6号		図面名称 展開図(3)【改修前】(小学校)	
高知市知寄町1-5-1		TEL 883-1761		FAX 883-1633		縮尺 S=1/50		NO. A-14	
一級建築士第135971		安並和文				年月日 担当		製図	

改修後



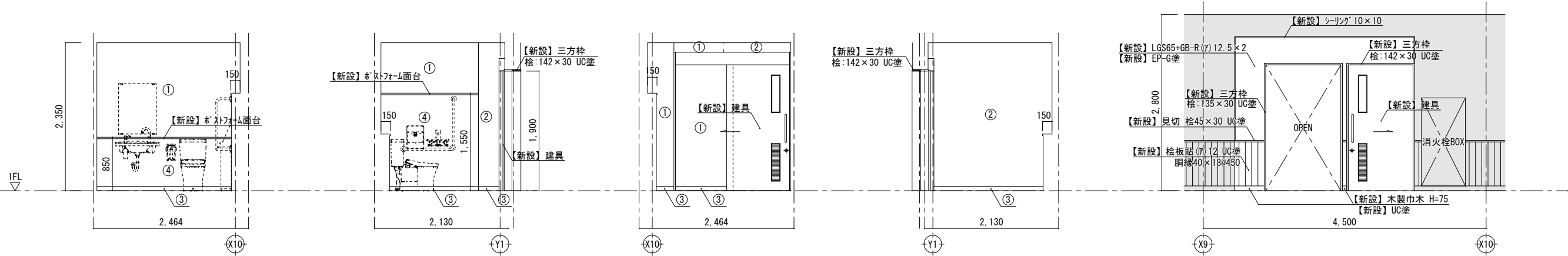
1階 女子便所(北側)

A 面

B 面

C 面

D 面



1階 誰でもトイレ(北側)

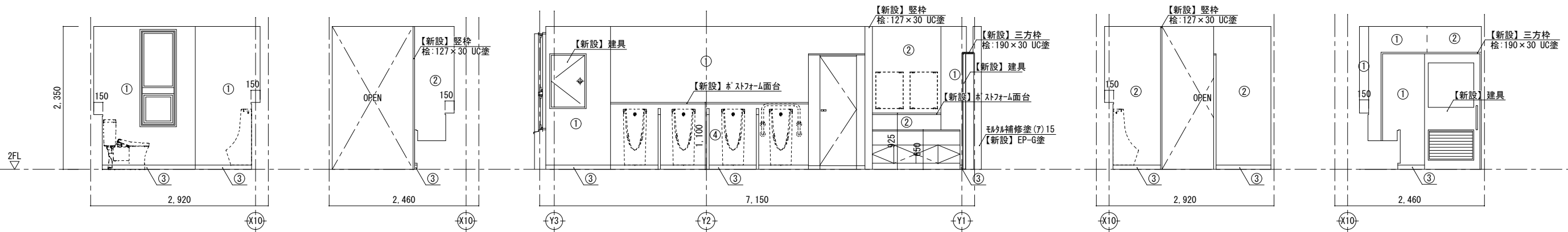
A 面

B 面

C 面

D 面

廊下面



2階 男子便所・手洗室(北側)

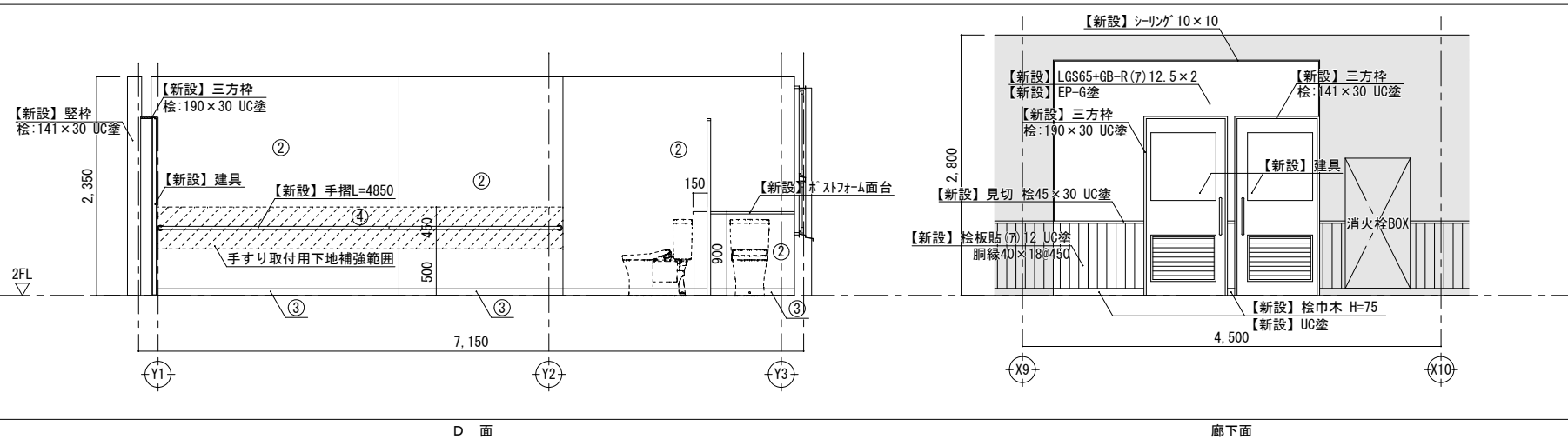
便所 A 面

手洗室 A 面

B 面

便所 C 面

手洗室 C 面



D 面

廊下面

凡例

①	【新設】化粧けい酸加珪板張り(7)6
②	【新設】GB-S(7)12.5+LGS下地組
③	【新設】化粧けい酸加珪板張り(7)6
④	【新設】床仕上げ巻上げH=70
⑤	【新設】耐水合板+12下張り+LGS下地組
⑥	【新設】化粧けい酸加珪板張り(7)6

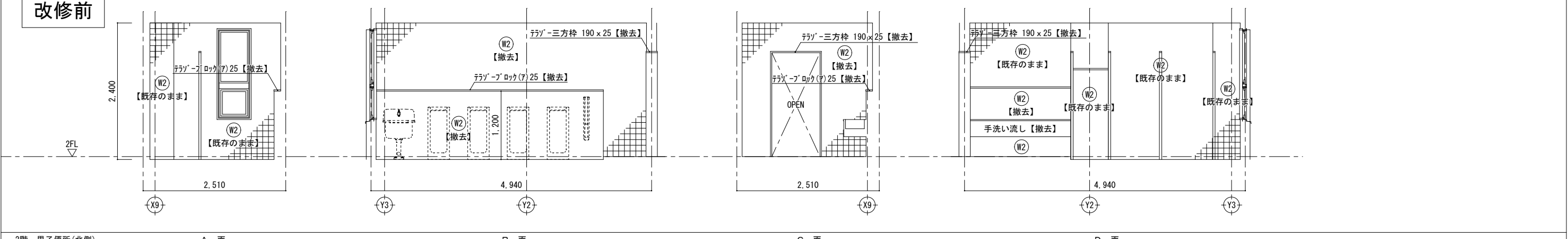
■ : 【既存のまま】を示す

備考

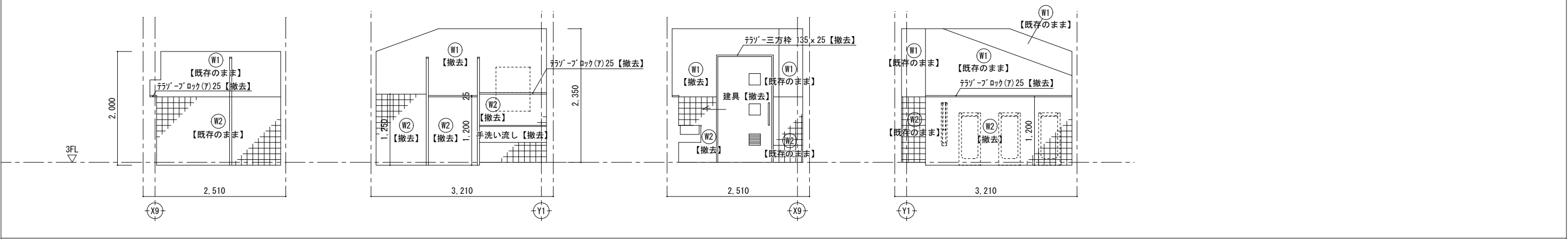
令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事 設計図

三建設計有限公司		登録高-6号	図面名称 展開図(4)【改修後】(小学校)	
高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:50	NO. A-15
一級建築士第135971	安並和文		年月日 担当	製図

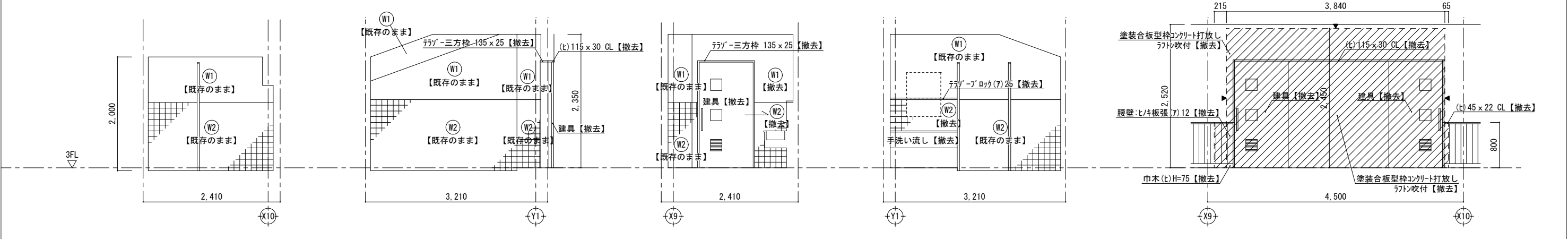
改修前



2階 男子便所(北側) A面 B面 C面 D面



3階 男子便所・手洗室(北側) A面 B面 C面 D面

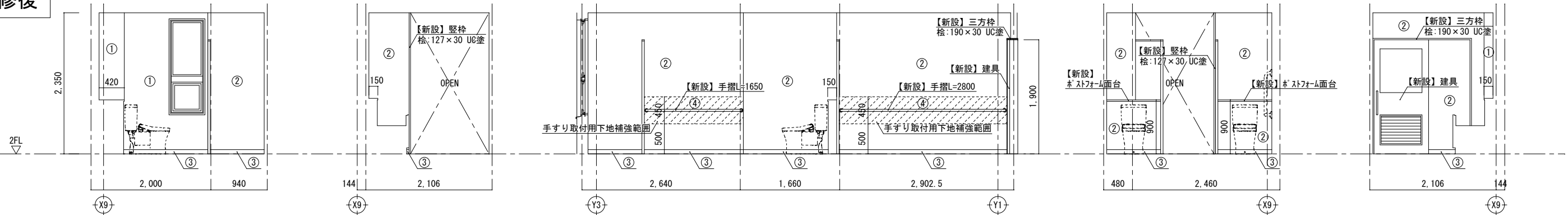


3階 女子便所・手洗室(北側) A面 B面 C面 D面 廊下面

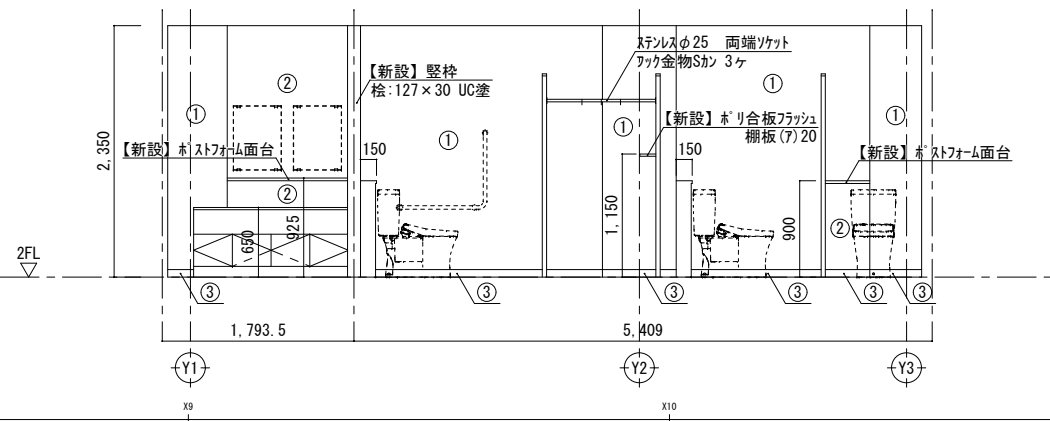
凡例

(W1)	モルタルコテ磨き AEP
(W2)	100角カラータイル貼

改修後

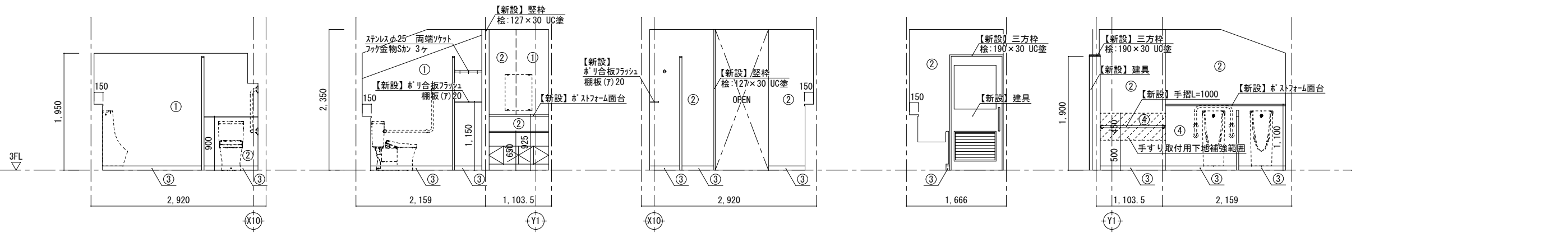


2階 女子便所・手洗室(北側) 便所 A 面 手洗室 A 面 B 面 便所 C 面 手洗室 C 面

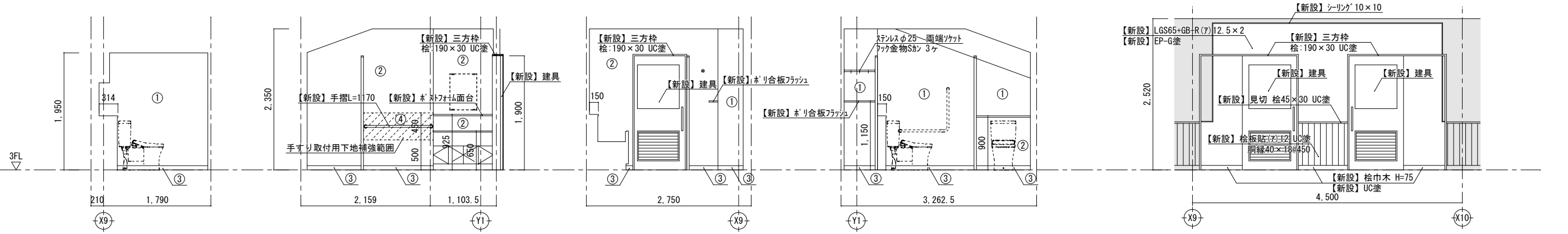


- 凡例
- ① 【新設】化粧けい酸加減板張り (7) 6
  - ② 【新設】GB-S (7) 12.5+LGS下地組
  - ③ 【新設】化粧けい酸加減板張り (7) 6
  - ④ 【新設】床仕上げ巻上げ H=70
  - ⑤ 【新設】耐水合板 t12下張り+LGS下地組
  - ⑥ 【新設】化粧けい酸加減板張り (7) 6
- : 【既存のまま】を示す

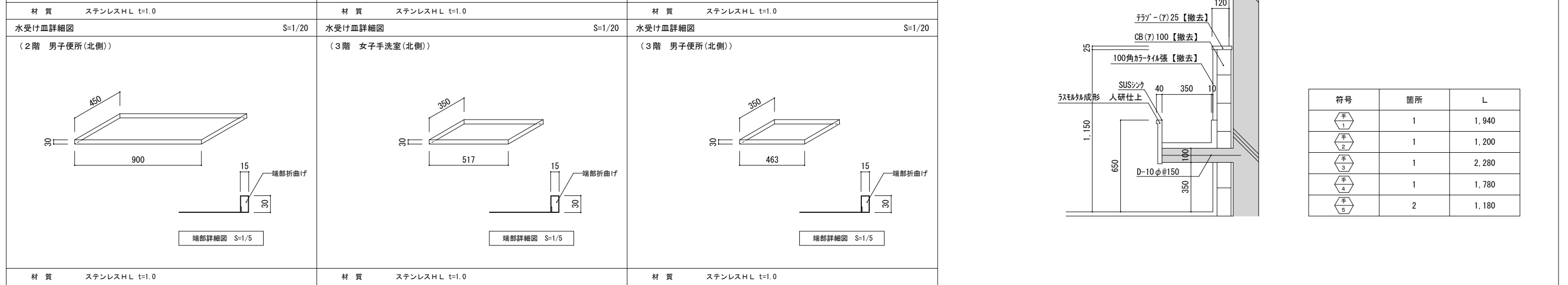
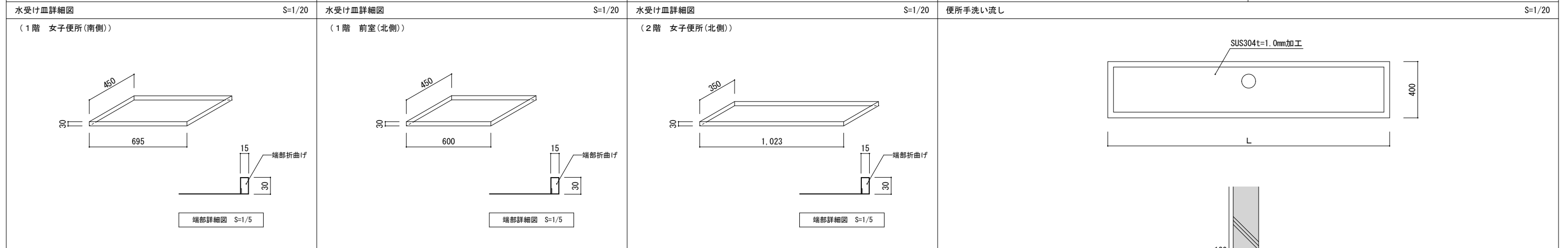
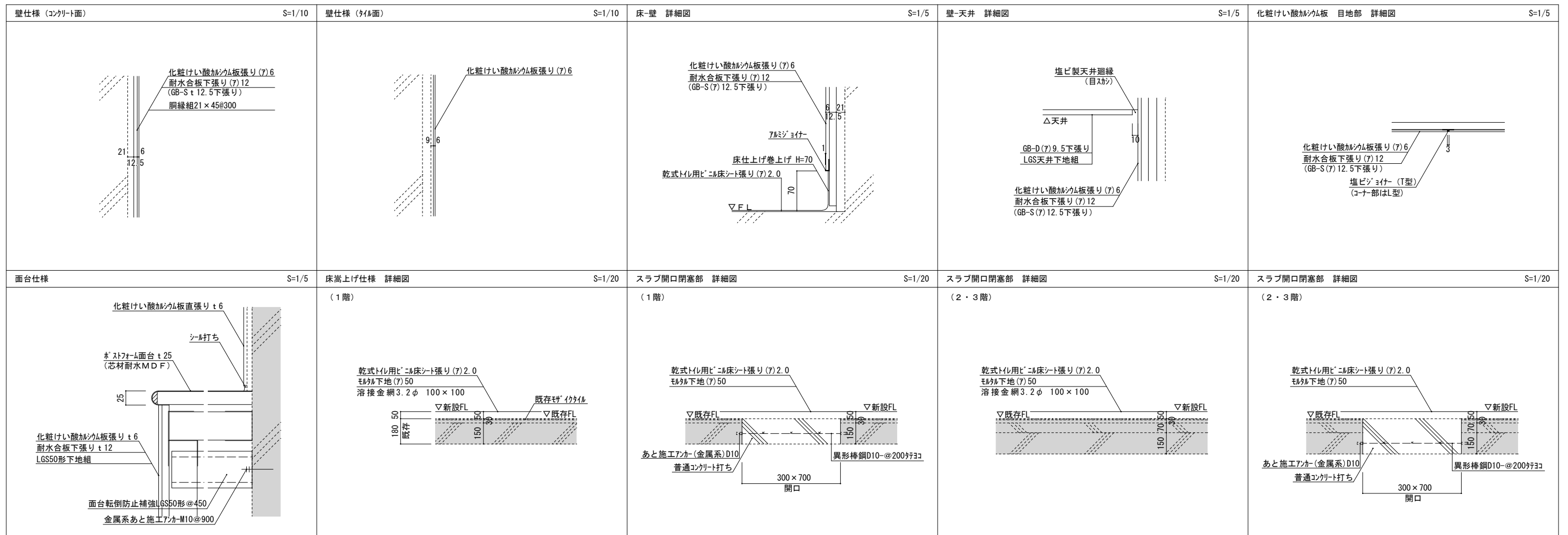
D 面



3階 男子便所・手洗室(北側) A 面 B 面 便所 C 面 洗面室 C 面 D 面

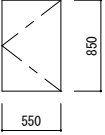


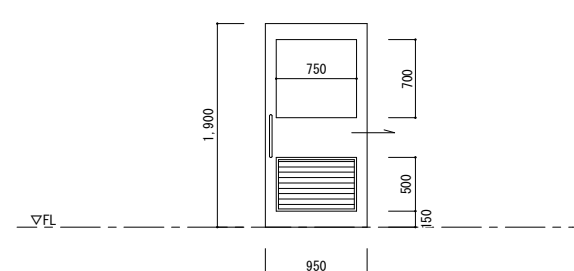
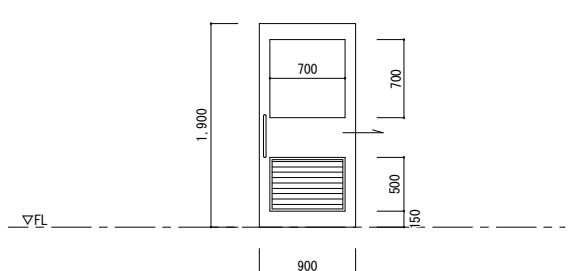
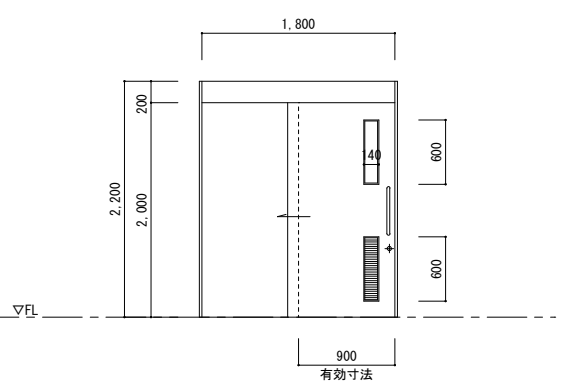
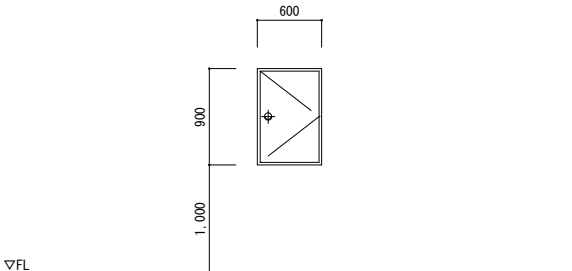
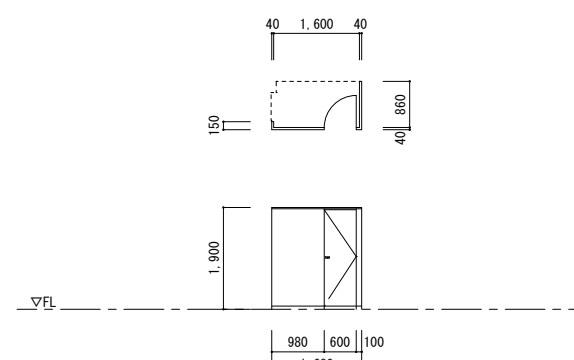
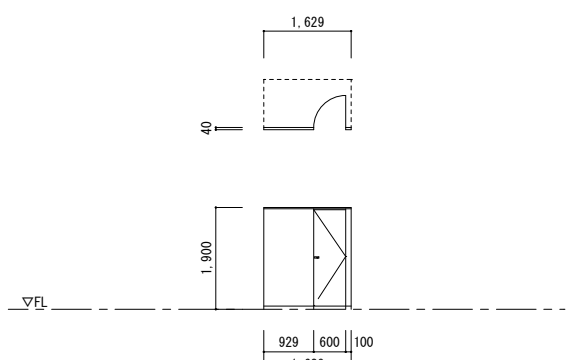
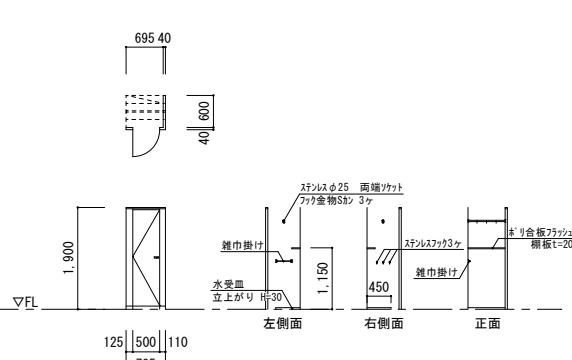
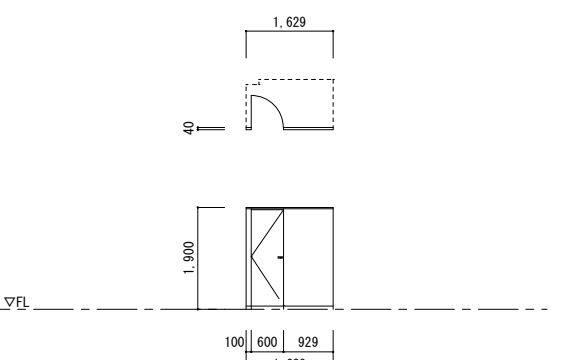
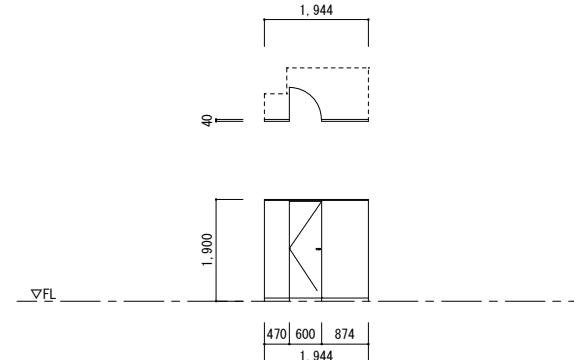
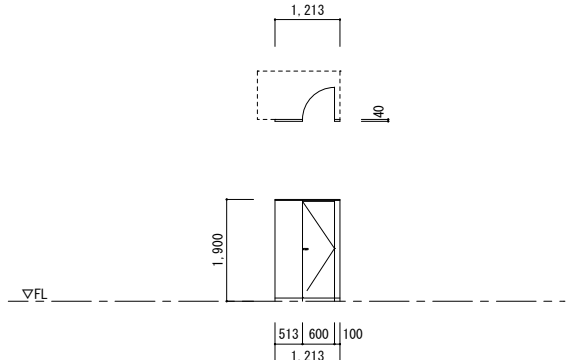
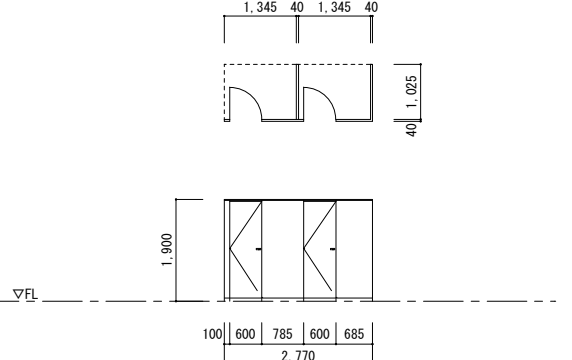
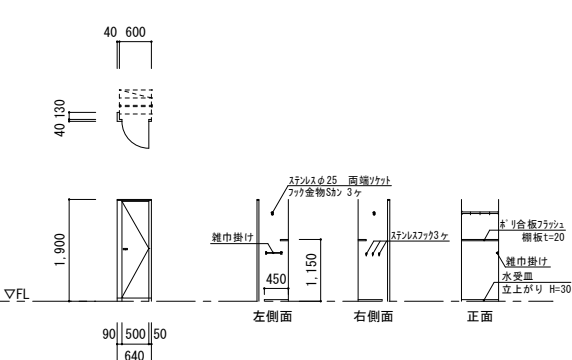
3階 女子便所・手洗室(北側) A 面 B 面 C 面 D 面 廊下面



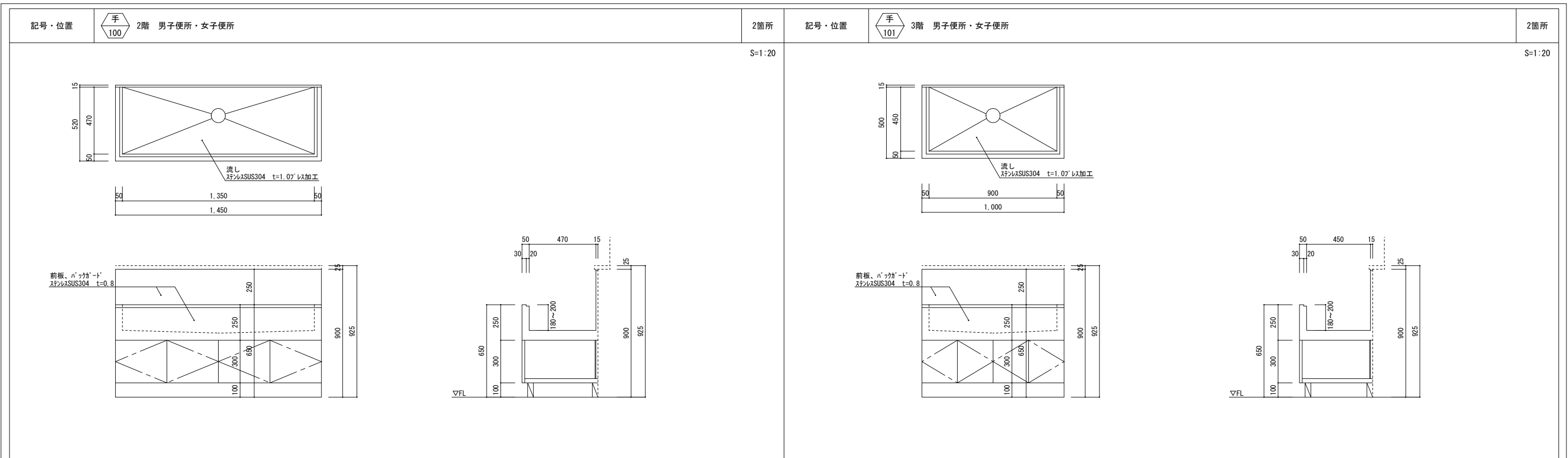
<p>材質 ステンレスH.L t=1.0</p> <p>備考 A2→A3(71%に縮小)          ※衛生器具の【撤去】は、設備工事とする</p>	<p>材質 ステンレスH.L t=1.0</p> <p>材質 ステンレスH.L t=1.0</p> <p>材質 ステンレスH.L t=1.0</p>	<p>三建設計有限公司 登録高-6号</p> <p>高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633</p> <p>一級建築士第135971 安並和文</p>	<p>図面名称 部分詳細図 (小学校)</p> <p>編尺 S=1:5, 1:10, 1:20</p> <p>NO. A 18</p>
---	--	--	---

記号・位置	1階 男子便所・女子便所	3箇所	D2 1階 女子便所	1箇所	D3 1階 化粧室、2階 踏込	2箇所	D4 3階 男子便所・女子便所	2箇所
姿図								
既存仕様	片開きフラッシュ戸 40		片開きフラッシュ戸 40		片開きフラッシュ戸 40		片開きフラッシュ戸 40	
改修工事	撤去		撤去		撤去		撤去	
仕上	シナベニヤ OP		シナベニヤ OP		シナベニヤ OP		シナベニヤ OP	
ガラス他					3mmトーマイ		3mmトーマイ	
金物	ラバトリーヒンジ、ストライク、棟木付ラッチ錠		ラバトリーヒンジ、ストライク、錠		フックレール、戸車、ドアハンドル		フックレール、戸車、ドアハンドル	
備考					一部ガラリ付		一部ガラリ付	
記号・位置	S1 1階 女子便所	1箇所	S2 2階 女子便所	1箇所	S3 1階 男子便所	1箇所	S4 2階 男子便所	1箇所
姿図								
既存仕様	トイレブース(ステンレスエッジ) 40		トイレブース(ステンレスエッジ) 40		トイレブース(ステンレスエッジ) 40		トイレブース(ステンレスエッジ) 40	
改修工事	撤去		撤去		撤去		撤去	
仕上	メラミン化粧板フラッシュ		メラミン化粧板フラッシュ		メラミン化粧板フラッシュ		メラミン化粧板フラッシュ	
ガラス他								
金物	ラバトリーヒンジ、棟木付ラッチ他一式		ラバトリーヒンジ、棟木付ラッチ他一式		ラバトリーヒンジ、棟木付ラッチ他一式		ラバトリーヒンジ、棟木付ラッチ他一式	
備考	小松ウォールTB-SPタイプ		小松ウォールTB-SPタイプ		小松ウォールTB-SPタイプ		小松ウォールTB-SPタイプ	
記号・位置	S5 3階 男子・女子便所	2箇所	S6 1階 女子便所(南側)	1箇所	S7 1階 男子便所(南側)	1箇所	S8 1階 掃除具入	1箇所
姿図								
既存仕様	トイレブース(ステンレスエッジ) 40		トイレブース(ステンレスエッジ) 40		トイレブース(ステンレスエッジ) 40		トイレブース(ステンレスエッジ) 40	
改修工事	撤去		撤去		撤去		撤去	
仕上	メラミン化粧板フラッシュ		メラミン化粧板フラッシュ		メラミン化粧板フラッシュ		メラミン化粧板フラッシュ	
ガラス他								
金物	ラバトリーヒンジ、棟木付ラッチ他一式		ラバトリーヒンジ、棟木付ラッチ他一式		ラバトリーヒンジ、棟木付ラッチ他一式		ラバトリーヒンジ、棟木付ラッチ他一式	
備考	小松ウォールTB-SPタイプ							

記号・位置	SD 1・2階 PS		2箇所		
姿 図					
	既存仕様		改修工事		
型式・見込	片開きスチールフラッシュ戸	60	撤去		
仕 上	FE				
ガラス他					
金 物	丁番				
備 考					
記号・位置					
姿 図					
型式・見込					
仕 上					
ガラス他					
金 物					
備 考					
記号・位置					
姿 図					
型式・見込					
仕 上					
ガラス他					
金 物					
備 考					

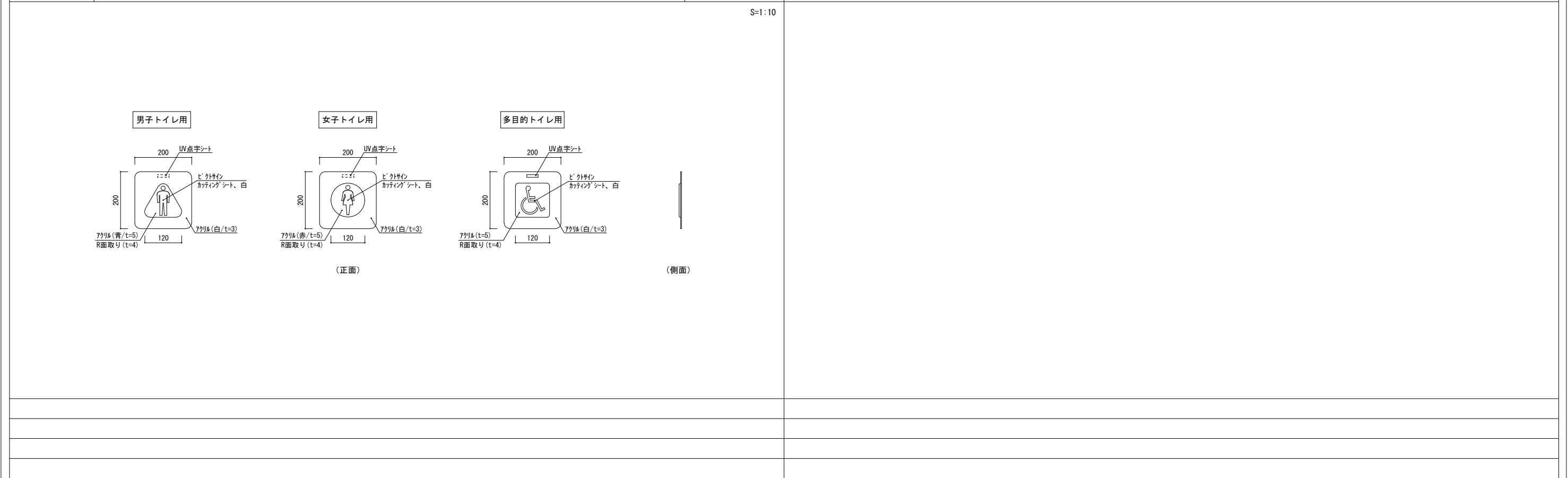
記号・位置	WD 100	1階 男子便所(北側)・女子便所(北側)	2ヶ所	WD 101	2・3階 男子便所(北側)・女子便所(北側)	4ヶ所	LD 100	1階 誰でもトイレ	1ヶ所	SD 100	1・2階 PS(北側)	2ヶ所
図面												
型式・見込	新設仕様 片引き戸(アルミガラリ付)			新設仕様 片引き戸(アルミガラリ付)			新設仕様 軽量鋼製自閉式引き戸			新設仕様 スチール片開きフラッシュ戸		
仕上	ポリ合板フラッシュ、枠四方(検)UC塗			ポリ合板フラッシュ、枠四方(検)UC塗			メラミン焼付塗装			溶融亜鉛めっき鋼板 t=1.6 塗装焼付		
ガラス他	学校用強化型板ガラス(7)4			学校用強化型板ガラス(7)4			学校用強化型板ガラス(7)4					
金物	7&Mリッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティン、スライドボルト(非常開錠付)			7&Mリッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティン、スライドボルト(非常開錠付)			非常解除付表示錠、ステンレス引手棒、3方枠、付属金物(メーカー仕様)			丁番、平面ハンドル鍵付、その他付属金物一式		
備考	ピクトサイン200角			ピクトサイン200角			自閉装置					
記号・位置	TB 100	1階 女子便所(南側)	1ヶ所	TB 101	1階 女子便所(南側)	1ヶ所	TB 102	1階 女子掃除具入(南側)	1ヶ所	TB 103	1階 男子便所(南側)	1ヶ所
図面												
型式・見込	新設仕様 トイレブース			新設仕様 トイレブース			新設仕様 トイレブース			新設仕様 トイレブース		
仕上	高圧メラミン樹脂化粧板			高圧メラミン樹脂化粧板			高圧メラミン樹脂化粧板			高圧メラミン樹脂化粧板		
ガラス他												
金物	7&Mリッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティン、スライドボルト(非常開錠付)			7&Mリッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティン、スライドボルト(非常開錠付)			7&Mリッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティン、その他標準金物一式			7&Mリッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティン、スライドボルト(非常開錠付)		
備考	内開き戸は、非常時外開き仕様			内開き戸は、非常時外開き仕様			引手、雑巾掛け9.5φ L=300、ステンレスパイプφ25、ソケット、Sカン、ステンレス水受皿(7)1.0			内開き戸は、非常時外開き仕様		
記号・位置	TB 104	1階 男子便所(北側)	1ヶ所	TB 105	1階 女子便所(北側)	1ヶ所	TB 106	1階 女子便所(北側)	1ヶ所	TB 107	1階 前室掃除具入(北側)	1ヶ所
図面												
型式・見込	新設仕様 トイレブース			新設仕様 トイレブース			新設仕様 トイレブース			新設仕様 トイレブース		
仕上	高圧メラミン樹脂化粧板			高圧メラミン樹脂化粧板			高圧メラミン樹脂化粧板			高圧メラミン樹脂化粧板		
ガラス他												
金物	7&Mリッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティン、スライドボルト(非常開錠付)			7&Mリッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティン、スライドボルト(非常開錠付)			7&Mリッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティン、スライドボルト(非常開錠付)			7&Mリッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティン、その他標準金物一式		
備考	内開き戸は、非常時外開き仕様			内開き戸は、非常時外開き仕様			内開き戸は、非常時外開き仕様			引手、雑巾掛け9.5φ L=300、ステンレスパイプφ25、ソケット、Sカン、ステンレス水受皿(7)1.0		

記号・位置	T B 108 2階 女子便所(北側)	1ヶ所	T B 109 2階 女子便所(北側)	1ヶ所	T B 110 2階 女子便所(北側)	1ヶ所	T B 111 2階 男子便所(北側)	1ヶ所
姿 図								
型式・見込	新設仕様 トイレブース		新設仕様 トイレブース		新設仕様 トイレブース		新設仕様 トイレブース	
仕 上	高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板	
ガラス他								
金物	7&Rエッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティビツ、スライドボルト(非常開錠付)戸当り帽子掛け、その他付属金物一式		7&Rエッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティビツ、スライドボルト(非常開錠付)戸当り帽子掛け、その他付属金物一式		7&Rエッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティビツ、スライドボルト(非常開錠付)戸当り帽子掛け、その他付属金物一式		7&Rエッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティビツ、スライドボルト(非常開錠付)戸当り帽子掛け、その他付属金物一式	
備 考	内開き戸は、非常時外開き仕様		内開き戸は、非常時外開き仕様		内開き戸は、非常時外開き仕様		内開き戸は、非常時外開き仕様	
記号・位置	T B 112 2階 男子便所(北側)	1ヶ所	T B 113 2階 男子掃除具入(北側)	1ヶ所	T B 114 3階 女子便所(北側)	1ヶ所	T B 115 3階 女子便所(北側)	1ヶ所
姿 図								
型式・見込	新設仕様 トイレブース		新設仕様 トイレブース		新設仕様 トイレブース		新設仕様 トイレブース	
仕 上	高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板	
ガラス他								
金物	7&Rエッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティビツ、スライドボルト(非常開錠付)戸当り帽子掛け、その他付属金物一式		7&Rエッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティビツ、その他標準金物一式		7&Rエッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティビツ、スライドボルト(非常開錠付)戸当り帽子掛け、その他付属金物一式		7&Rエッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティビツ、スライドボルト(非常開錠付)戸当り帽子掛け、その他付属金物一式	
備 考	内開き戸は、非常時外開き仕様		引手、雑巾掛け9.5φ L=300、ステンレスパイφ25、ソケット、Sカ、ステンレス水受皿(7)1.0		内開き戸は、非常時外開き仕様		内開き戸は、非常時外開き仕様	
記号・位置	T B 116 3階 男子便所(北側)	1ヶ所	T B 117 3階 男子掃除具入(北側)	1ヶ所	仕切 100 1階 男子便所(南側)	1ヶ所	仕切 101 各男子便所	7ヶ所
姿 図								
型式・見込	新設仕様 トイレブース		新設仕様 トイレブース		隔て板		隔て板	
仕 上	高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板	
ガラス他								
金物	7&Rエッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティビツ、スライドボルト(非常開錠付)戸当り帽子掛け、その他付属金物一式		7&Rエッジ、ステンレス巾木、ステンレス頭つなぎ、グレイティビツ、その他標準金物一式		ステンレス巾木、その他標準金物一式		ステンレス巾木、その他標準金物一式	
備 考	内開き戸は、非常時外開き仕様		引手、雑巾掛け9.5φ L=300、ステンレスパイφ25、ソケット、Sカ、ステンレス水受皿(7)1.0		S=1:50		S=1:50	



<p>材質 メラミン化粧板フラッシュ戸 t 24、底板メラミン化粧板 t 6.0、その他ポリ合板 t 4.0</p>	<p>材質 メラミン化粧板フラッシュ戸 t 24、底板メラミン化粧板 t 6.0、その他ポリ合板 t 4.0</p>
<p>金物 ステンレスカクシ丁番、アルミライン取手、マグネットキャッチ</p>	<p>金物 ステンレスカクシ丁番、アルミライン取手、マグネットキャッチ</p>
<p>塗装 メラミン化粧板張り t 3.0</p>	<p>塗装 メラミン化粧板張り t 3.0</p>
<p>備考 排水トラップ、ステンレスバックガード、流し部ステンレスアングル L-40×40×3 (SUS) 補強</p>	<p>備考 排水トラップ、ステンレスバックガード、流し部ステンレスアングル L-40×40×3 (SUS) 補強</p>

<p>記号・位置 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ピクトサイン</span></p>	<p>男子便所 4箇所 女子便所 4箇所 だれでもトイレ 1箇所</p>
---	--

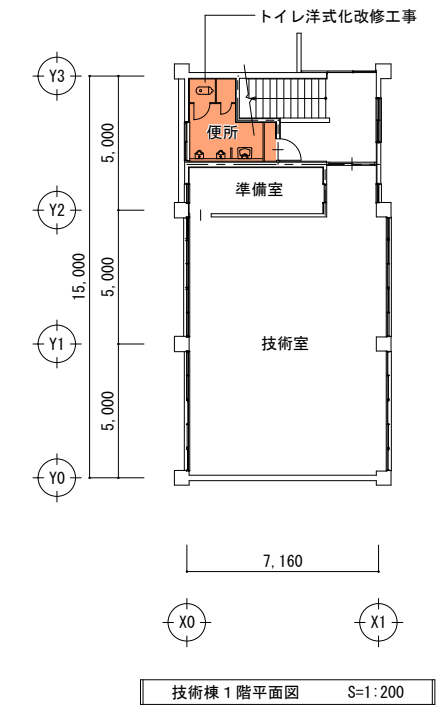
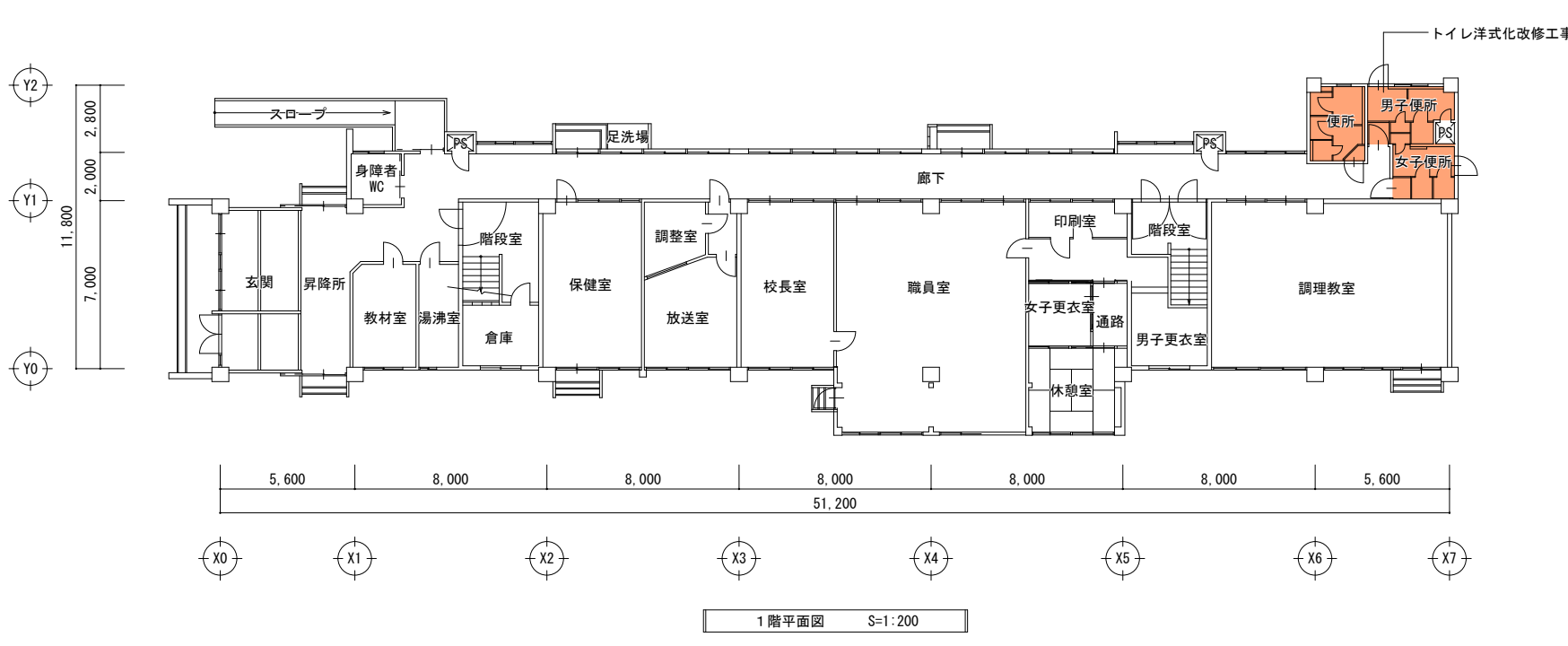
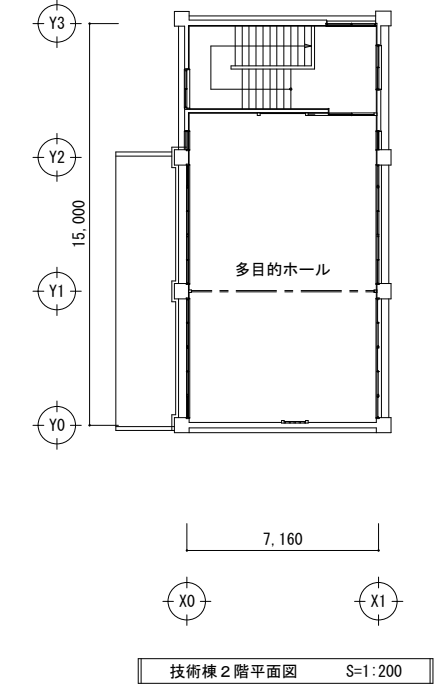
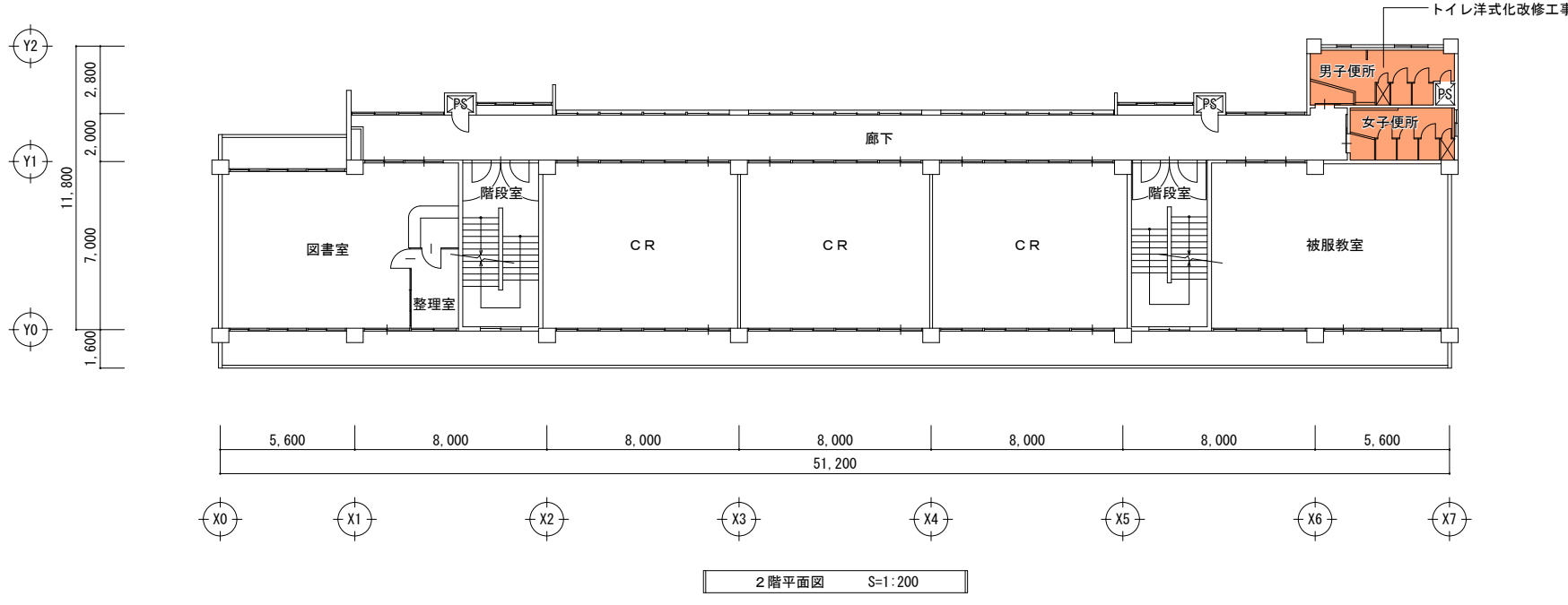


内部仕上表

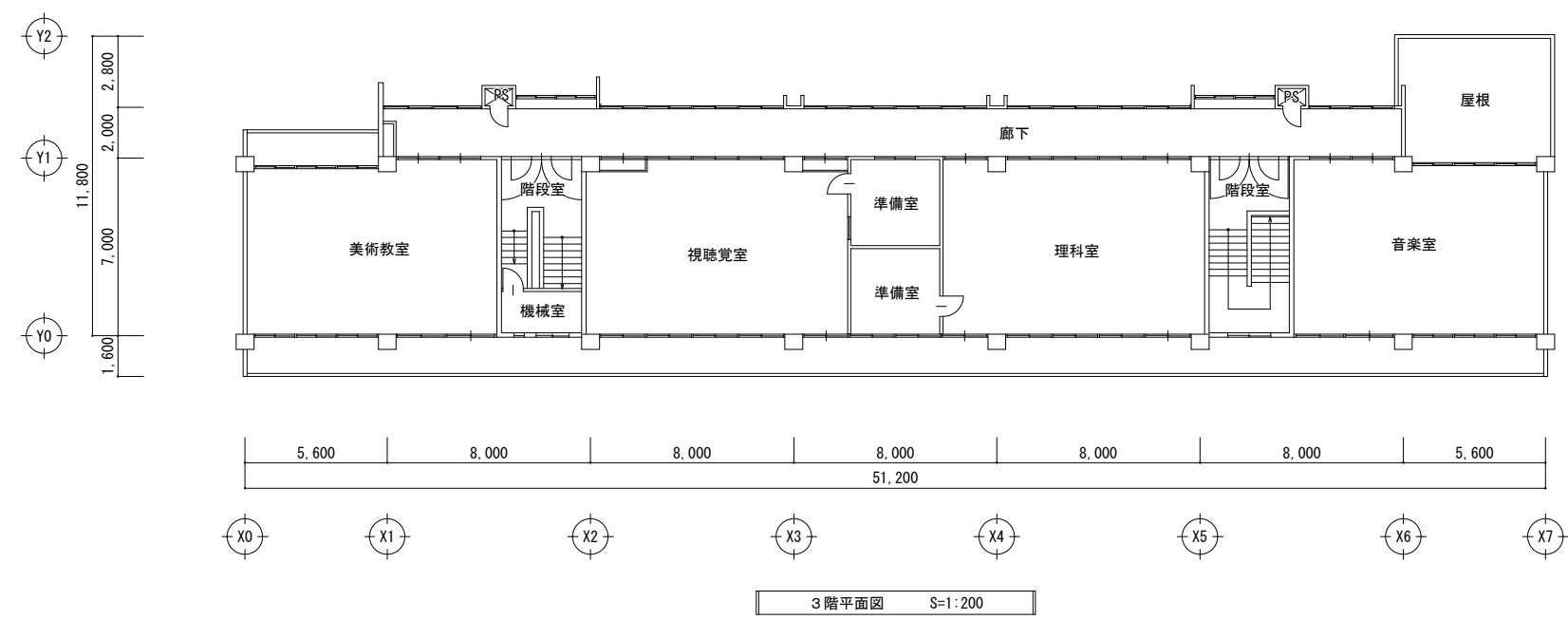
階	室名		床		巾木	壁		天井			備考
			構造下地			構造下地		廻縁	構造下地		
1階	共用便所 ↓ 男子便所(職員)	改修前	50角モザイクタイル張【既存のまま】 踏込：タキロンカーペット貼【撤去】(モルタル下地共)	RC		100角カラータイル張【一部撤去】	RC	PB(7)9 目スカシ貼 OP【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	
		改修後	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 既存タイルのうえモルタル下地(7)100	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪カ板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	
	男子便所	改修前	50角モザイクタイル張【既存のまま】 踏込：タキロンカーペット貼【撤去】(モルタル下地共)	RC		100角カラータイル張【一部撤去】	RC	PB(7)9 目スカシ貼 OP【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	天井点検口【撤去】
		改修後	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 既存タイルのうえモルタル下地(7)100	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪カ板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	450角天井点検口
	女子便所	改修前	50角モザイクタイル張【既存のまま】 踏込：タキロンカーペット貼【撤去】(モルタル下地共)	RC		100角カラータイル張【一部撤去】	RC	PB(7)9 目スカシ貼 OP【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	天井点検口【撤去】
		改修後	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 既存タイルのうえモルタル下地(7)100	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪カ板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	450角天井点検口
踏込 ↓ 前室・女子便所(職員)	改修前	長尺ビニルシート貼(7)2.0	RC	木製巾木 OP	モルタルコテ磨き 立体模様吹付【一部撤去】	RC	ジブトーン(7)9貼【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	床点検口 450×450【撤去】(枠共)	
	改修後	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪カ板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	床点検口 450×450(鍵付)	
2階	男子便所	改修前	50角モザイクタイル張【既存のまま】 踏込：タキロンカーペット貼【撤去】(モルタル下地共)	RC		100角カラータイル張【一部撤去】	RC	PB(7)9 目スカシ貼 OP【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	天井点検口【撤去】
		改修後	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 既存タイルのうえモルタル下地(7)100	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪カ板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	450角天井点検口
	女子便所	改修前	50角モザイクタイル張【既存のまま】 踏込：タキロンカーペット貼【撤去】(モルタル下地共)	RC		100角カラータイル張【一部撤去】	RC	PB(7)9 目スカシ貼 OP【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	
		改修後	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 既存タイルのうえモルタル下地(7)100	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪カ板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	
	廊下 ↓ 前室	改修前	長尺ビニルシート貼(7)2.0	RC	タイル貼	モルタルコテ磨き 立体模様吹付【一部撤去】	RC	ジブトーン(7)9貼【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	
		改修後	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	
1・2階 (共通)	廊下	改修前	長尺ビニルシート貼(7)2.0【既存のまま】	RC	タイル貼【一部撤去】	モルタルコテ磨き 立体模様吹付【一部撤去】	RC	ジブトーン(7)9貼【既存のまま】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	
		改修後		RC	ビニル巾木 H=100	LGS65+GB-S(7)12.5×2+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC				

階	室名		床		巾木	壁		天井			備考
			構造下地			構造下地		廻縁	構造下地		
1階	技術棟 便所 ↓ 前室・男子便所・女子便所	改修前	50角モザイクタイル張【既存のまま】 踏込：タキロンカーペット貼【撤去】(モルタル下地共)	RC		100角カラータイル張【既存のまま】	RC	PB(7)9 目スカシ貼 OP【撤去】 RC打放し 7mmリシン吹付【既存のまま】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	
		改修後	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 既存タイルのうえモルタル下地(7)175	RC	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪カ板張り(7)6 LGS65+GB-S(7)12.5+化粧けい酸カルシウム板(7)6	RC	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	

階	室名		床		巾木	壁		天井			備考
			構造下地			構造下地		廻縁	構造下地		
1階	屋内運動場 女子便所	改修前	50角モザイクタイル張【撤去】	LGS		100角カラータイル張【既存のまま】	LGS	けい酸カルシウム板(7)6 目スカシ貼 VP【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	
		改修後	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 普通コンクリート(7)180(直金コテ押)	LGS	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪カ板張り(7)6	LGS	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	
	屋内運動場 男子便所	改修前	50角モザイクタイル張【撤去】	LGS		100角カラータイル張【既存のまま】	LGS	けい酸カルシウム板(7)6 目スカシ貼 VP【撤去】	塩ビ製【撤去】	LGS【撤去】	天井点検口【撤去】
		改修後	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 普通コンクリート(7)180(直金コテ押)	LGS	乾式トイレ用ビニル床シート張り(7)2.0 H=70 巻上げ (見切アルミジョイナー)	化粧けい酸加珪カ板張り(7)6	LGS	GB-D(7)9.5張り	塩ビ製【新設】	LGS【新設】	450角天井点検口
	屋内運動場 掃除具入	改修前	モルタル塗り【既存のまま】	LGS		モルタル塗り【既存のまま】	LGS	けい酸カルシウム板(7)6 目スカシ貼 VP【既存のまま】	塩ビ製	LGS	
		改修後		LGS			LGS		塩ビ製	LGS	

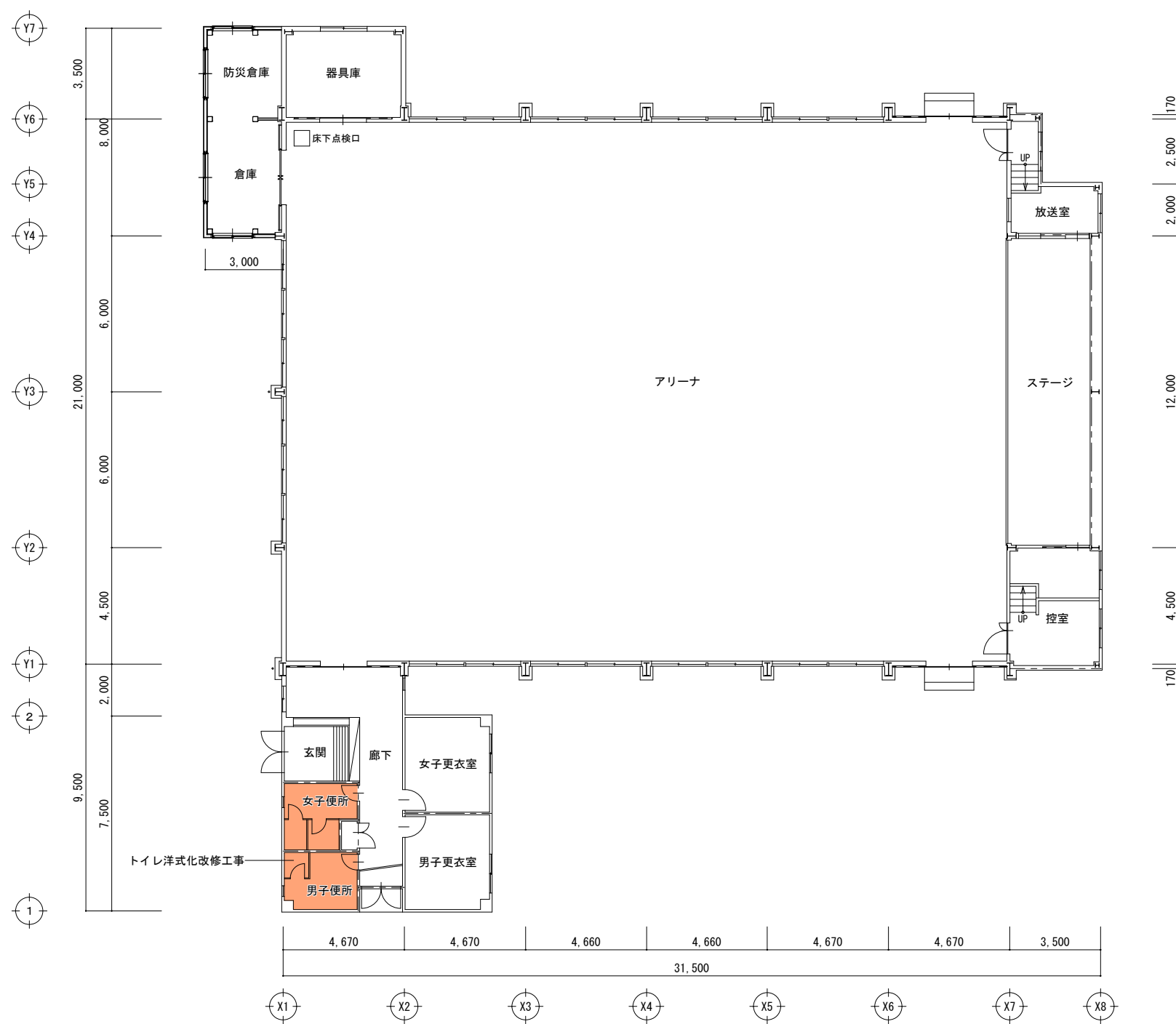


備考 A2→A3 (71%に縮小)	令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事 設計図	三建設計有限公司 登録高-6号		図面名称 1・2階平面図	
		高知市知寄町1-5-1 一級建築士第135971	TEL 883-1761 FAX 883-1633 安並和文	編尺 S=1:200	NO. B-02



3階平面図 S=1:200

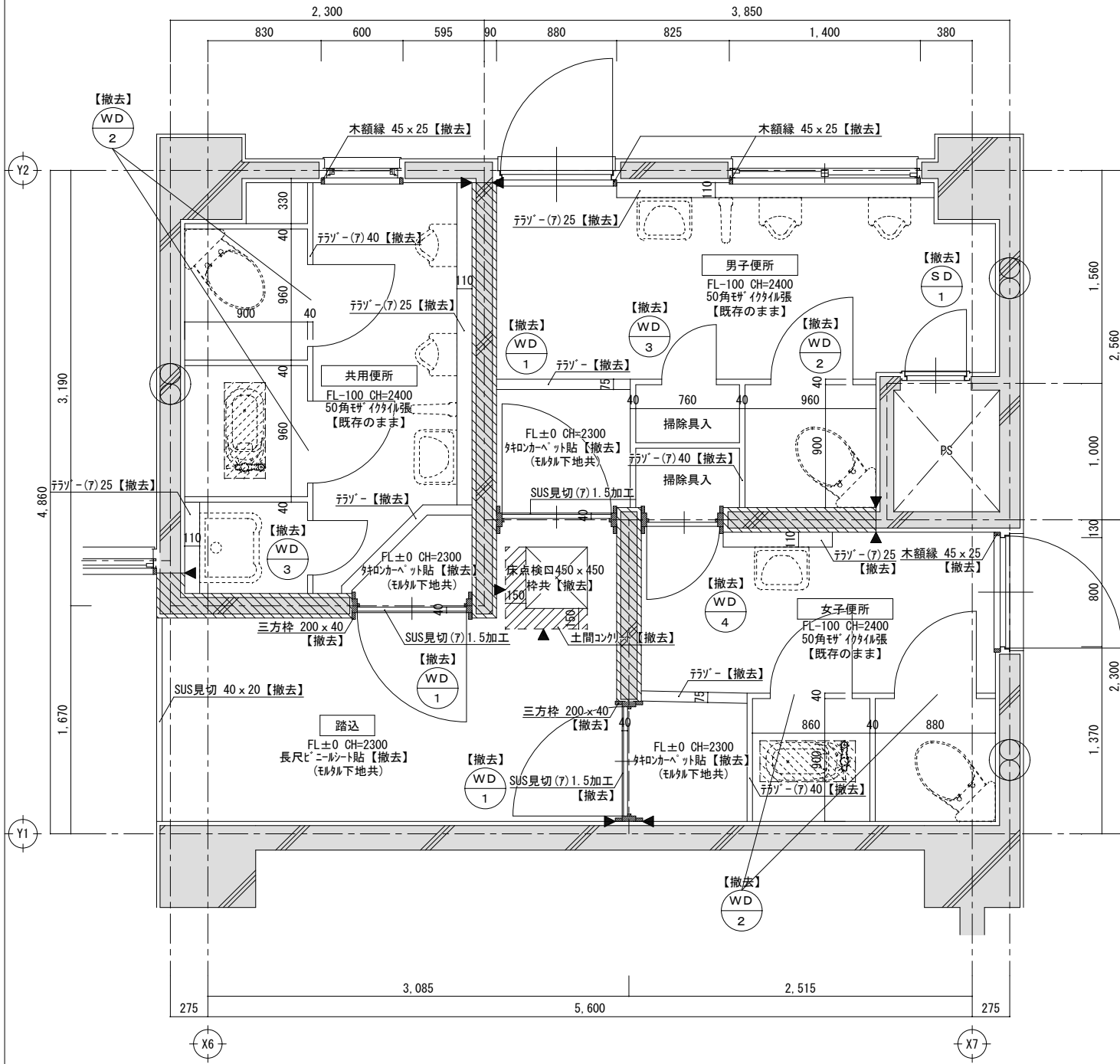
備考 A2→A3(71%に縮小)	令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事	設計図	三建設計有限公司 登録高-6号	図面名称 3階平面図
		高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633	編尺 S=1:200	NO. B-03
		一級建築士第135971 安並和文	年月日 担当 製図	



1階平面図 S=1:150

備考 A2→A3(71%に縮小)	令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事 設計図	三建設計有限公司 登録高-6号	図面名称 1階平面図(屋内運動場)(中学校)	
			高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633	編尺 S=1:150
		一級建築士第135971 安並和文	年月日 担当	製図

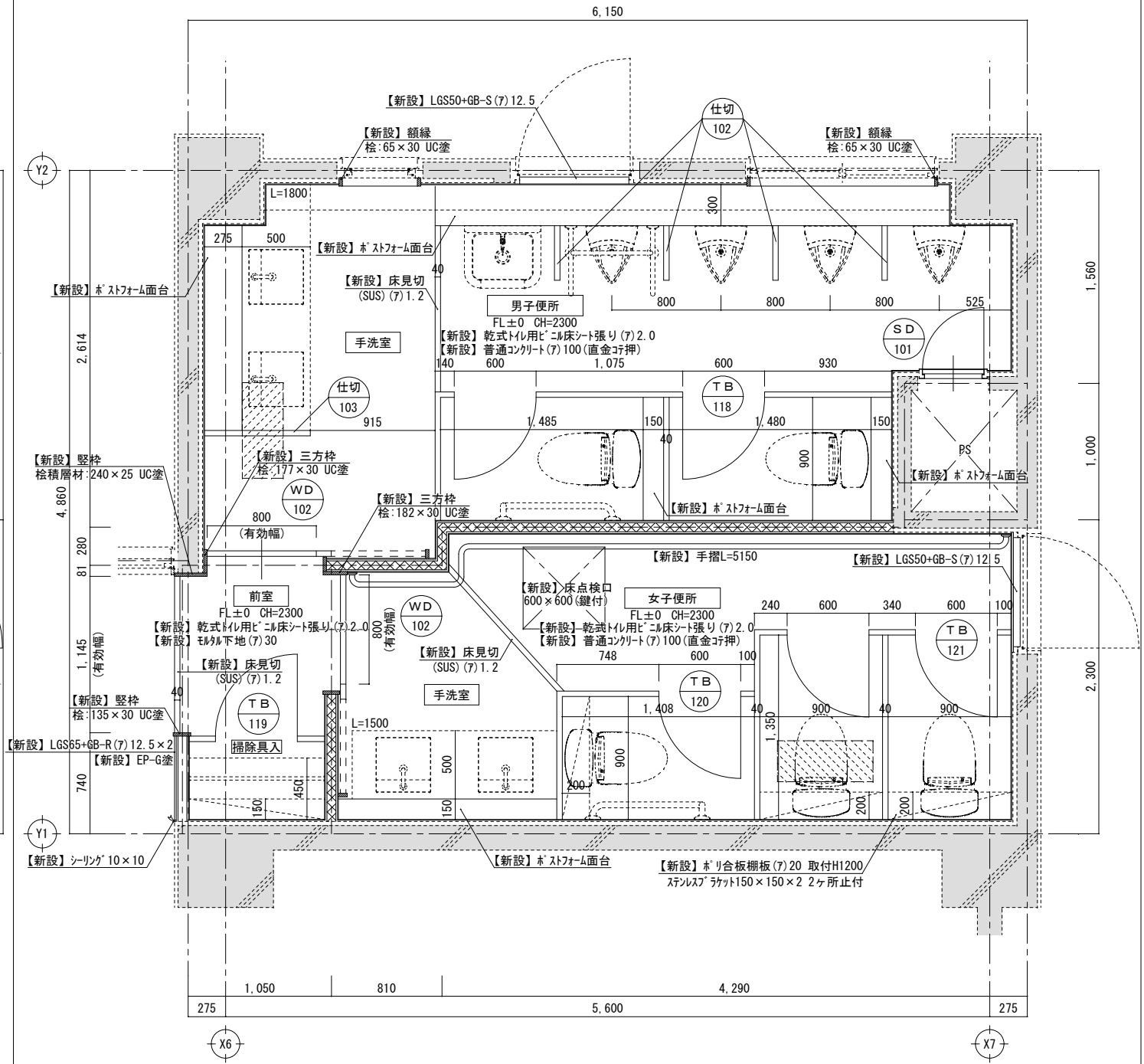
改修前



1階平面詳細図 S=1:30

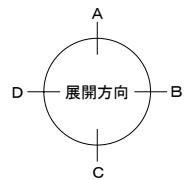
- : RC壁を示す
- : 斜線部は【撤去】を示す
- : カッター切の上
- : スラブ【撤去】を示す
- : カッター切を示す

改修後



1階平面詳細図 S=1:30

- : 開口塞ぎを示す
- : 断熱材を示す(ケラシ-#24k t50)



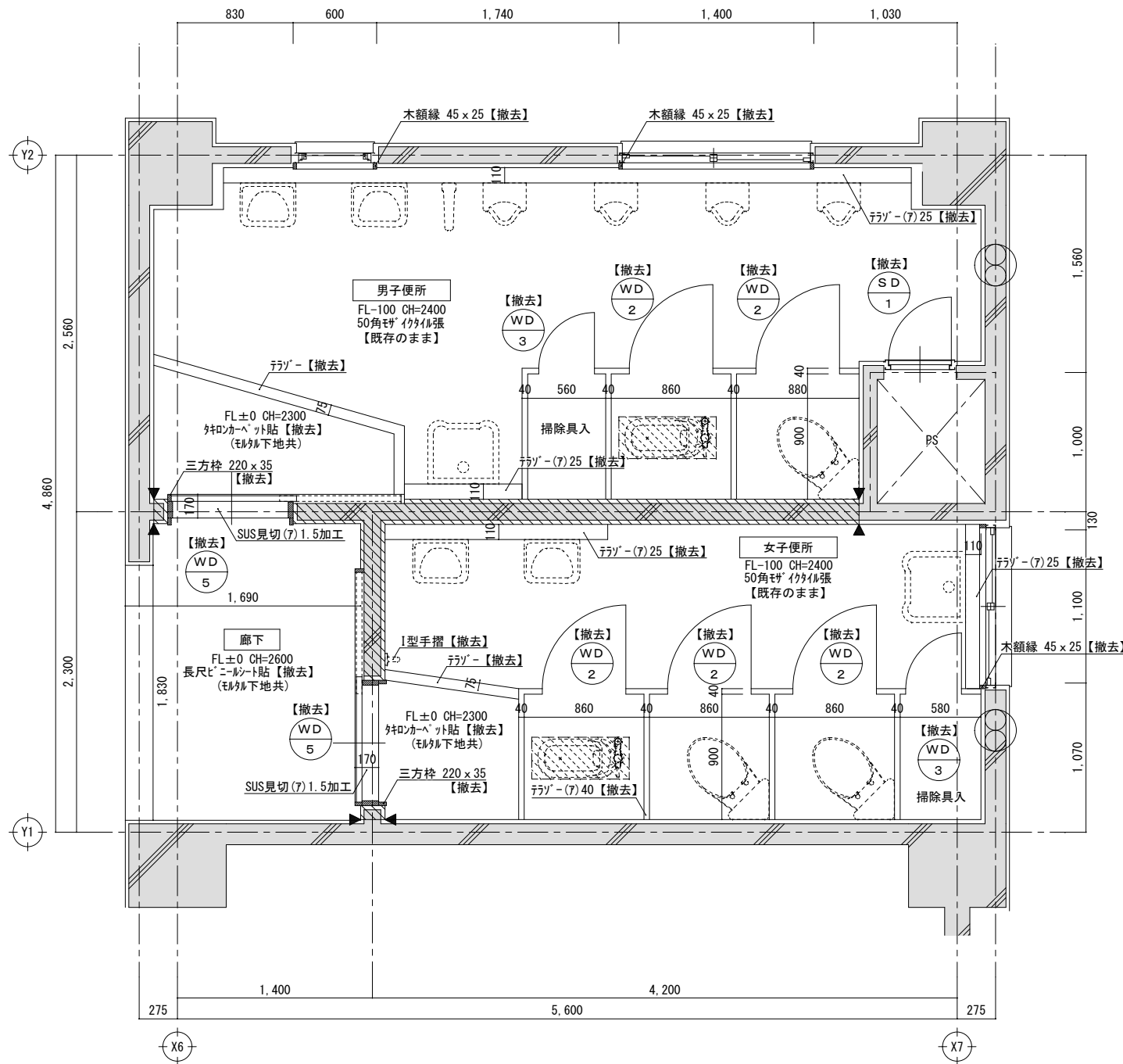
備考 A2→A3(71%に縮小)  
 ※衛生器具の【撤去】は、設備工事

令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事

設計図

三建設計有限公司		登録高-6号	図面名称	1階平面詳細図【改修前・後】 (中学校)	
高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺	S=1:30	NO.
一級建築士第135971	安並和文		年月日	担当	B-05

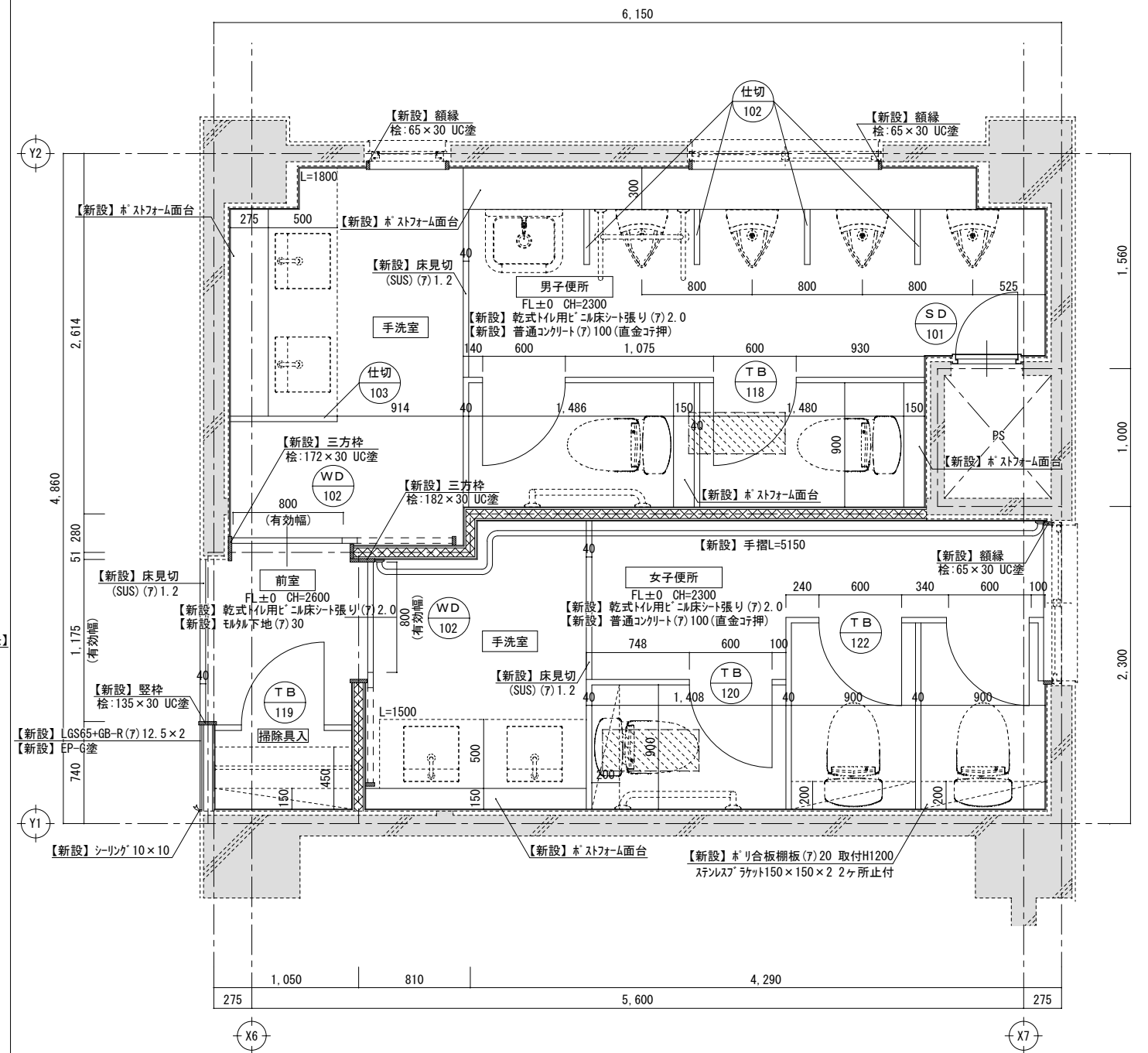
改修前



2階平面詳細図 S=1:30

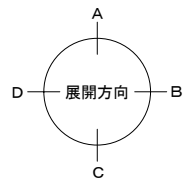
- : RC壁を示す
- : 斜線部は【撤去】を示す
- : カッター切の上
- : スラブ【撤去】を示す 300×700 (2カ所)
- : カッター切を示す

改修後



2階平面詳細図 S=1:30

- : 開口塞ぎを示す 300×700 (2カ所)
- : 断熱材を示す(ケラウ-24k t50)



備考 A2→A3(71%に縮小)  
※衛生器具の【撤去】は、設備工事

令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事

設計図

三建設計有限公司

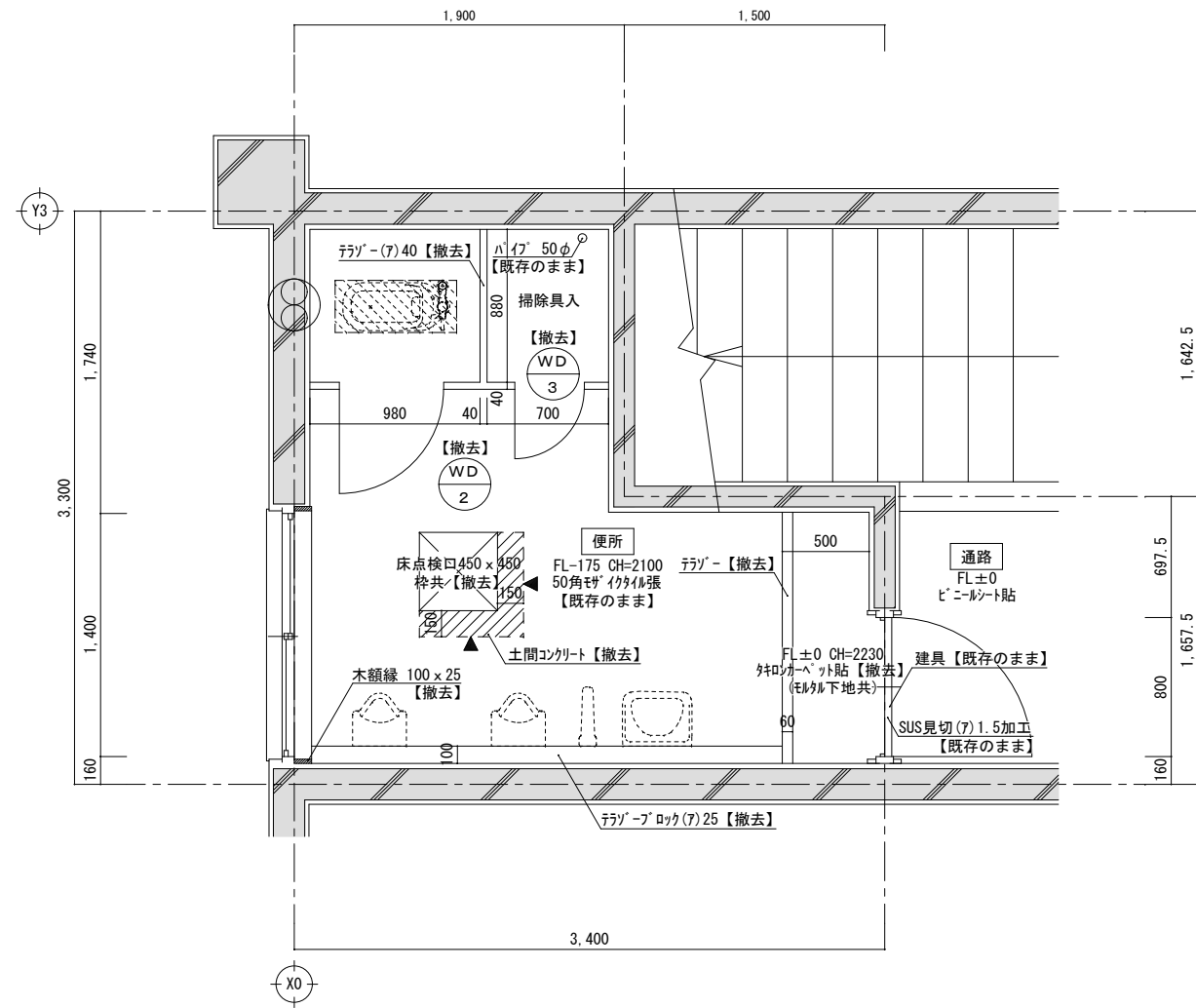
登録高-6号

図面名称 2階平面詳細図【改修前・後】 (中学校)

高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633  
一級建築士第135971 安並和文

縮尺 S=1:30 年月日 担当 製図 NO. B-06

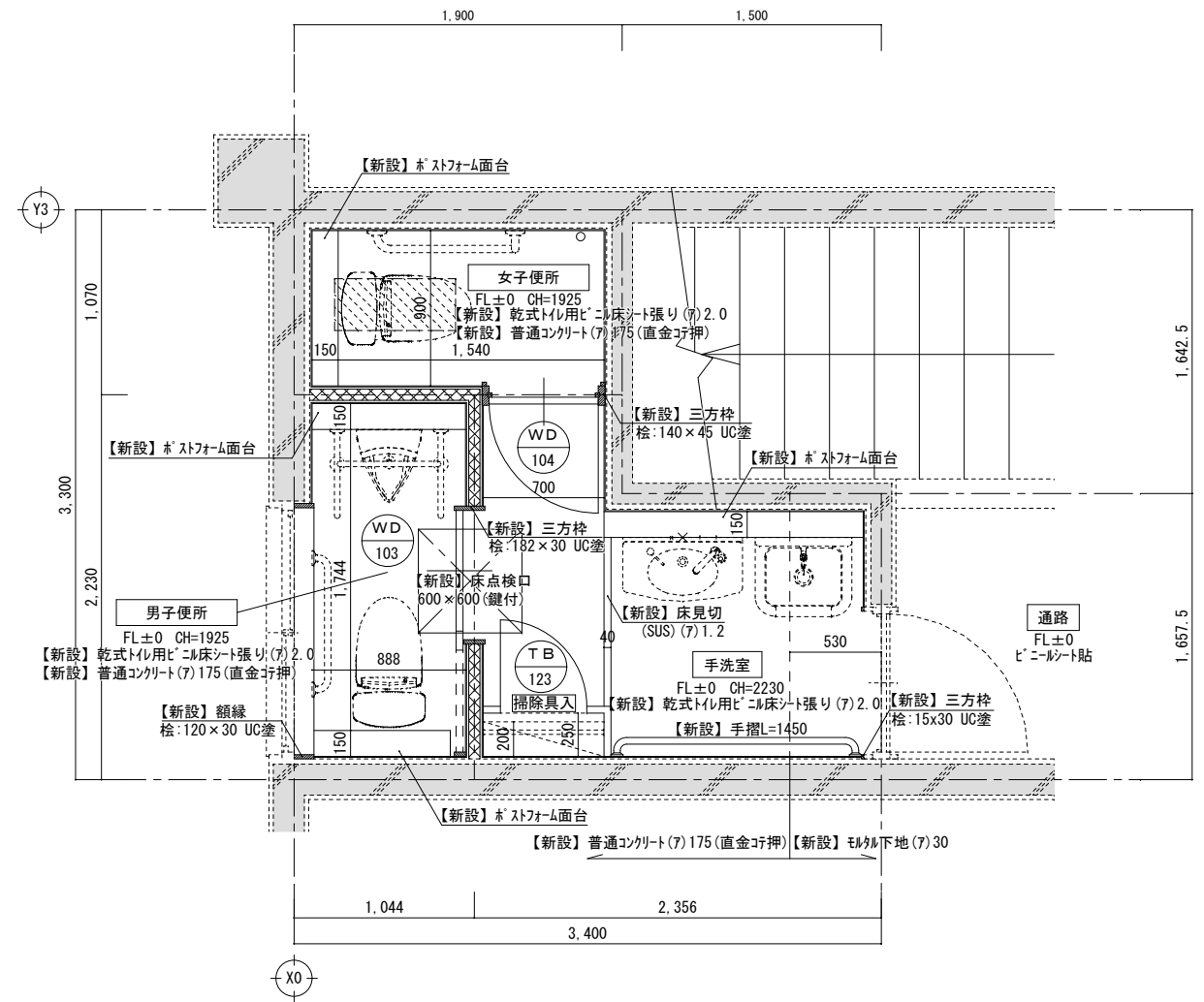
改修前



1階平面詳細図 S=1:30

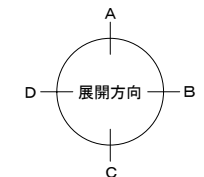
- : RC壁を示す
- : カッター切の上
- : スラブ【撤去】を示す
- : 300×700 (1カ所)

改修後



1階平面詳細図 S=1:30

- : 開口塞ぎを示す
- : 300×700 (1カ所)
- : 断熱材を示す(グラスウール24k t50)



備考 A2→A3(71%に縮小)  
※衛生器具の【撤去】は、設備工事

令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事

設計図

三建設計有限公司

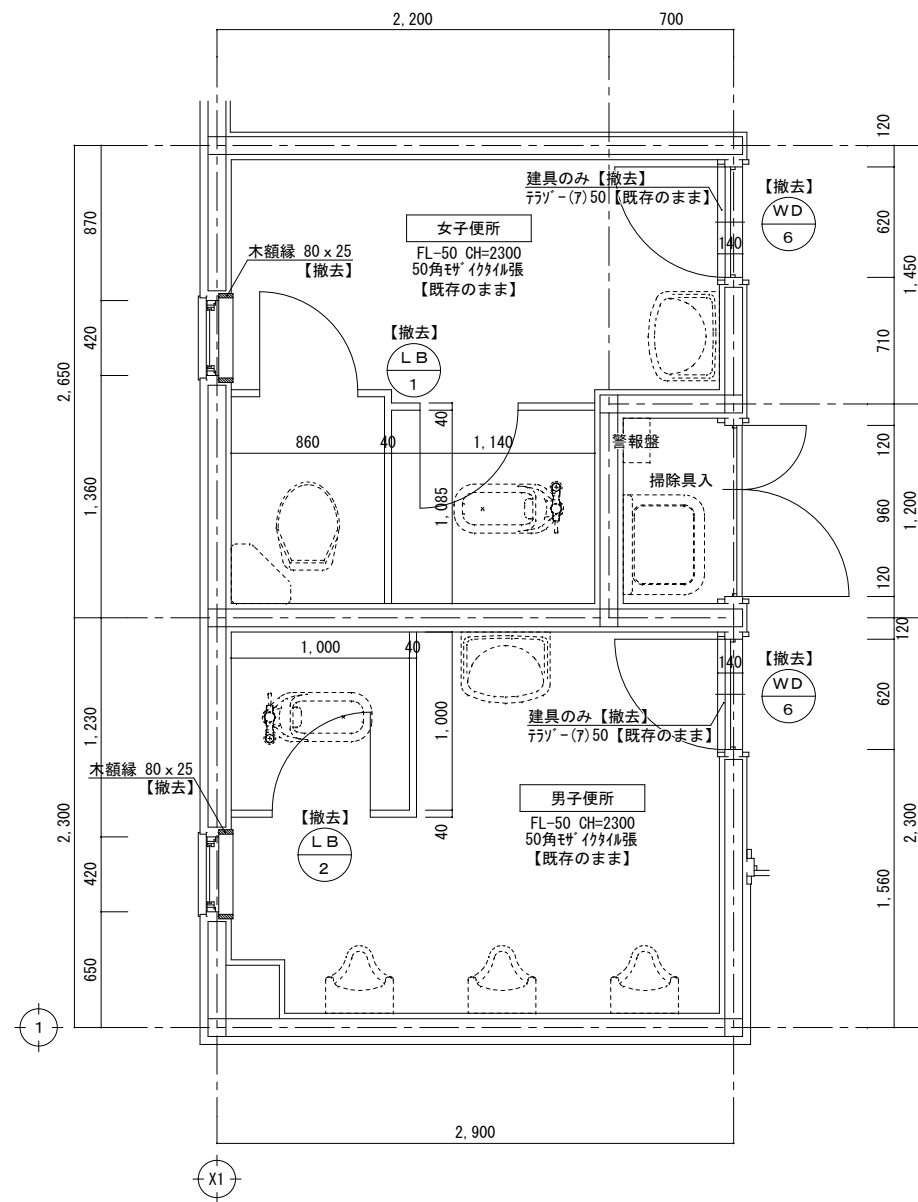
登録高-6号

図面名称 1階平面詳細図(技術棟)【改修前・後】(中学校)

高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633  
一級建築士第135971 安並和文

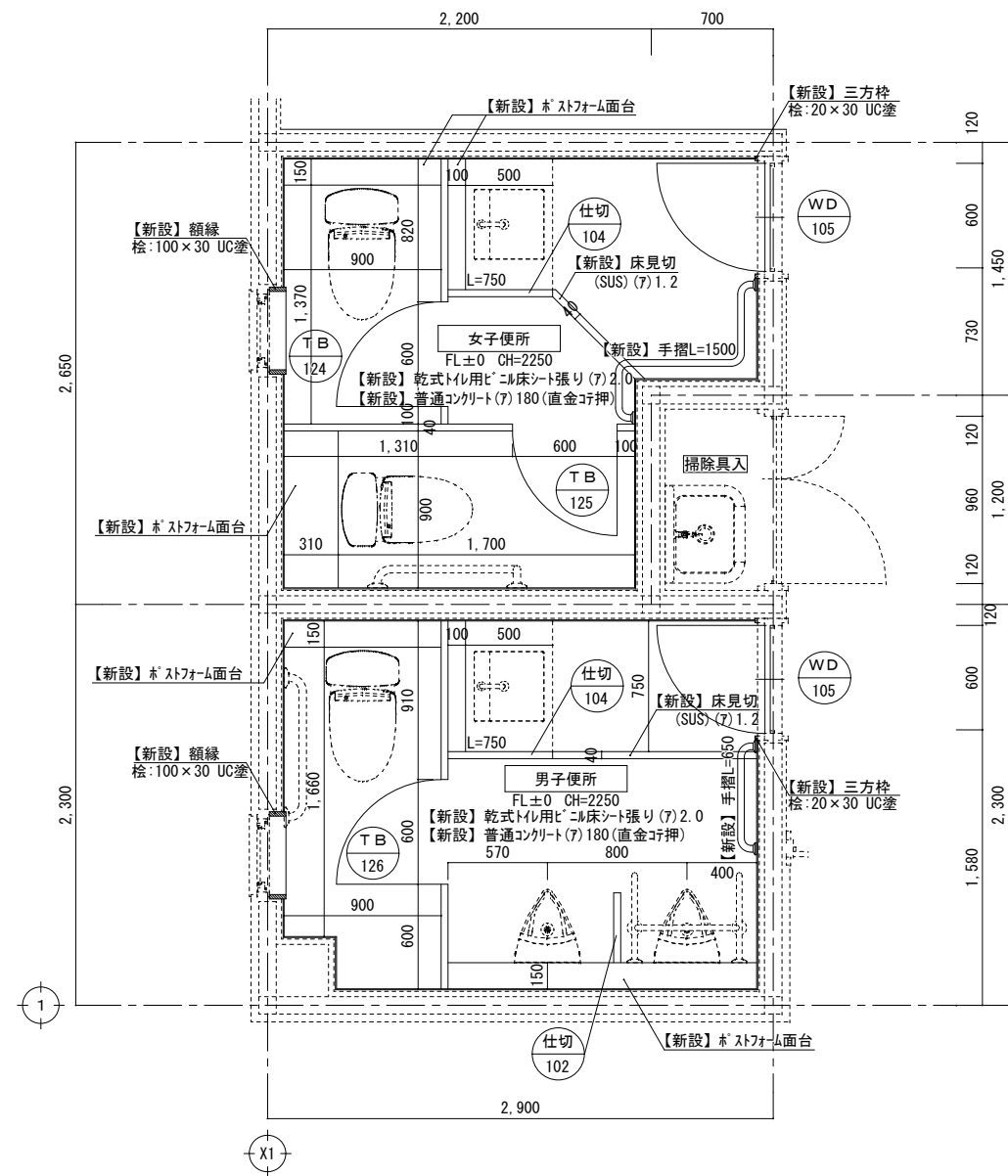
編尺 S=1:30 年 月 日 担当 製図 NO. B-07

改修前

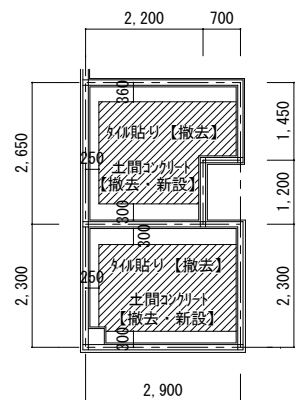


1階平面詳細図 S=1:30

改修後



1階平面詳細図 S=1:30



土間コンクリート図(撤去・新設) S=1:100

備考 A2→A3(71%に縮小)  
※衛生器具の【撤去】は、設備工事

令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事

設計図

三建設計有限公司

登録高-6号

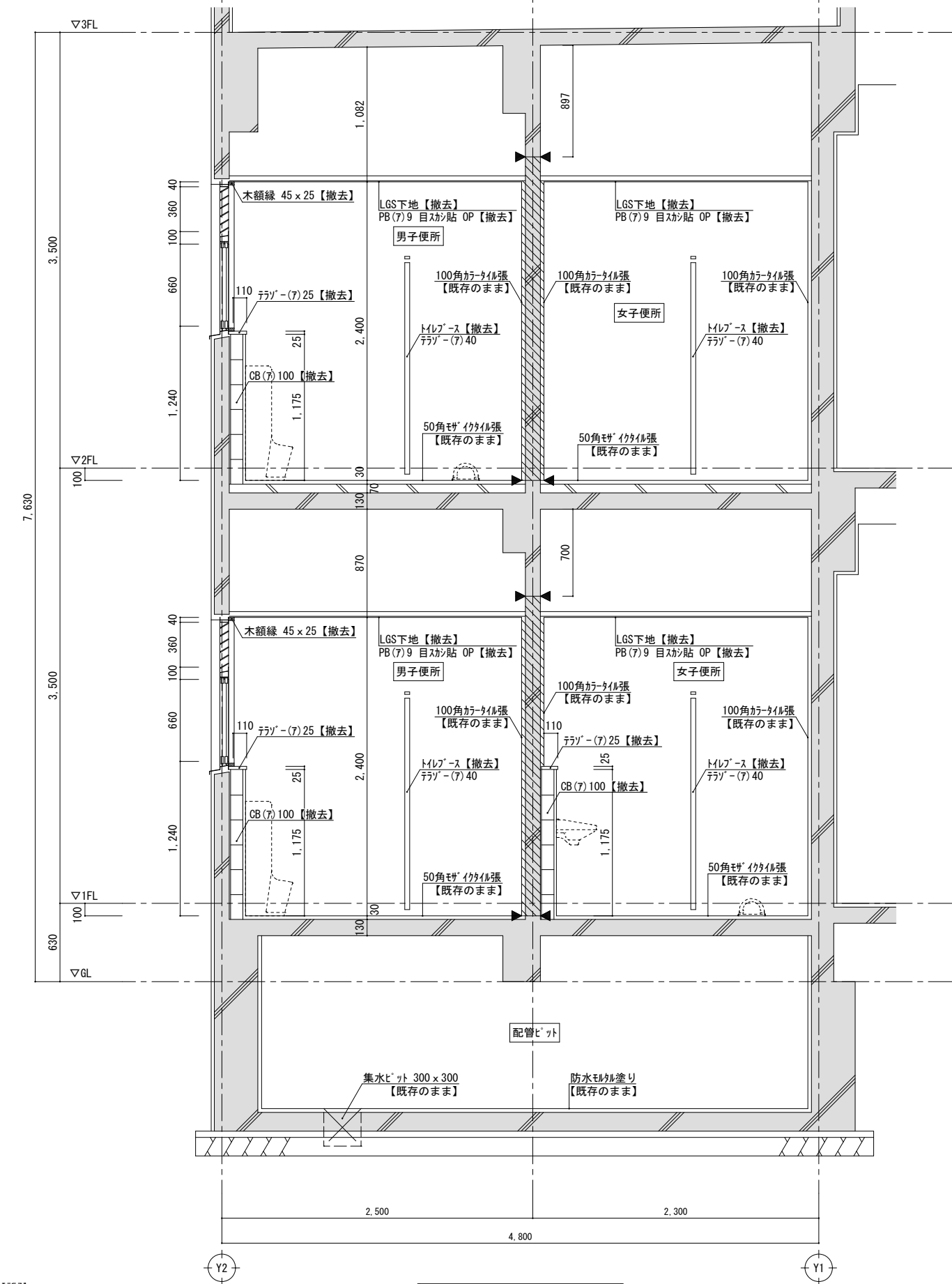
図面名称 1階平面詳細図(屋内運動場)【改修前・後】(中学校)

高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633  
一級建築士第135971 安並和文

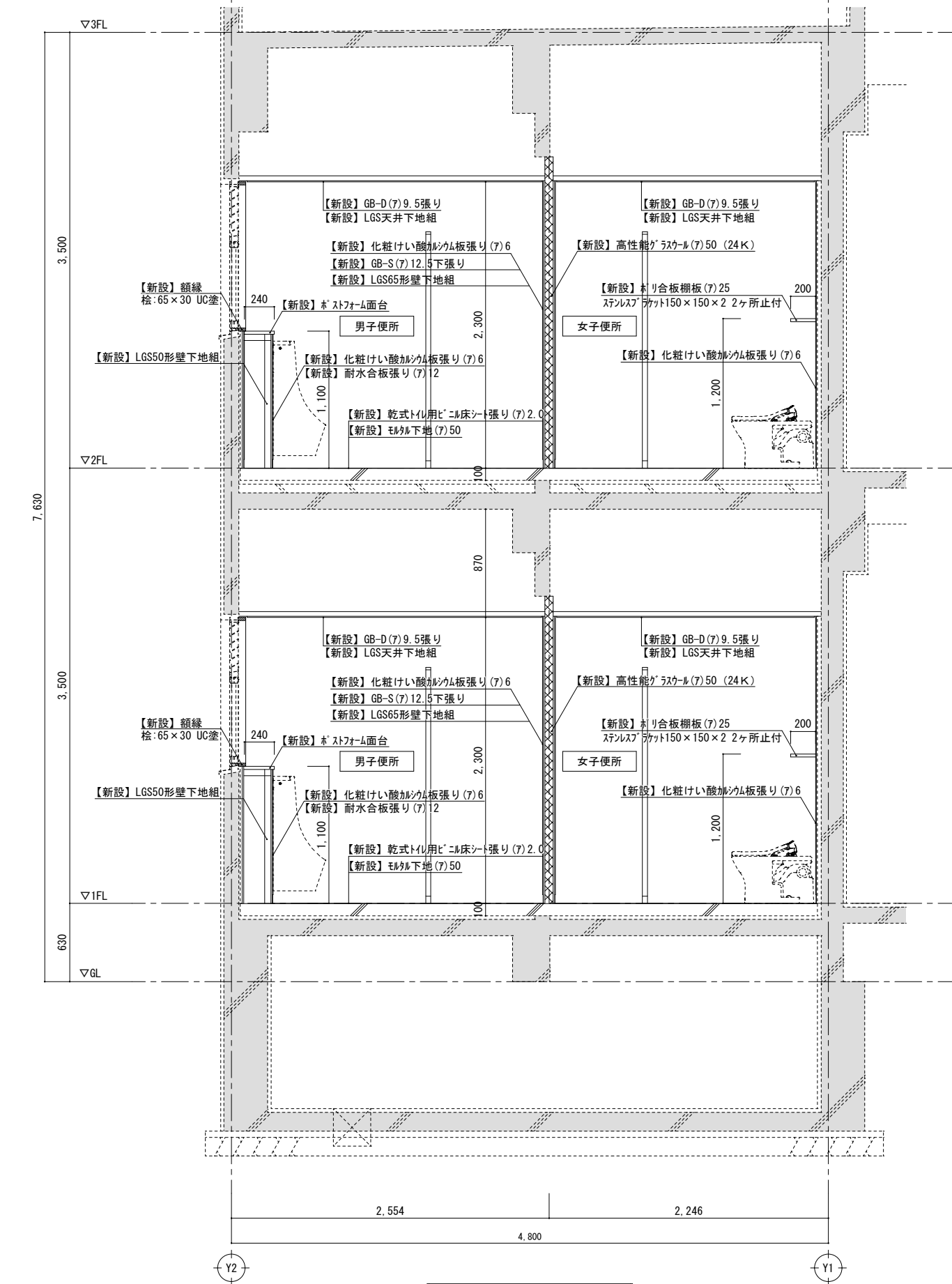
縮尺 S=1:30 S=1:100  
年月日 担当 製図

NO. B-08

改修前



改修後



斜線部は【撤去】を示す  
 ▲ : カッター切を示す

断面詳細図 S=1:30

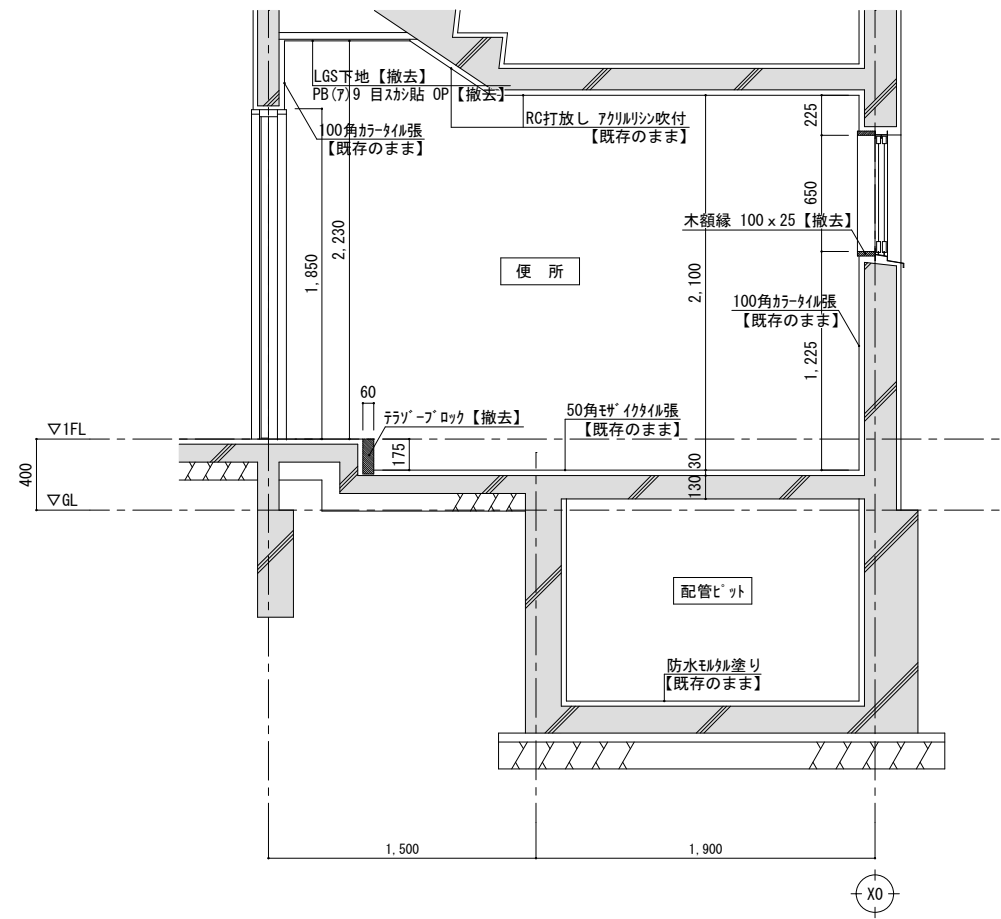
断面詳細図 S=1:30

備考 A2→A3 (71%に縮小)  
 ※衛生器具の【撤去】は、設備工事とする  
 ※コンクリート立上り撤去部は、防錆処理をおこなうこと

令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事 設計図

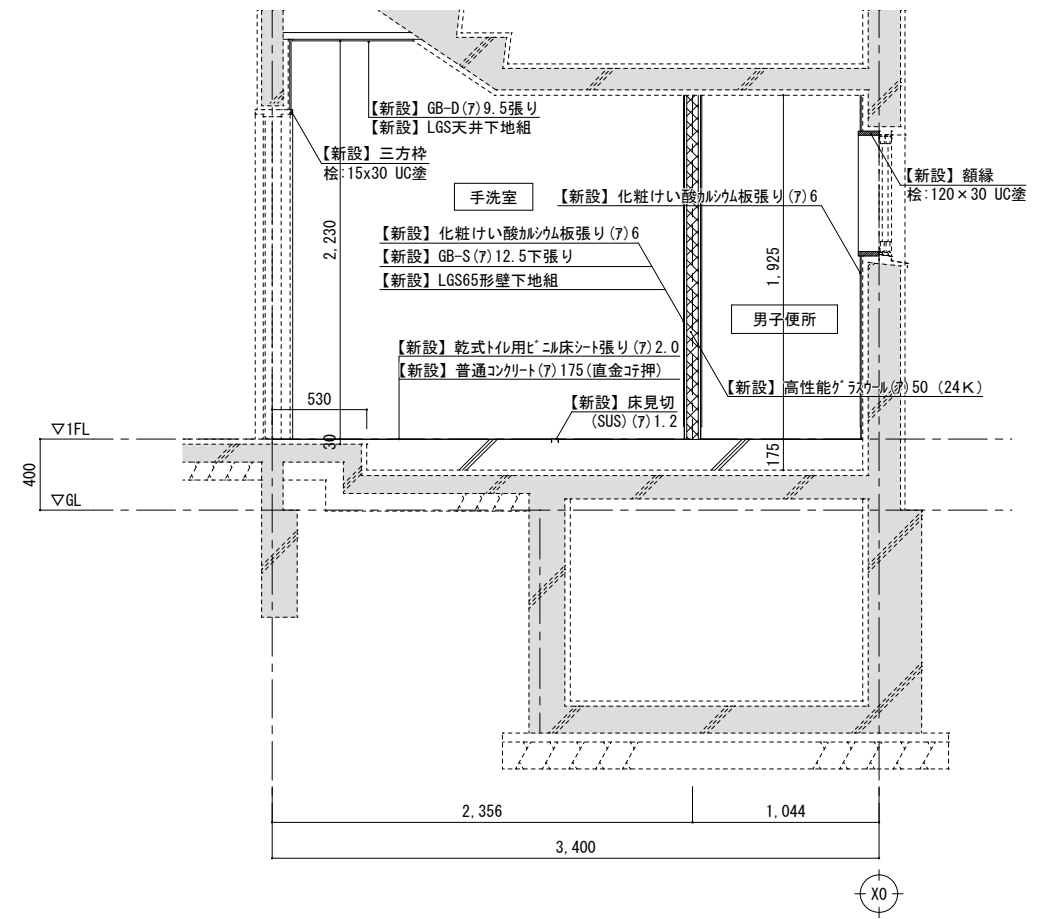
三建設計有限公司		登録高-6号	図面名称 断面詳細図【改修前・後】 (中学校)	
高知市知寄町1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:30	NO. B-09
一級建築士第135971	安並和文		年月日	製図

改修前



断面詳細図 S=1:30

改修後



断面詳細図 S=1:30

備考 A2→A3(71%に縮小)  
※衛生器具の【撤去】は、設備工事とする

令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事

設計図

三建設計有限公司

登録高-6号

図面名称 断面詳細図(技術棟)【改修前・後】中学校

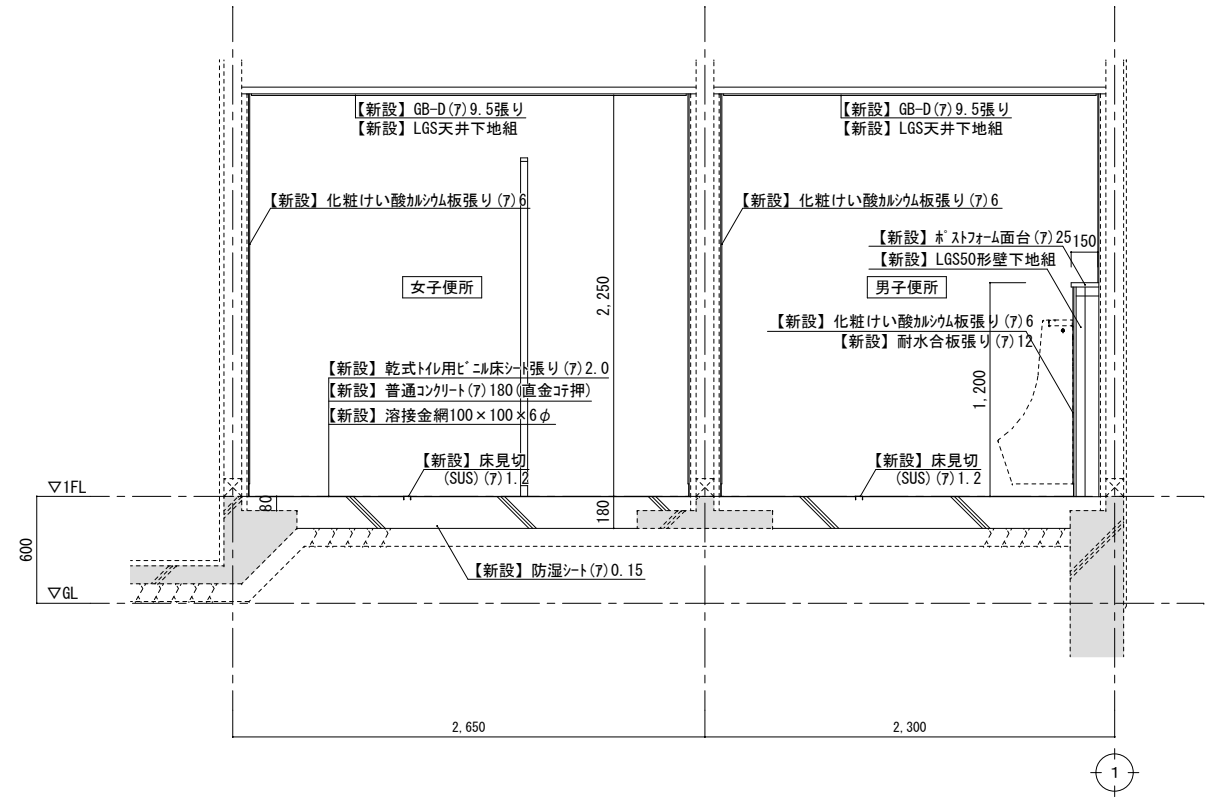
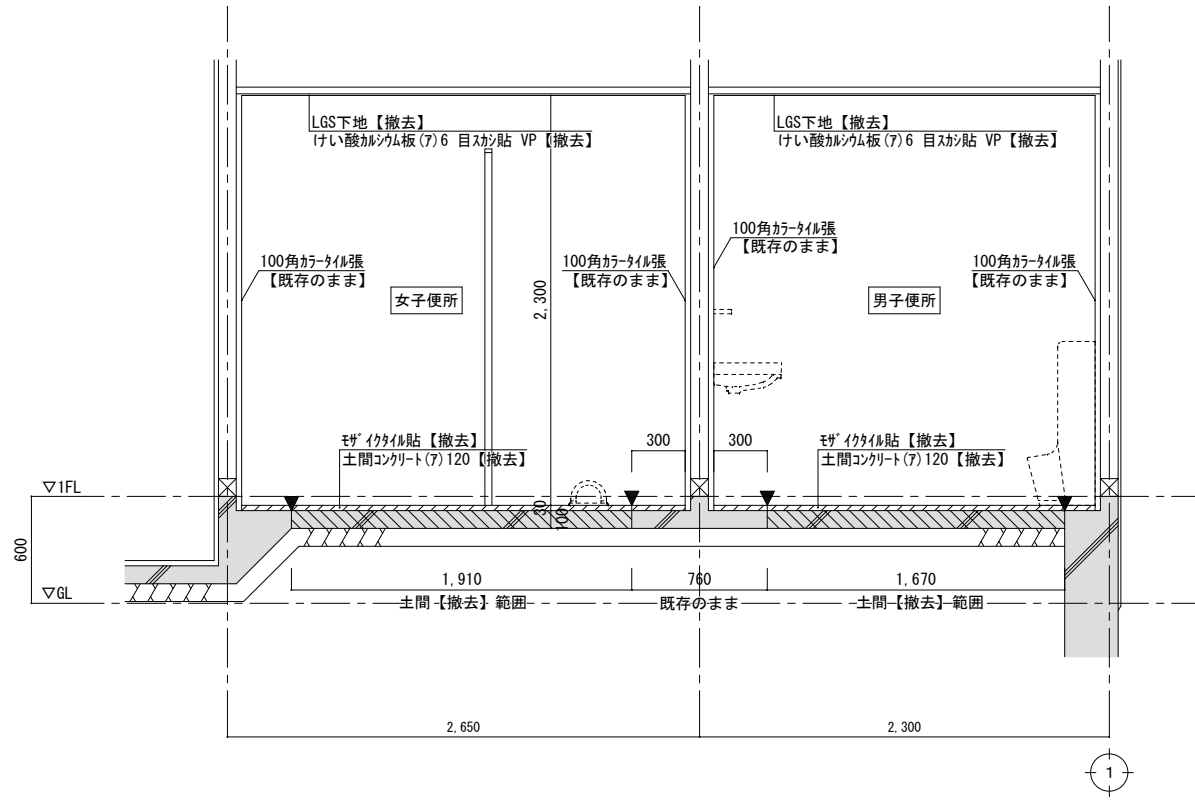
高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633  
一級建築士第135971 安並和文

編尺 S=1:30  
年月日 担当 製図

NO. B 10

改修前

改修後



断面詳細図 S=1:30

断面詳細図 S=1:30

: 斜線部は【撤去】を示す  
 : カッター切を示す (鉄筋は残すこと)

備考 A2→A3(71%に縮小)  
 ※衛生器具の【撤去】は、設備工事とする

令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事

設計図

三建設計有限公司

登録高-6号

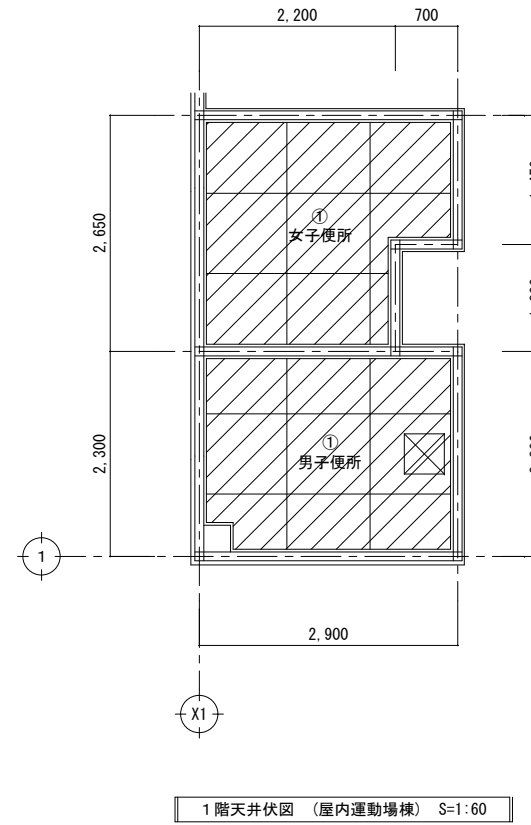
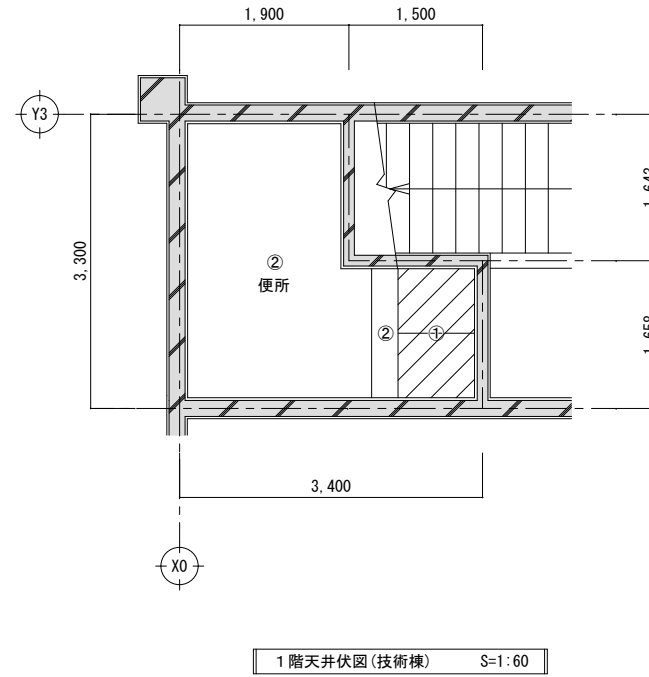
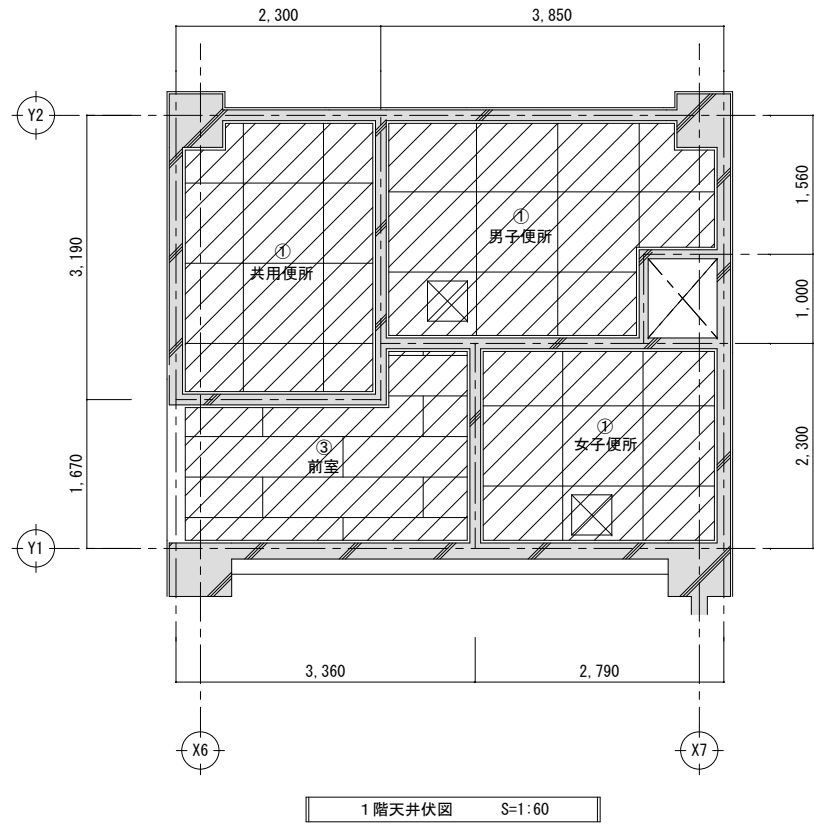
図面名称 断面詳細図(屋内運動場)【改修前・後】(中学校)

高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633  
 一級建築士第135971 安並和文

縮尺 S=1:30  
 年月日 担当 製図

NO. B 11

改修前

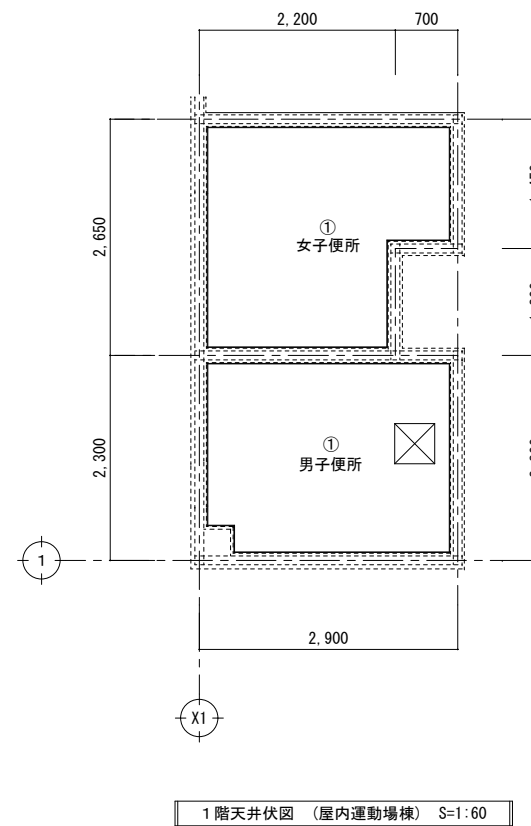
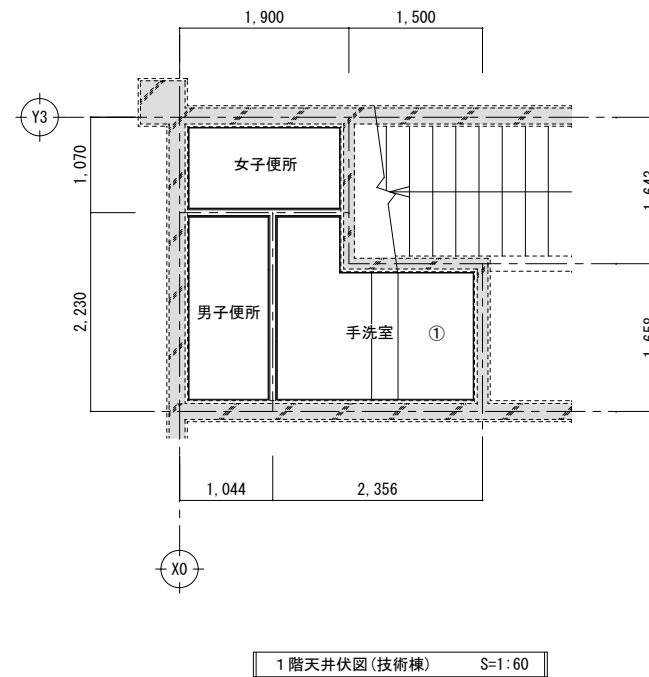
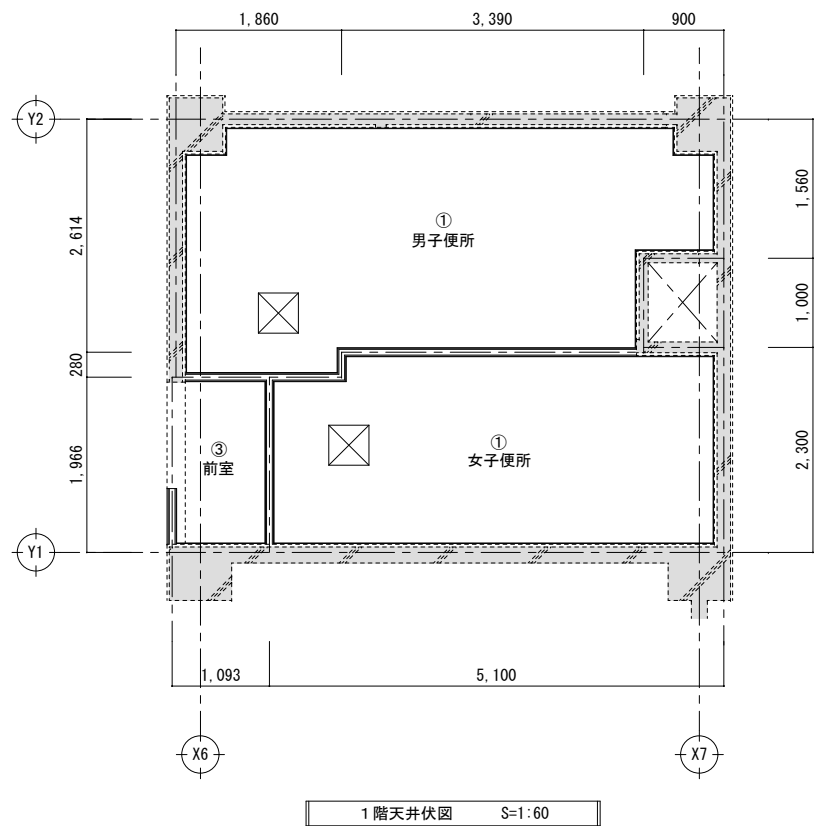


: 【撤去】範囲を示す  
 : 天井点検口【撤去】を示す(3カ所)

天井仕上表

符号	下地	仕上げ
①	LGS天井下地組【撤去】	PB(7)9 目スカシ貼 OP【撤去】
②		RC打放し アクリルシ吹付【既存のまま】
③	LGS天井下地組【撤去】	ジブトーン貼

改修後

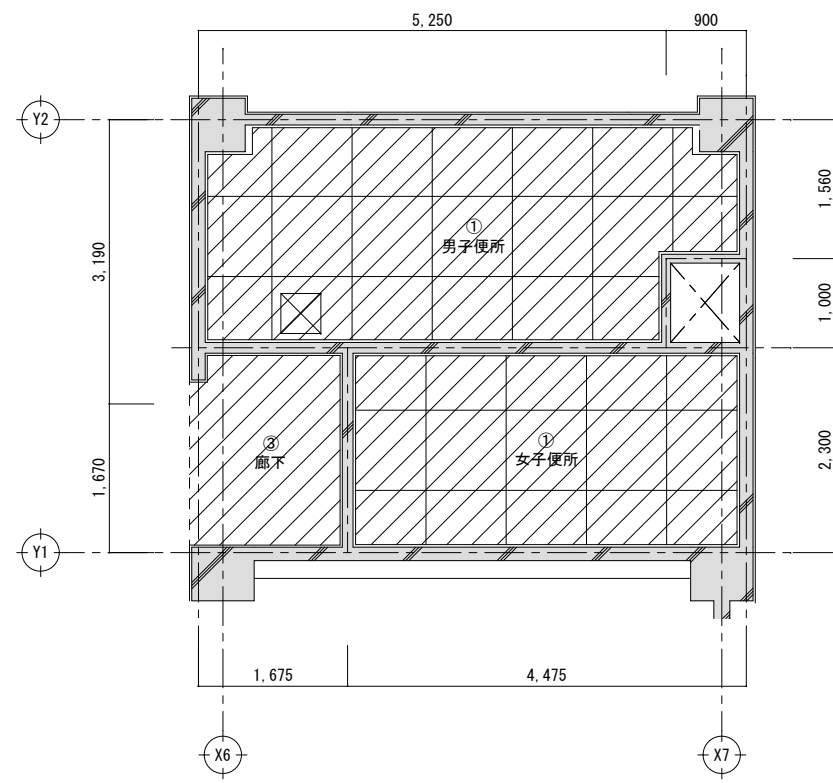


天井仕上表

符号	下地	仕上げ
①	LGS下地	GB-D(7)9.5張り

: 【新設】天井点検口 450×450 を示す  
 ※ボード仕上げ面の天井・壁おさまりは、全て【新設】塩ビ製廻縁とする  
 ※LGS下地は全て【新設】とする事

改修前



2階天井伏図 S=1:60



: 【撤去】範囲を示す

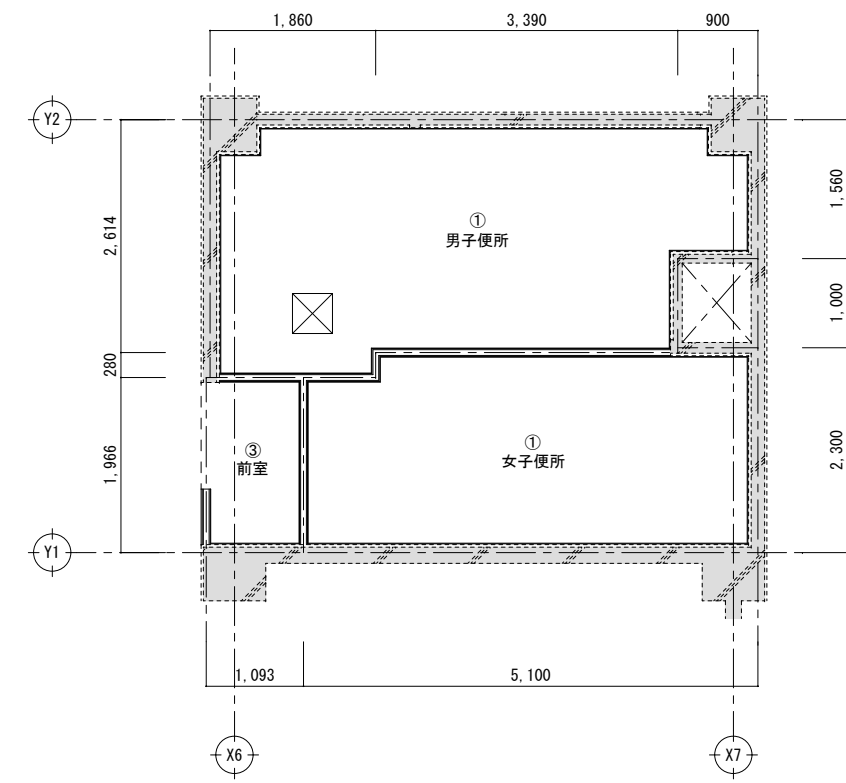


: 天井点検口【撤去】を示す (1カ所)

天井仕上表

符号	下地	仕上げ
①	LGS天井下地組【撤去】	PB(7)9 目スカシ貼 OP【撤去】
②	—	RC打放し アクリル吹付【既存のまま】
③	LGS天井下地組【撤去】	ジプトーン貼

改修後



2階天井伏図 S=1:60

天井仕上表

符号	下地	仕上げ
①	LGS下地	GB-D(7)9.5張り

☒ : 【新設】天井点検口 450×450 を示す

※ボード仕上げ面の天井・壁おさまりは、全て【新設】塩ビ製廻縁とする  
※LGS下地は全て【新設】とする事

備考 A2→A3(71%に縮小)

令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事 設計図

三建設計有限会社

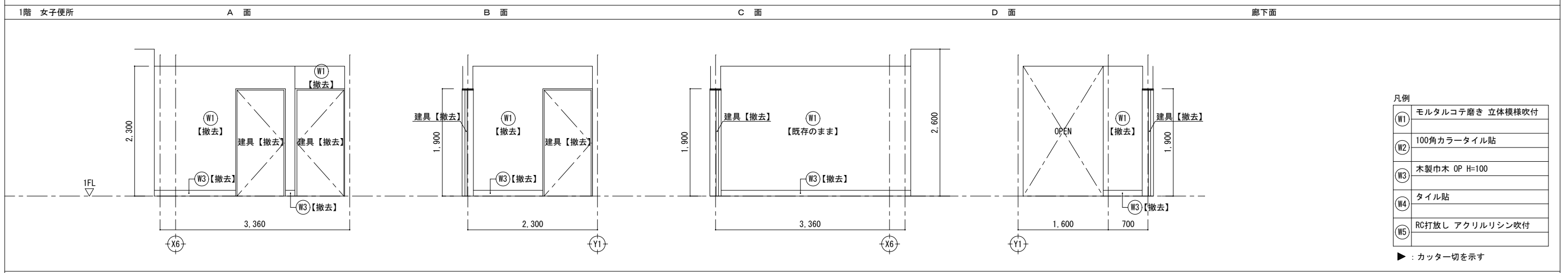
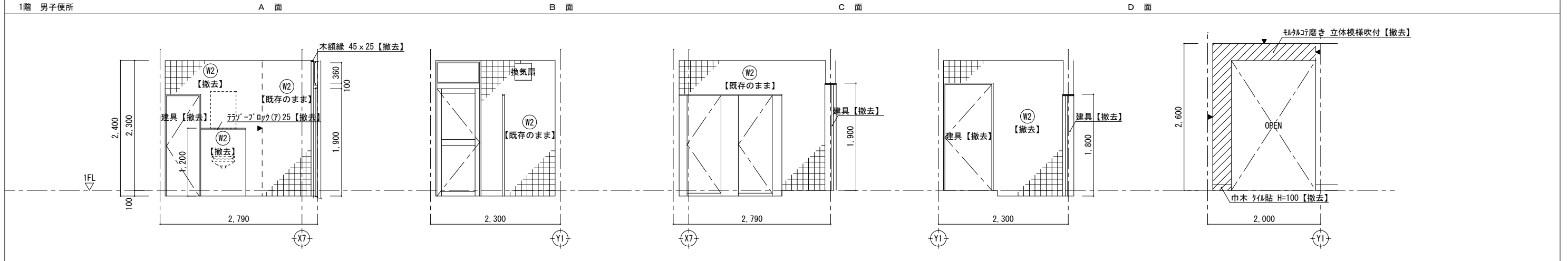
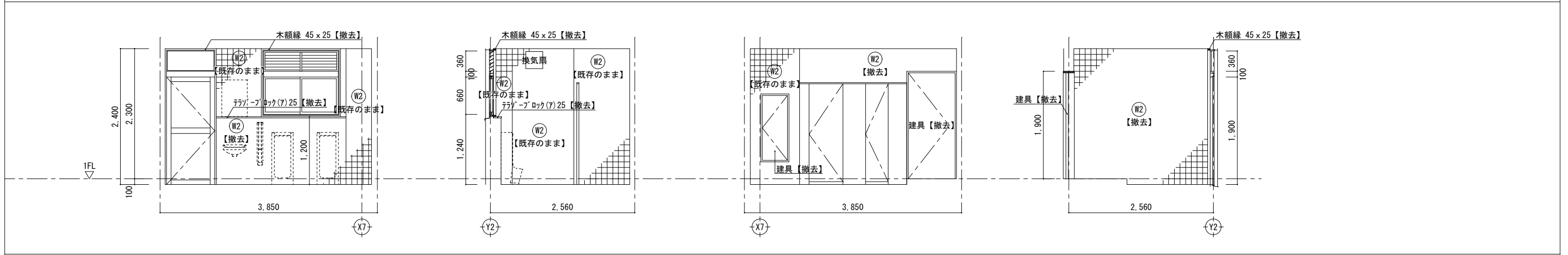
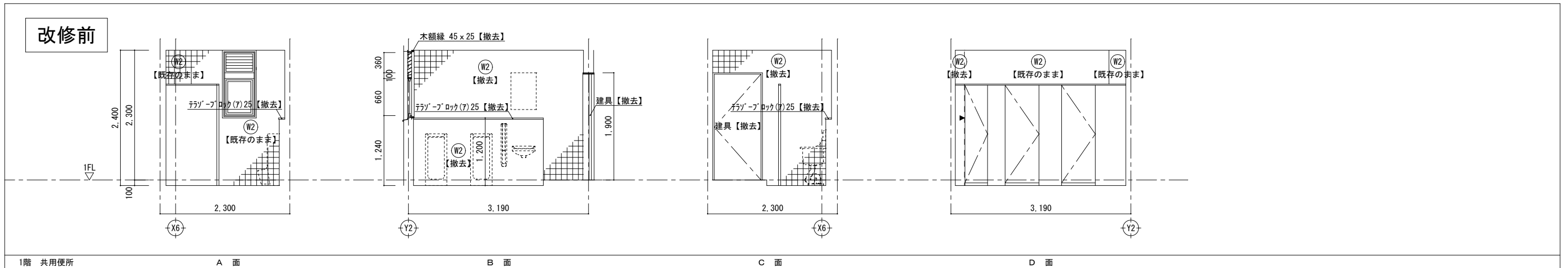
登録高-6号

図面名称 2階天井伏図【改修前・後】(中学校)

高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633  
一級建築士第135971 安並和文

縮尺 S=1:60 年 月 日 担当 製図 NO. B 13

改修前

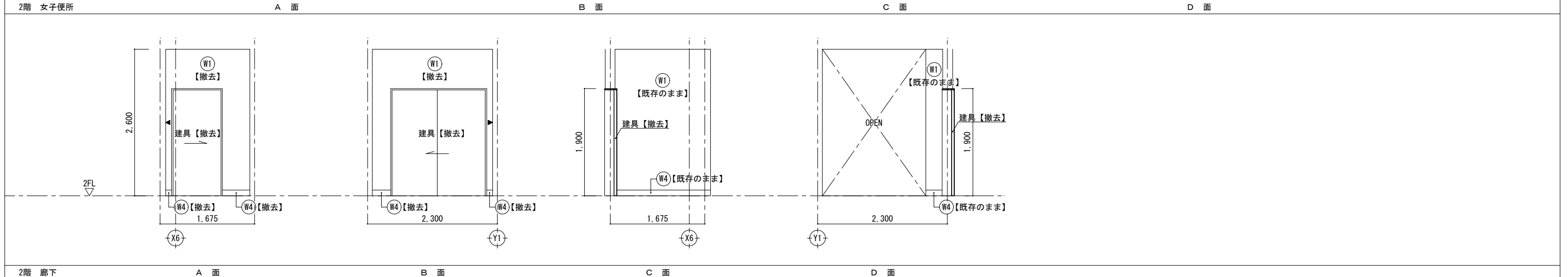
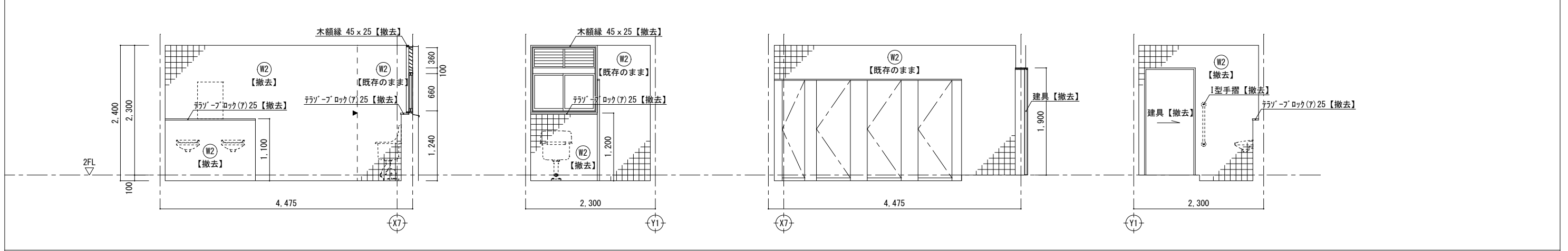
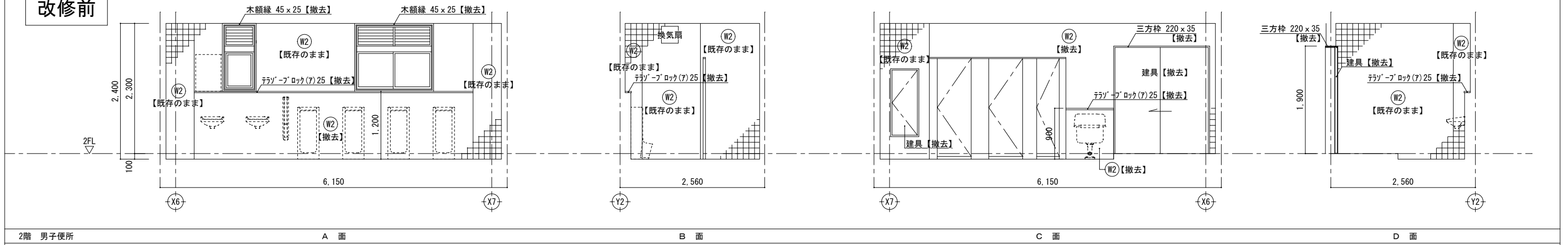


凡例

(W1)	モルタルコテ磨き 立体模様吹付
(W2)	100角カラータイル貼
(W3)	木製巾木 OP H=100
(W4)	タイル貼
(W5)	RC打放し アクリルリシン吹付

▶ : カッター切を示す

改修前

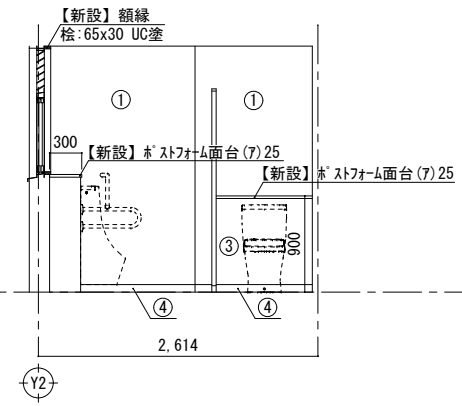
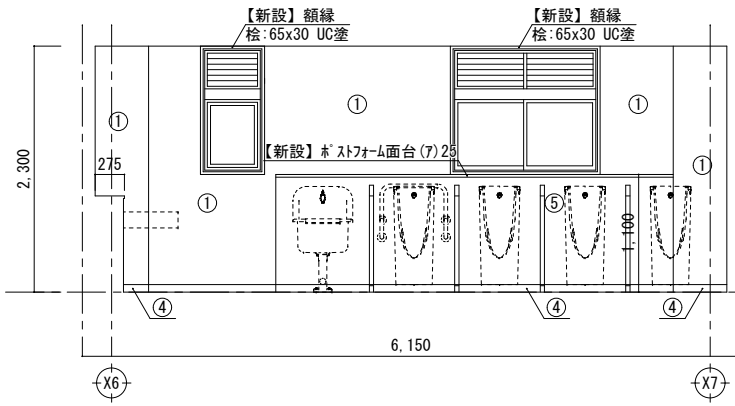
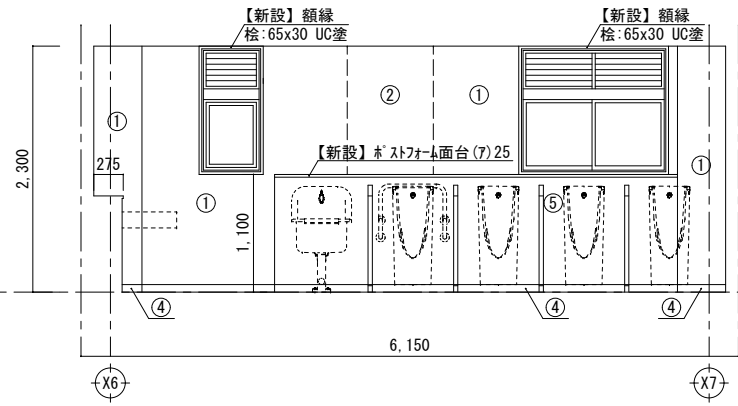


凡例

W1	モルタルコテ磨き 立体模様吹付
W2	100角カラータイル貼
W3	木製巾木 OP H=100
W4	タイル貼
W5	RC打放し アクリルリシン吹付

▶ : カッター切を示す

改修後

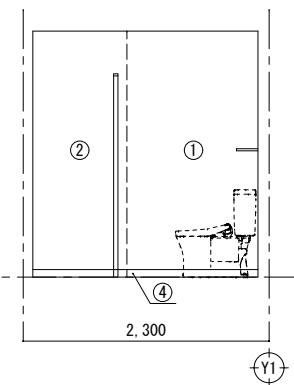
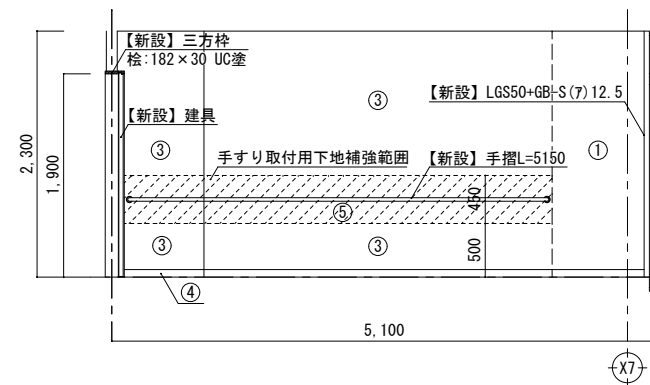
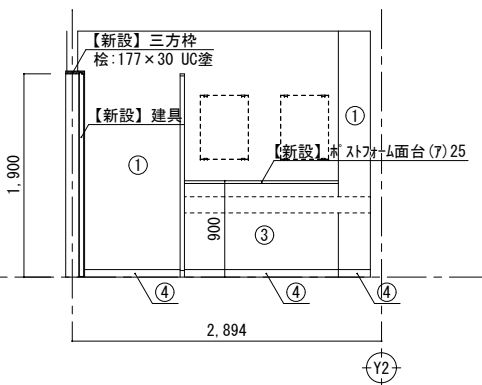
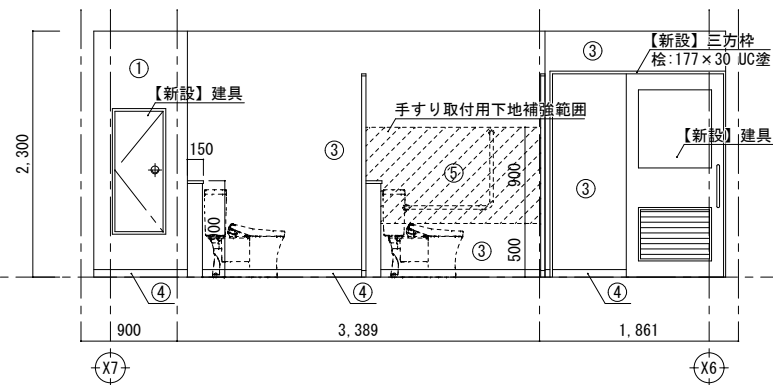


1・2階 男子便所

A 面(1階)

A 面(2階)

B 面



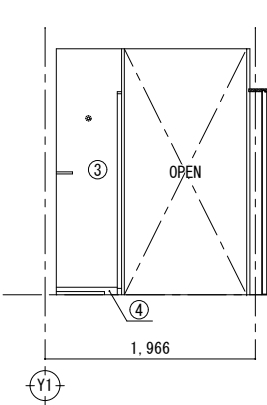
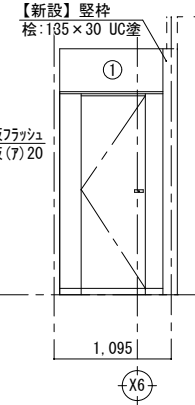
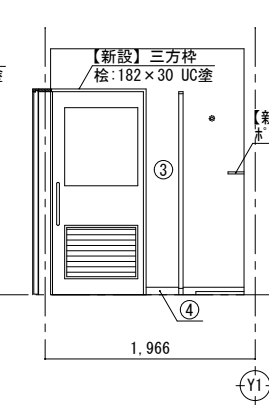
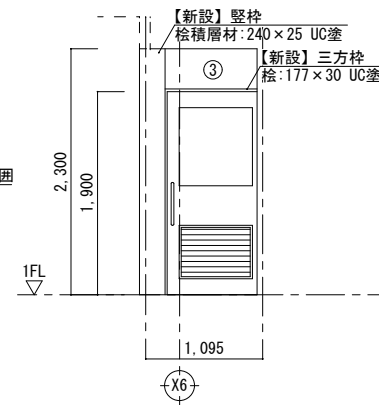
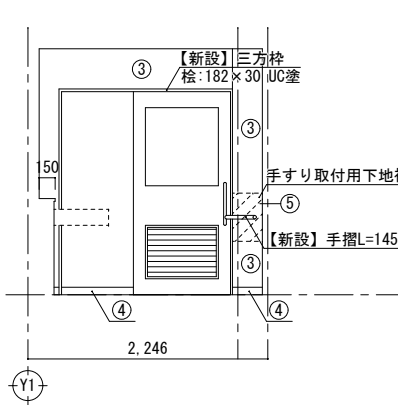
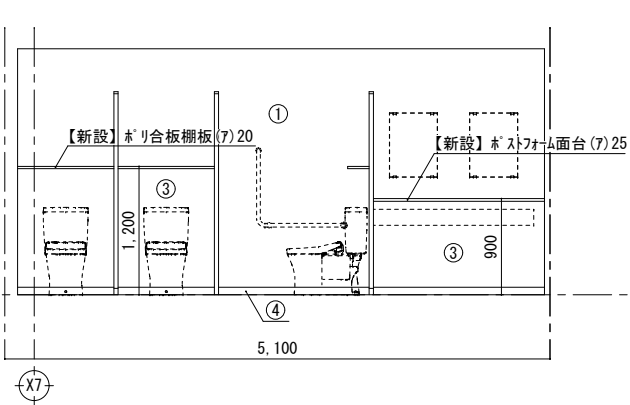
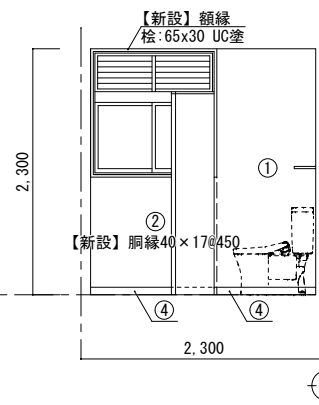
C 面

D 面

1・2階 女子便所

A 面

B 面(1階)



1・2階 女子便所

B 面(2階)

C 面

D 面

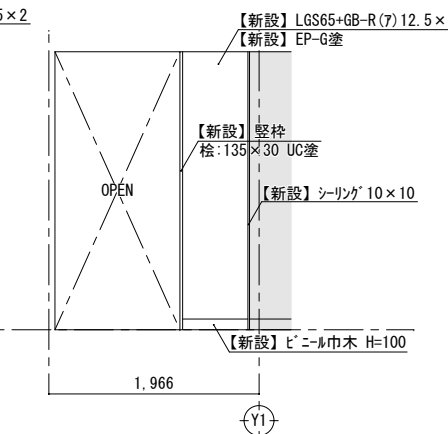
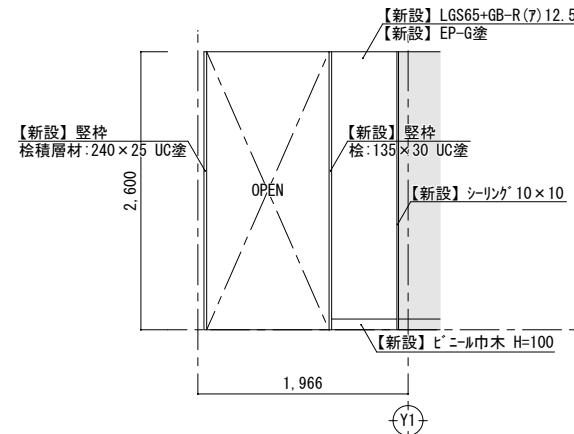
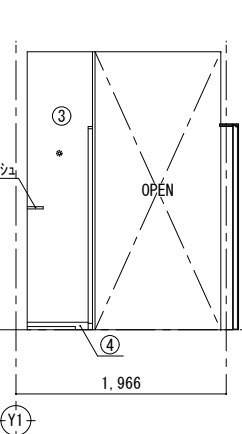
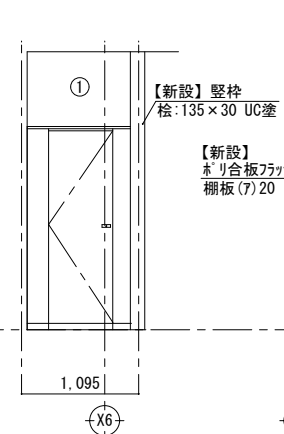
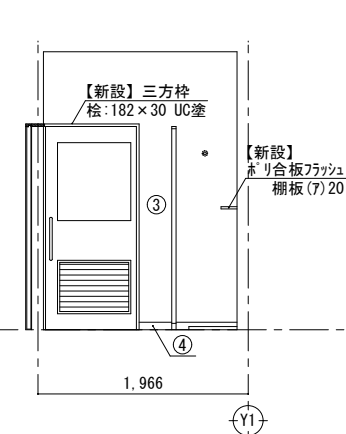
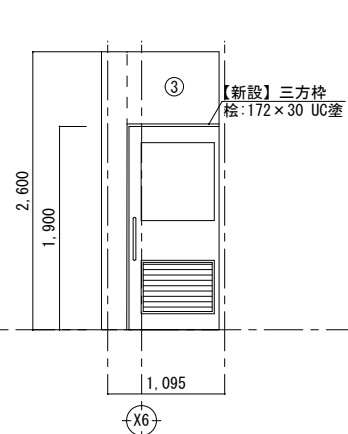
1階 踏込

A 面

B 面

C 面

D 面



凡例

①	【新設】化粧い酸かみ板張り (7) 6
②	【新設】GB-S (7) 12.5
③	【新設】化粧い酸かみ板張り (7) 6
④	【新設】GB-S (7) 12.5+LGS下地組
⑤	【新設】化粧い酸かみ板張り (7) 6
④	【新設】床仕上げ巻上げ H=70
⑤	【新設】耐水合板 t12下張り+LGS下地組
⑤	【新設】化粧い酸かみ板張り (7) 6

□ : 【既存のまま】を示す

2階 踏込

A 面

B 面

C 面

D 面

廊下面

1階

2階

備考 A2→A3(71%に縮小)

令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事

設計図

三建設計有限公司

登録高-6号

図面名称

展開図(3)【改修後】

(中学校)

高知市知寄町1-5-1

TEL 883-1761

FAX 883-1633

縮尺

S=1:50

製図

NO.

B 16

一級建築士第135971

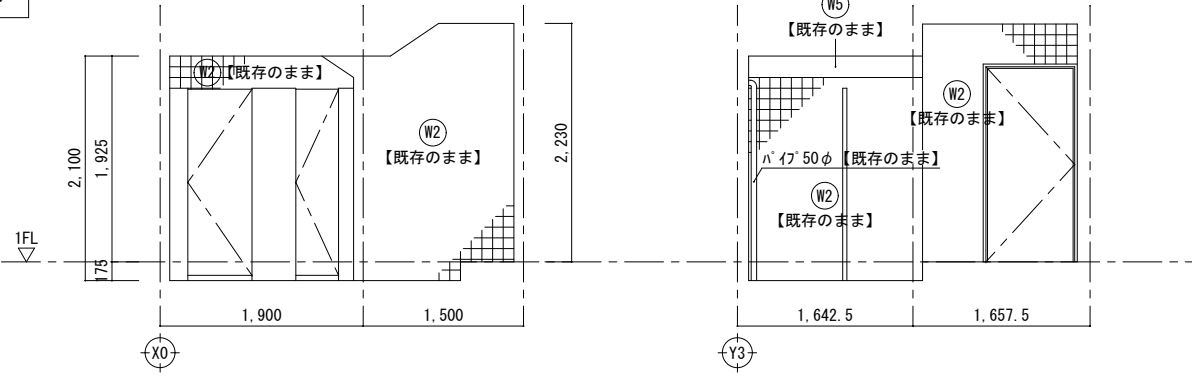
安並和文

年月日

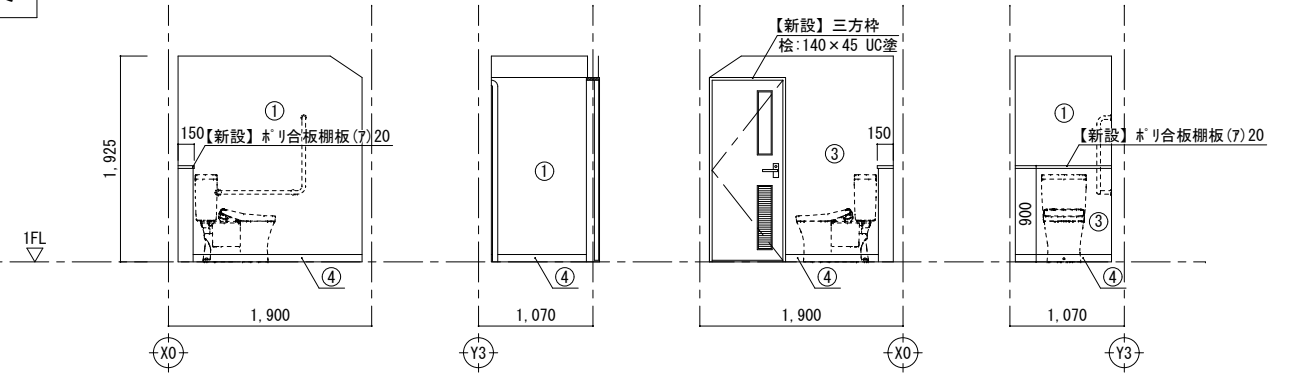
担当

製図

改修前



改修後



便所

A 面

B 面

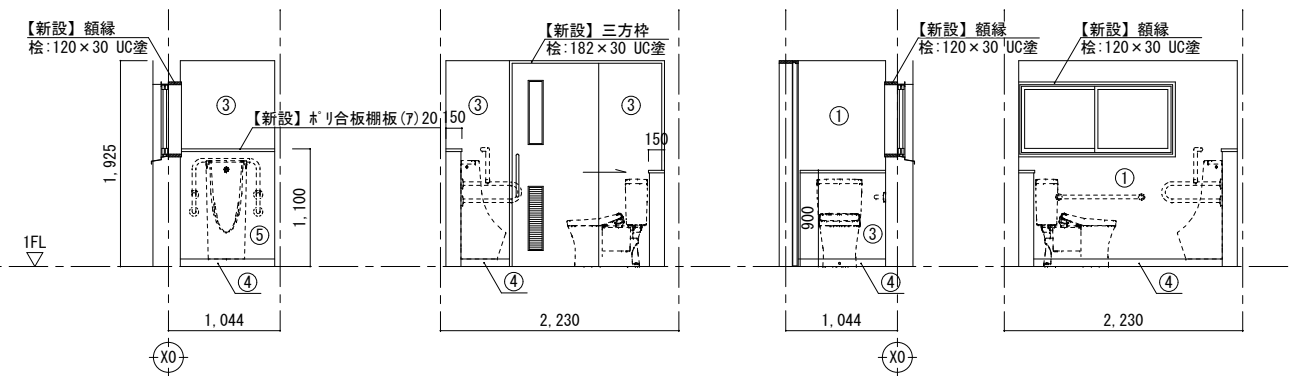
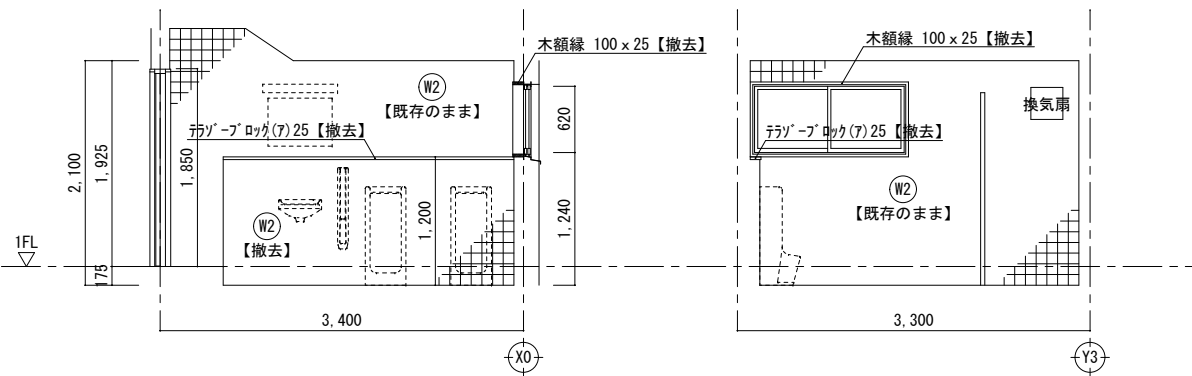
女子便所

A 面

B 面

C 面

D 面



C 面

D 面

男子便所

A 面

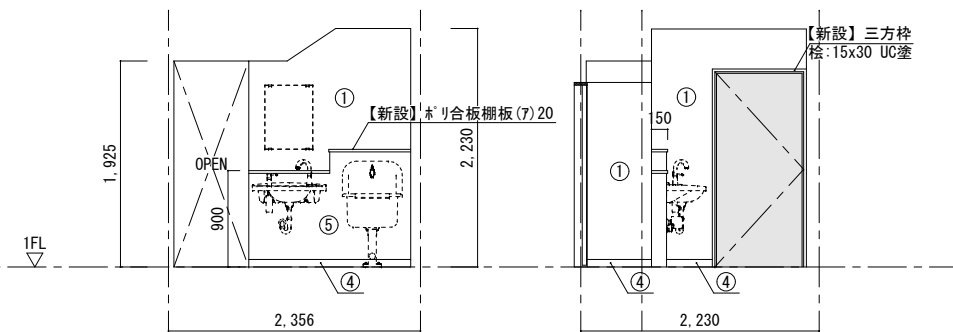
B 面

C 面

D 面

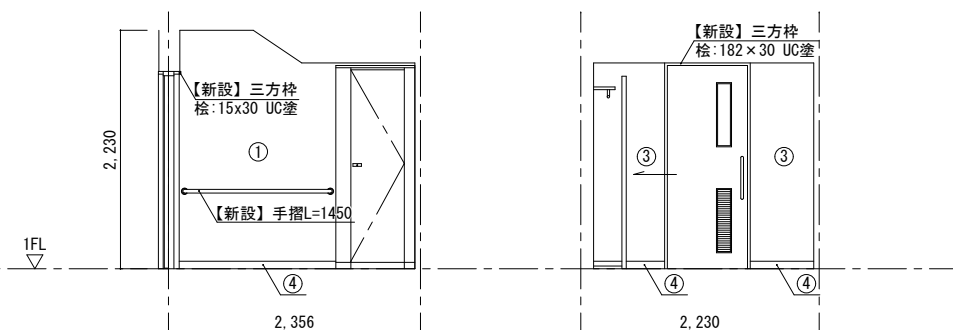
凡例

W1	モルタルコテ磨き 立体模様吹付
W2	100角カラータイル貼
W3	木製巾木 OP H=100
W4	タイル貼
W5	RC打放し アクリルリシン吹付



A 面

B 面



C 面

D 面

凡例

①	【新設】化粧けい酸カルシウム板張り (7) 6
②	【新設】GB-S(7)12.5
③	【新設】化粧けい酸カルシウム板張り (7) 6
④	【新設】GB-S(7)12.5+LGS下地組
⑤	【新設】化粧けい酸カルシウム板張り (7) 6
⑥	【新設】床仕上げ巻上げ H=70
⑦	【新設】耐水合板+12下張り+LGS下地組
⑧	【新設】化粧けい酸カルシウム板張り (7) 6

□ : 【既存のまま】を示す

備考 A2→A3(71%に縮小)

※衛生器具の【撤去】は、設備工事

令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事

設計図

三建設計有限公司

登録高-6号

図面名称

展開図(4)【改修前・後】 (中学校)

高知市知寄町1-5-1  
一級建築士第135971

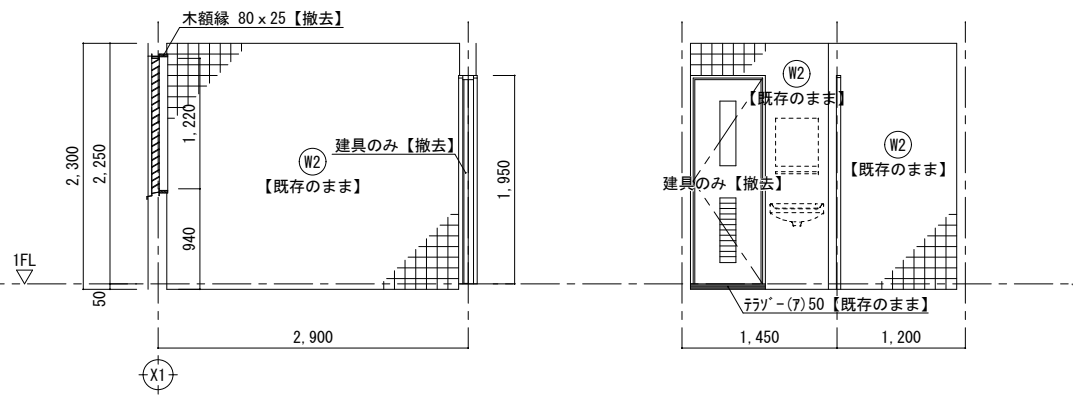
TEL 883-1761 FAX 883-1633

縮尺 S=1:50

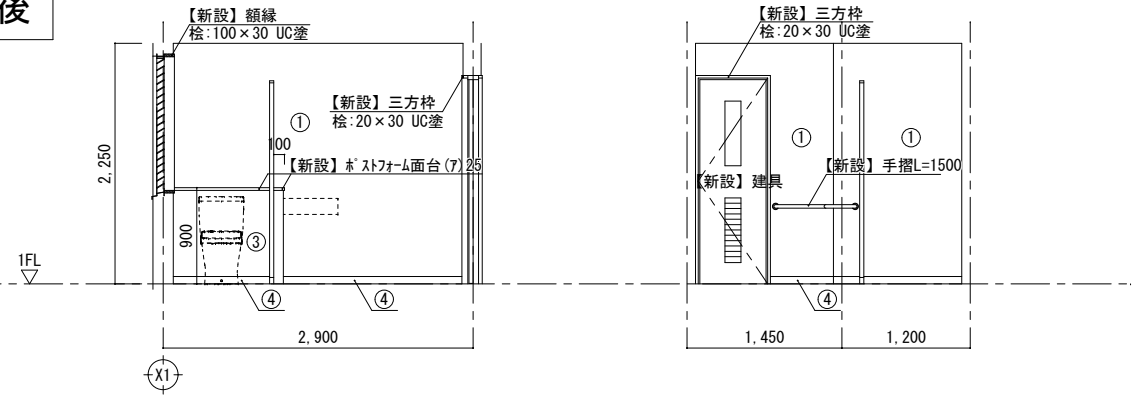
NO.

B 17

改修前



改修後



女子便所

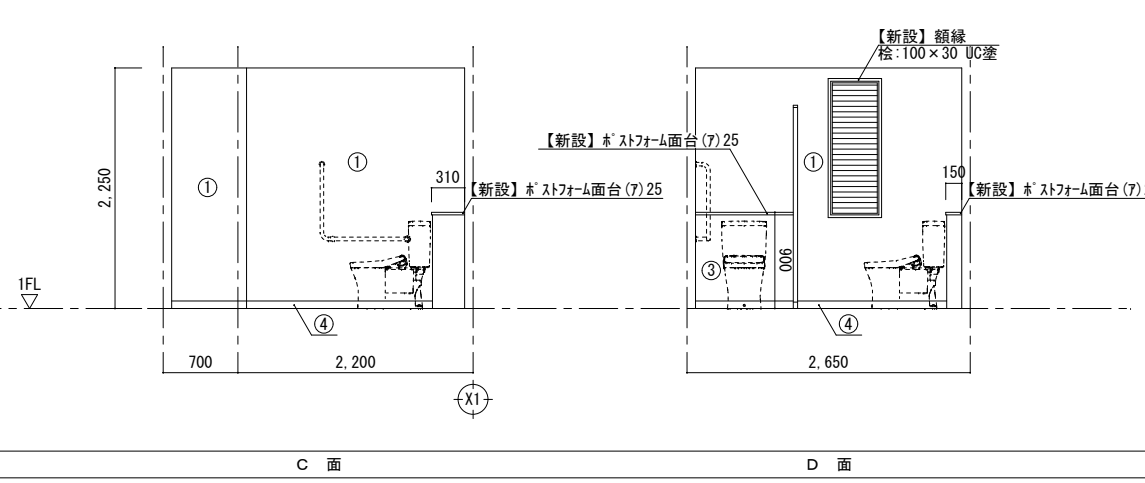
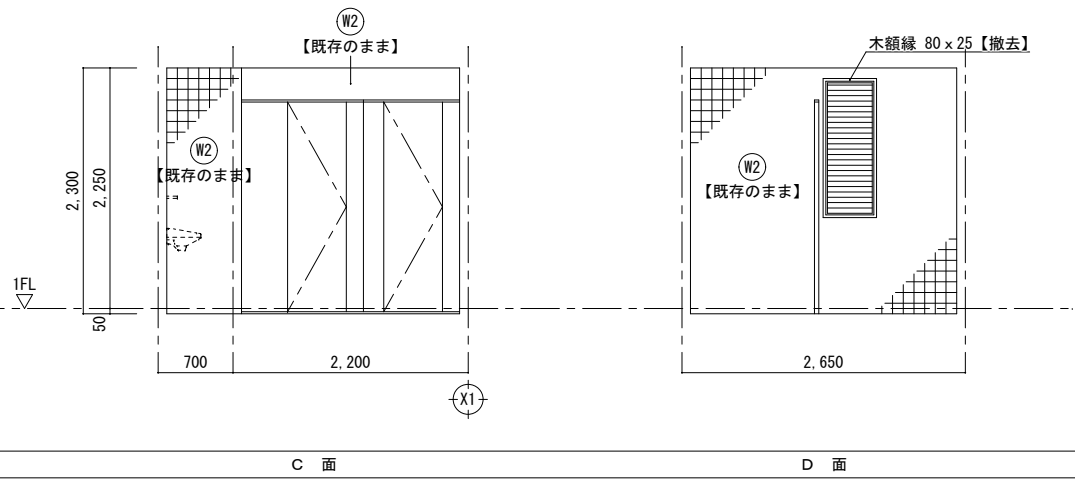
A 面

B 面

女子便所

A 面

B 面

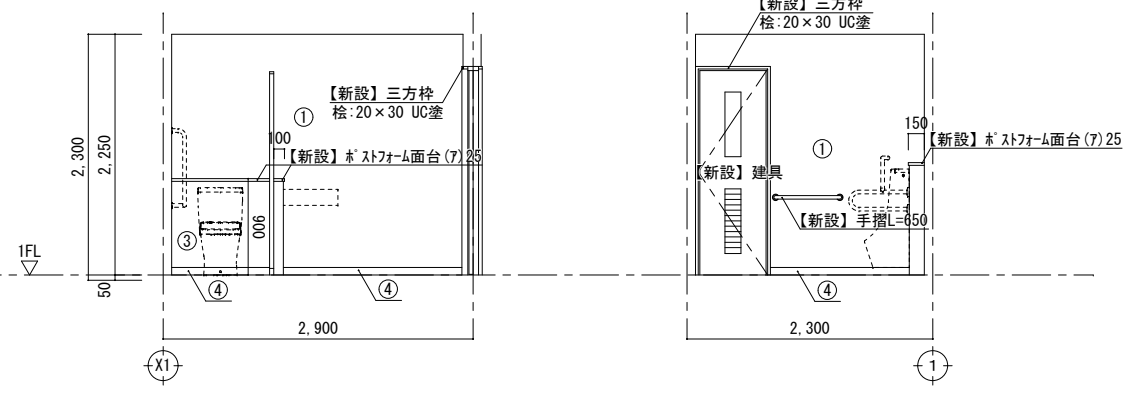
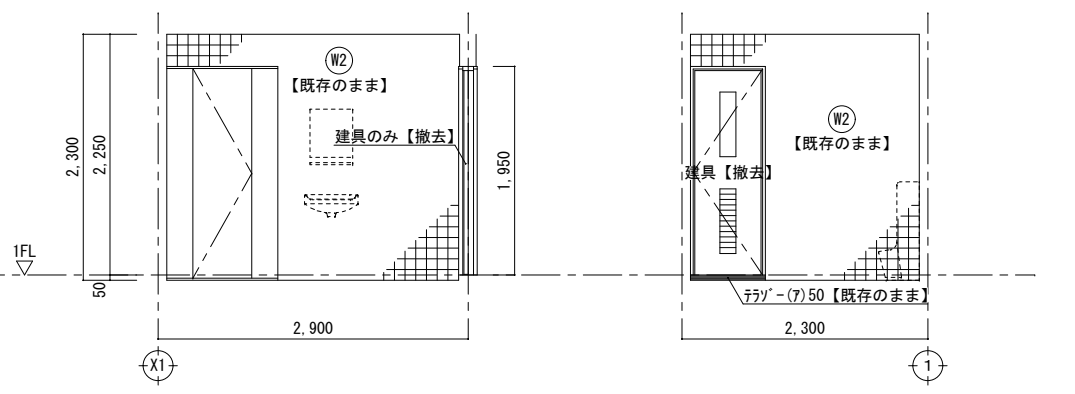


C 面

D 面

C 面

D 面



男子便所

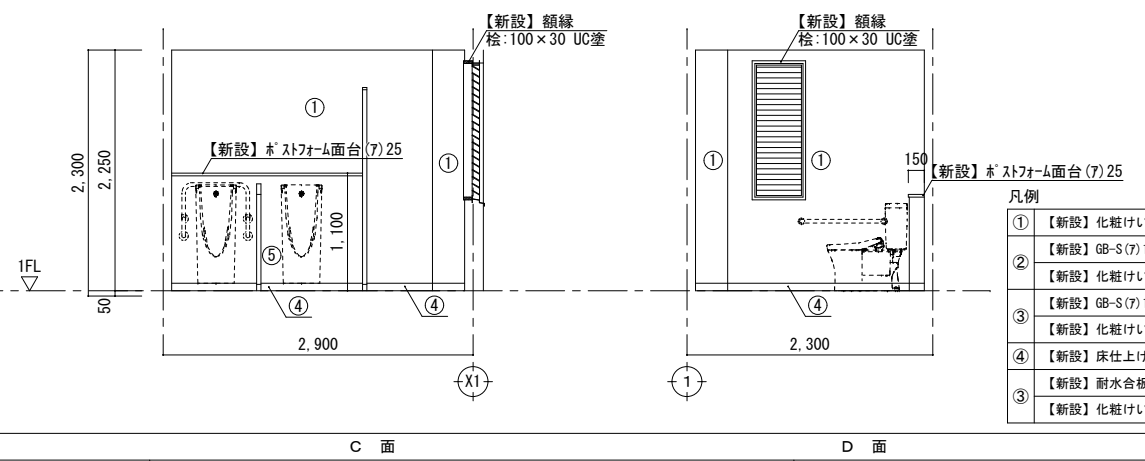
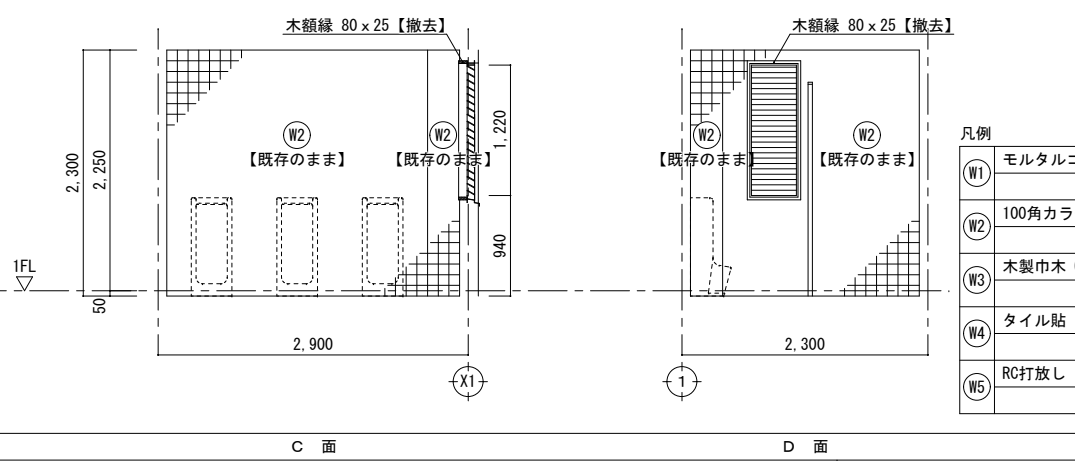
A 面

B 面

男子便所

A 面

B 面



C 面

D 面

C 面

D 面

凡例

W1	モルタルコテ磨き 立体模様吹付
W2	100角カラータイル貼
W3	木製巾木 OP H=100
W4	タイル貼
W5	RC打放し アクリルリシン吹付

凡例

①	【新設】化粧い酸加珪板張り (7)6
②	【新設】GB-S (7)12.5
③	【新設】化粧い酸加珪板張り (7)6
④	【新設】GB-S (7)12.5+LGS下地組
⑤	【新設】化粧い酸加珪板張り (7)6
⑥	【新設】床仕上げ巻上げ H=70
⑦	【新設】耐水合板 t12下張り+LGS下地組
⑧	【新設】化粧い酸加珪板張り (7)6

備考 A2→A3 (71%に縮小)

※衛生器具の【撤去】は、設備工事

令和7年度 加茂小中学校トイレ改修工事

設計図

三建設計有限公司

登録高-6号

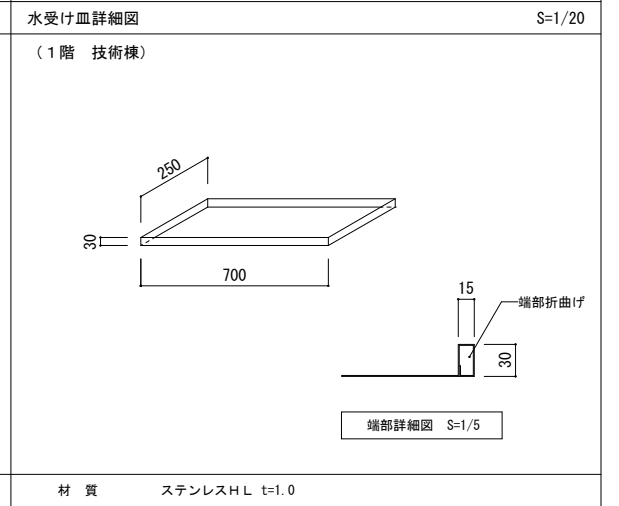
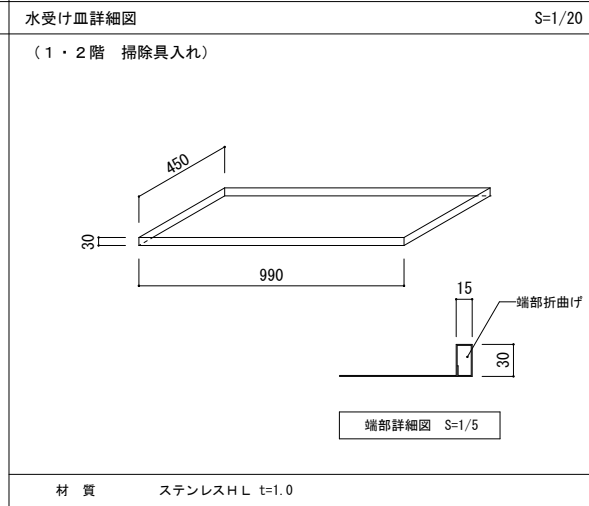
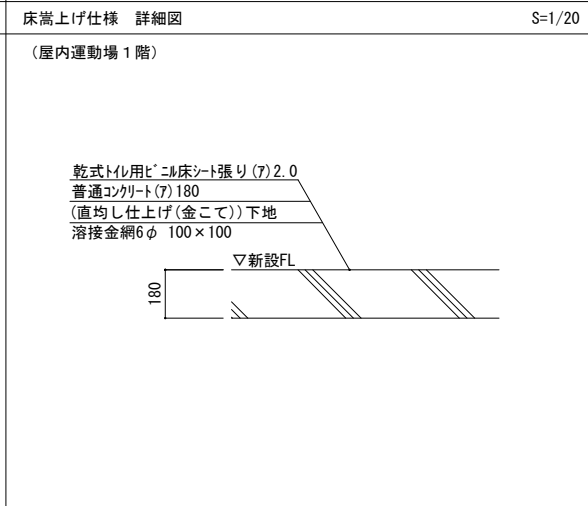
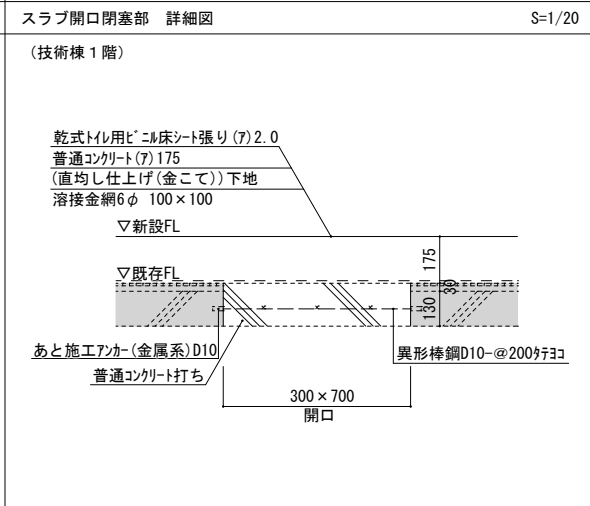
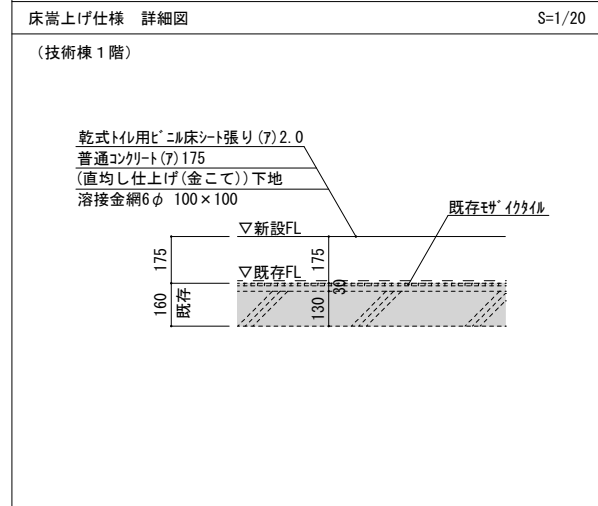
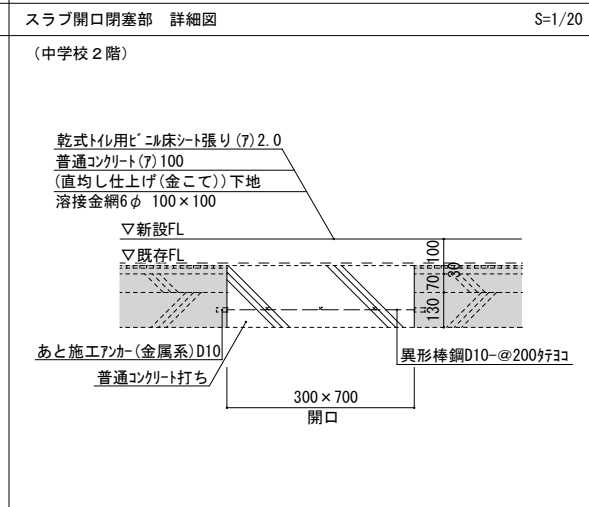
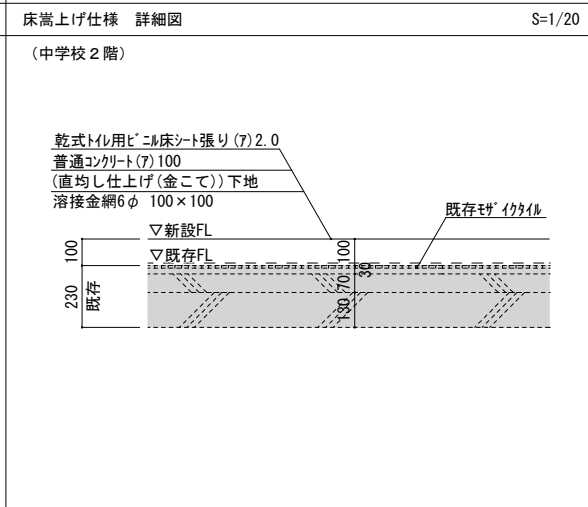
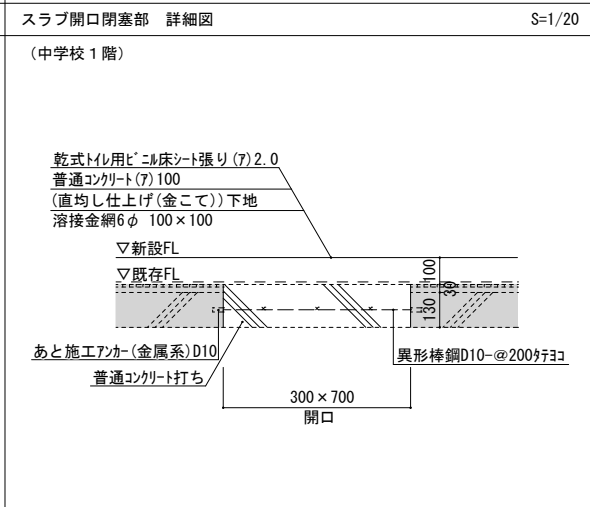
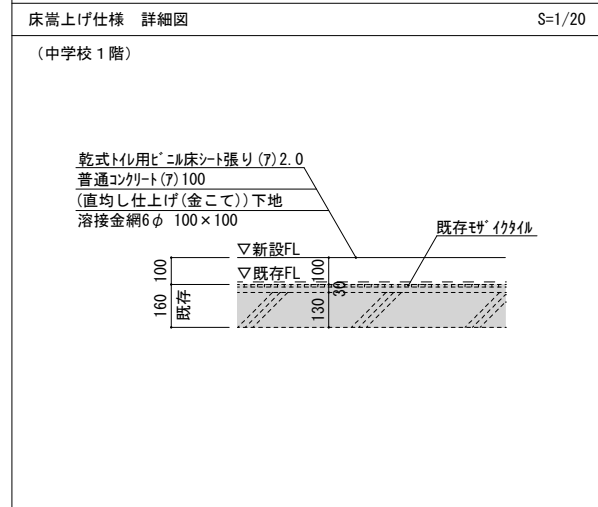
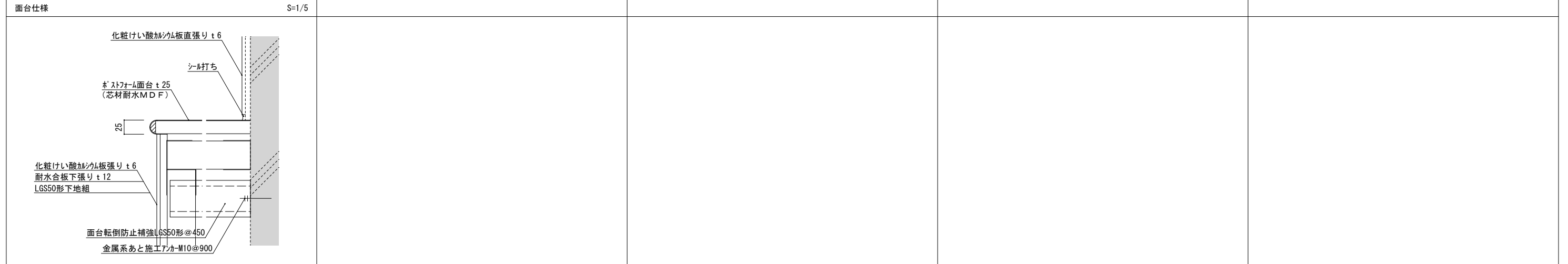
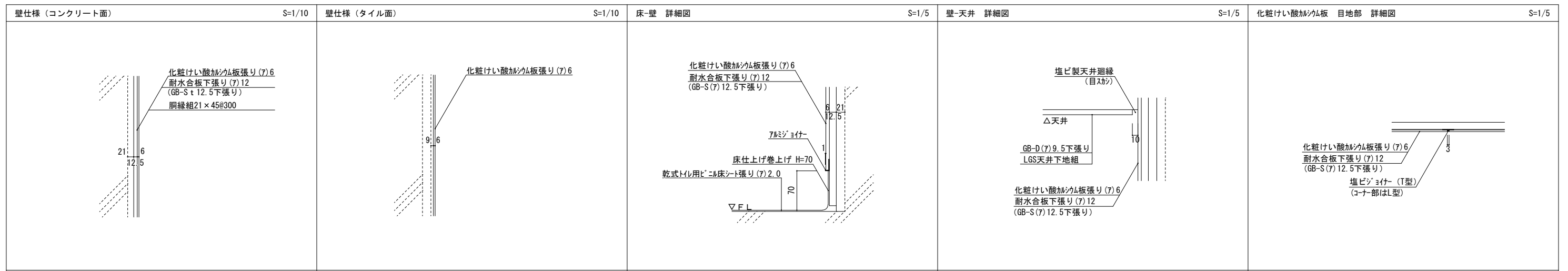
図面名称

展開図(5)【改修前・後】 (中学校)

高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633  
一級建築士第135971 安並和文

縮尺 S=1:50  
年月日 担当 製図

NO. B 18



記号・位置	WD 1 1階 共用便所・男子便所・女子便所	3箇所	WD 2 1・2階 共用便所・男子便所・女子便所 1階 技術棟便所	11箇所	WD 3 1・2階 掃除具入 1階 技術棟掃除具入	5箇所	WD 4 1階 女子便所	1箇所
姿 図								
既存仕様	片開きフラッシュ戸		片開きフラッシュ戸		片開きフラッシュ戸		片開きフラッシュ戸	
改修工事	撤去		撤去		撤去		撤去	
型式・見込	40	40	40	40	40	40	40	40
仕 上	シナベニヤ フラッシュ OP		シナベニヤ フラッシュ OP		シナベニヤ フラッシュ OP		シナベニヤ フラッシュ OP	
ガラス他								
金 物	ステンレス丁番、ロック錠、ドアチェック		ラバトリージ、ストライク、把手付標示錠		ラバトリージ、ストライク、把手		ステンレス丁番、把手	
備 考	丁番3枚吊り						丁番3枚吊り	
記号・位置	WD 5 2階 男子便所・女子便所	2箇所	WD 6 屋内運動場 男子便所・女子便所	2箇所				
姿 図								
既存仕様	引込フラッシュ戸		片開フラッシュ戸					
改修工事	撤去		撤去					
型式・見込	40	40	40	40				
仕 上	シナベニヤ フラッシュ OP		シナベニヤ フラッシュ OP					
ガラス他			型ガラス(7)4					
金 物	ステンレール、防音戸車φ36、舟底引手		丁番、レバーハンドル、ドアチェック					
備 考	ステンレール(7)2mm加工							
記号・位置	SD 1 1・2階 男子便所	2箇所	LB 1 屋内運動場 女子便所	1箇所	LB 2 屋内運動場 男子便所	1箇所		
姿 図								
既存仕様	片開きドア		ラバトリース		ラバトリース			
改修工事	撤去		撤去		撤去			
型式・見込	スチールOP塗		付属金物一式		付属金物一式			
仕 上	ステンレス丁番							
ガラス他	アングル戸							
金 物								
備 考								

記号・位置	WD 102 1・2階 男子便所・女子便所	4ヶ所	WD 103 技術棟 男子便所	1ヶ所	WD 104 技術棟 女子便所	1ヶ所	WD 105 屋内運動場 男子・女子便所	2ヶ所
図面	S=1:50 		S=1:50 		S=1:50 		S=1:50 	
型式・見込	新設仕様 片引き戸(アルミガラリ付)		新設仕様 片引き戸(アルミガラリ付)		新設仕様 片開きフラッシュ戸(アルミガラリ付)		新設仕様 片開きフラッシュ戸(アルミガラリ付)	
仕上	ポリ合板フラッシュ、枠四方(栓)UC塗		ポリ合板フラッシュ、枠四方(栓)UC塗		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ	
ガラス他	学校用強化型板ガラス(7)4		学校用強化型板ガラス(7)4		学校用強化型板ガラス(7)4		学校用強化型板ガラス(7)4	
金物	7&Rハンガーレール、振止め、ステン引手棒、ソフトクロス、その他付属金物一式		7&Rハンガーレール、振止め、ステン引手棒、ソフトクロス、その他付属金物一式		丁番、レバーハンドル、戸当り、鍵付き、その他付属金物一式		丁番、レバーハンドル、戸当り、その他付属金物一式	
備考	ピクトサイン200角							
記号・位置	SD 101 1・2階 PS	2ヶ所	TB 118 1・2階 男子便所	2ヶ所	TB 119 1・2階 前室掃除具入	2ヶ所	TB 120 1・2階 女子便所	2ヶ所
図面	S=1:50 							
型式・見込	新設仕様 スチール片開きフラッシュ戸		新設仕様 トイレブース		新設仕様 トイレブース		新設仕様 トイレブース	
仕上	溶融亜鉛めっき鋼板 t=1.6 塗装焼付		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板	
ガラス他								
金物	丁番、平面ハンドル鍵付、その他付属金物一式		7&Rエッジ、ステンス巾木、ステンス頭つなぎ、グレイテヒンジ、スライドボルト(非常開錠付)戸当り帽子掛け、その他付属金物一式		7&Rエッジ、ステンス巾木、ステンス頭つなぎ、グレイテヒンジ、その他標準金物一式		7&Rエッジ、ステンス巾木、ステンス頭つなぎ、グレイテヒンジ、スライドボルト(非常開錠付)戸当り帽子掛け、その他付属金物一式	
備考			内開き戸は、非常時外開き仕様		引手、雑巾掛け9.5φ L=300、ステンパイプφ25、ソケット、Sカン、ステンス水受皿(7)1.0		内開き戸は、非常時外開き仕様	
記号・位置	TB 121 1階 女子便所	1ヶ所	TB 122 2階 女子便所	1ヶ所	TB 123 技術棟	1ヶ所	TB 124 屋内運動場 女子便所	1ヶ所
図面								
型式・見込	新設仕様 トイレブース		新設仕様 トイレブース		新設仕様 トイレブース		新設仕様 トイレブース	
仕上	高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板		高圧メラミン樹脂化粧板	
ガラス他								
金物	7&Rエッジ、ステンス巾木、ステンス頭つなぎ、グレイテヒンジ、スライドボルト(非常開錠付)戸当り帽子掛け、その他付属金物一式		7&Rエッジ、ステンス巾木、ステンス頭つなぎ、グレイテヒンジ、スライドボルト(非常開錠付)戸当り帽子掛け、その他付属金物一式		7&Rエッジ、ステンス巾木、ステンス頭つなぎ、グレイテヒンジ、その他標準金物一式		7&Rエッジ、ステンス巾木、ステンス頭つなぎ、グレイテヒンジ、スライドボルト(非常開錠付)戸当り帽子掛け、その他付属金物一式	
備考	内開き戸は、非常時外開き仕様		内開き戸は、非常時外開き仕様		引手、雑巾掛け9.5φ L=300、ステンパイプφ25、ソケット、Sカン、ステンス水受皿(7)1.0		内開き戸は、非常時外開き仕様	

